クボタロータリ専用機

取扱説明書

1AFACAHAP0010

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

操作装置のシンボルマーク

運転操作及び保守管理のために，操作装置のシンボルマークが使用されています。シンボルマークの意味は下記のとおりですのでよく理解して戴き誤操作のないようご注意ください。

エンジン停止

チョークレバー

ガソリン燃料

専門用語の説明

ON　燃料コック［開］

OFF　燃料コック［閉］

本製品の使用目的について

本製品は，農業用機械ですので農作業以外では使用しないでください。
使用目的以外の作業，また夜間作業や改造はしないでください。
使用目的以外の作業や改造をした場合は，保証の対象になりませんのでご注意ください。（詳細は保証書をご覧ください。）

仕様について

この取扱説明書では，仕様の異なる製品を下記のように表示していますので，お買上げの製品の仕様をお確かめのうえ，お間違いのないようお願いいたします。
なお，機種及び仕様区分によっては付いていない装置の説明もあります。

●大径タイヤ仕様 ………………………………J 仕様
●ロータリカバー開閉仕様（ナタ爪） ………………U 仕様
（US 仕様は，正逆両用爪。
U・US 仕様以外はロータリカバー固定仕様）
●セルスタータ仕様 ……………………………E 仕様
●ダブルドライブロータリ仕様 ……………………H 仕様
●ニューイエロー培土機付 …………………………F 仕様
●ブルー溝浚機付 ………………………………K2 仕様

は　じ　め　に

このたびはクボタ製品をお買上げいただきありがとうございました。
この取扱説明書は本製品の正しい取扱い方法，簡単な点検及び手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただいて十分理解され，お買上げの製品がすぐれた性能を発揮し，かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。
また，お読みになったあとも製品に近接して保存し，わからないことがあったときには取出してお読みください。なお，品質・性能向上あるいは安全上，使用部品の変更を行なうことがあります。その際には，お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので，あらかじめご了承ください。

⚠安　全　第　一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示があるラベルは，人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお，⚠表示ラベルが汚損したり，はがれた場合はお買上げの販売店に注文し，必ず所定の位置に貼ってください。

注意表示について　本取扱説明書では，特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について，次のように表示しています。

危　険　注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負うことになるものを示します。

警　告　注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。

注　意　注意事項を守らないと，ケガを負うおそれのあるものを示します。

重　要　注意事項を守らないと，機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。

補　足　その他，使用上役立つ補足説明を示します。

目　次

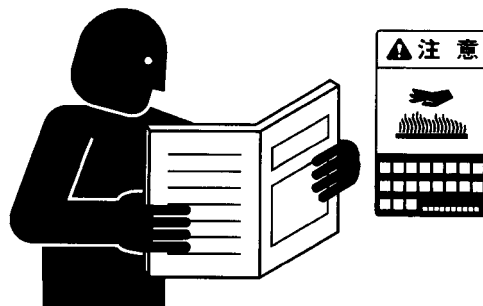
⚠ 安全に作業するために　必ず読んでください

本機をご使用になる前に，必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で，安全な作業をしてください。安全に作業をしていただくため，ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが，これ以外にも，本文の中で⚠危険・⚠警告・⚠注意・重要・補足としてそのつど取上げています。

運転する前に

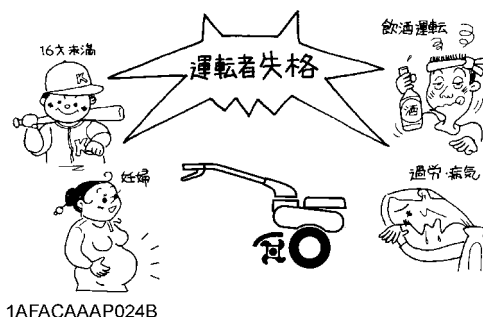
■ 運転前に

- 機械を動かす前に，取扱説明書と機械に貼ってある⚠表示ラベルをよく読み，理解した上で運転してください。
- 機械の運転操作，特に主クラッチ［切］はすばやくできるよう，よく練習し，じゅうぶんに慣れてから作業してください。

1AGAAAPAP062C

■ 使用する人は

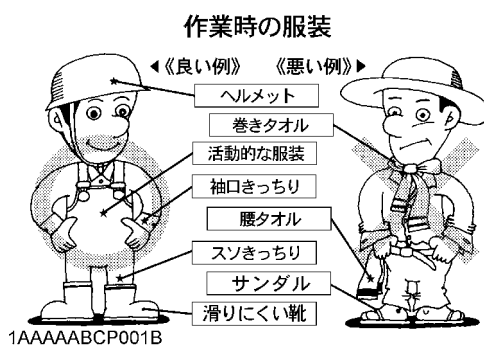
次の項目に該当する場合は，機械を使用しないでください。

- 本書及びラベルの内容が理解できない人
- 視力不足などのため表示内容が読めない人
- 飲酒時や体調が悪いとき，また妊娠中の人
- 16才未満の人
- ハンドルを操縦する体力に自信のない方

1AFACAAAP024B

■ 使用する人の服装は

- 回転部分や操縦装置にひっかかり事故の原因になる，だぶついた服，腰タオルなどはやめてください。
- ヘルメット，安全靴，保護メガネや手袋などを必要により着用してください。

作業時の服装

1AAAAABCP001B

■ 周囲への注意

- 子供，ペットを近づけないでください。
- 見物人を近くに寄せないでください。
- 共同作業者がいるときは，互いに注意してください。

■ **他人に貸すときは**

- 事前に運転のしかたを教え，**［取扱説明書］**を必ず読んでもらってください。
- 本書及びラベルの内容が理解できない人や子供には絶対運転させないでください。

1AKABAIAP048A

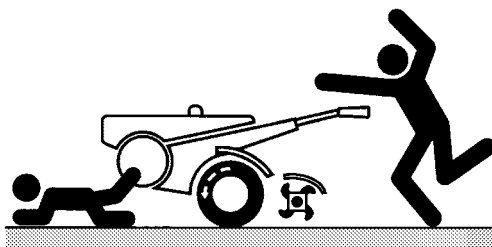
■ **給油・注油するとき［火気厳禁］**

- 燃料の給油・各部への注油時は必ずエンジンを停止し，規定量以上入れないでください。
- エンジン回転中やエンジンが熱い間は火災のおそれがあるので給油はしないでください。
- 煙草を吸ったり火気を近づけないでください。
- 給油口の赤色ゲージ以上に燃料を入れないでください。
- 燃料補給後，給油キャップはもれないようしっかり締めてください。
- こぼれた燃料はふき取ってください。

1AFACAAAP025B

始動するとき

■ **エンジンを回すとき**

- 必ず本機，（ロータリ）の主クラッチレバーを**［切］**り，主変速レバーは**［中立］**にして，付近に人（特に子供）を近づけないでください。
- もし主クラッチや変速が入っていると車体や爪軸が急に動いて事故になるおそれがあります。
- リコイルスタータを引張る方向に人がいないか，突起物・障害物がないか確かめてから始動してください。

1AFACAAAP026B

■ **排気ガスに注意**

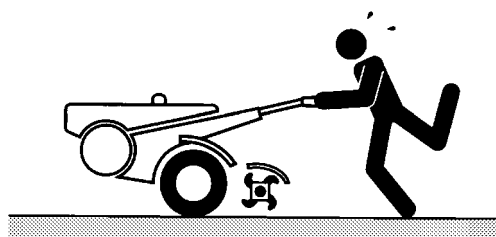
- 換気が不じゅうぶんな所では，暖機運転や作業はしないでください。
排気ガスにより一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- ハウス内では排気ガスが充満しないように，じゅうぶんに換気を行なってください。
排気ガスによる中毒を起こし，死亡事故にいたるおそれがあります。

1AKABAIAP055A

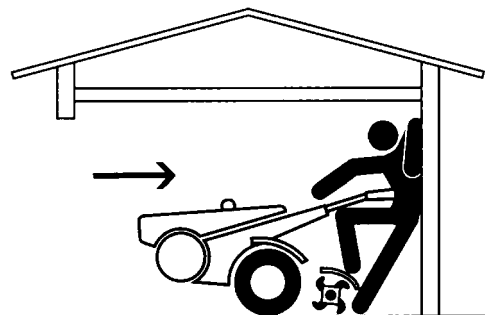
移動，作業するとき

■ 発進するとき

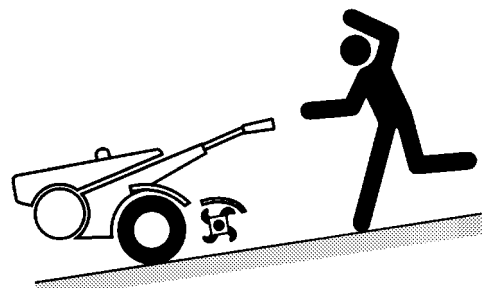
1AFACAAAP028B

- 速い速度での走行はじゅうぶん注意してください。
- 車速の最低速で主クラッチレバーの **[入]** はゆっくり，**[切]** はすばやくの操作を習熟した上で使用してください。
- 小走りになるようなスピードを出したり，急発進，急旋回はしないでください。転倒などのおそれがあります。
- 後進の発進時は，ハンドルが持上がりやすいので，エンジンの回転を下げ，しっかりハンドルを押えながらゆっくり主クラッチを入れてください。

■ ハウス，車庫等での移動

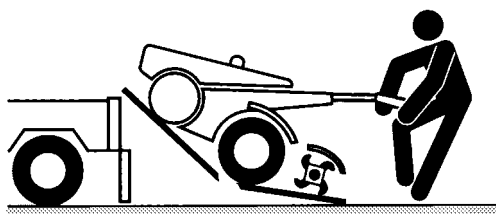
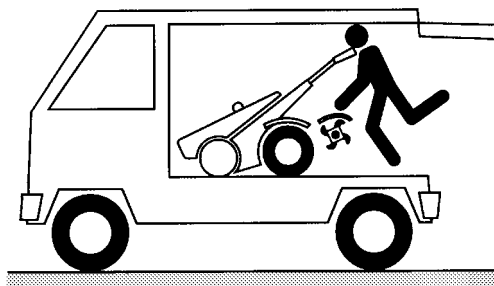
1AFACAAAP030B

- 後方の壁，支柱，天井など障害物にはさまれるおそれがあるのでエンジン回転を下げて後進してください。
- 屋根の低いハウス内や車の荷台では，エンジンを停止して手で引き出してください。

■ 坂道を移動するとき

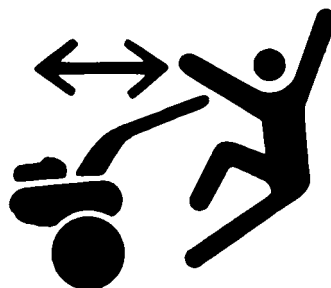
1AFACAAAP031B

- 坂道，ほ場の出入り，あぜの乗越えなどの途中で主クラッチを **[切]** ったり，主変速を **[中立]** にすると，機体が思わぬ方向に進み危険です。
- 変速操作は，機械が平坦な場所以外では行なわないでください。落下や転倒のおそれがあります。
- 坂道や凹凸，カーブの多い路上で高速運転すると，転倒したりして危険ですから必ず低速運転してください。

■ 運搬・積降ろしするとき

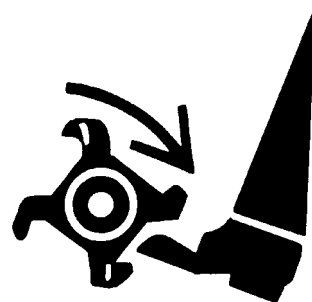
1AFACAAAP032B

- 積込み・積降ろしは，平坦で交通の邪魔にならない安全な場所で行なってください。
- デフ連動ロータリ入切レバーは **[直進]** の位置にしてください。**[旋回]** の位置にすると思わぬ方向に進むことがあり危険です。
- アユミ板はすべり止めのついた，機体重量に耐えるもので，トラックの荷台の高さ **[1]** に対しアユミ板の長さ **[4 以上]** のものを使用し，確実に固定してください。

- 足元に注意し，車速は最低速で，上りは **［前進］** 下りは **［後進］** で行ない，途中で主クラッチを切ったり，変速操作をしないでください。落下・転倒のおそれがあります。
- 車などで運搬するときは，荷台に天井がある車を使用すると天井に首や体をはさまれるおそれがありますので，必ず荷台に天井がない車を使用してください。
- 燃料コックレバーを必ず **［閉］** にし，給油キャップはもれないようしっかり締めてください。燃料もれが発生し，火災や爆発のおそれがあります。
- 機体の固定は前部プロテクター・抵抗棒，ハンドルの3箇所を使ってロープ掛けを行ない，確実に床に固定してください。

1AFACAAAP033B

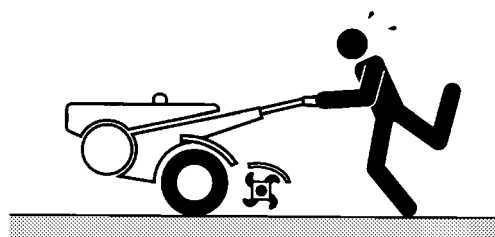
■ **耕うん作業するとき**

- いつでも主クラッチが **［切］** れる姿勢で運転してください。爪軸（ロータリ）作業開始時や作業中，機体が思わぬ方向に飛出し転倒や人身事故のおそれがあります。
- 作業前に，ほ場の状態をよく確認して，石・材木・針金・空カン・空ビンなどを取除いてください。
- 作業前，作業後には機械の整備・点検を行なってください。特にエンジン本体，マフラ周辺，配線部にワラくずなどがたまっていると，火災の原因になります。
- 周辺の枯れ草やたい積ワラなどは作業前に取除くか移動させてください。機械のマフラが接触すると，発火するおそれがあります。
- ほ場の中や周囲にある支柱，樹木や段差などは，作業前に位置を確認し，後進時にはさまれたり，転倒・転落しないよう安全な距離を保って，近づかないよう作業してください。
- ハウスや小屋の中，果樹園など障害物がある場所では，周囲をよく確認しながら作業してください。特に後進，旋回するときは，エンジン回転を下げ，ハンドルをしっかり押えて行なってください。
- 長いワラ・草など作業に支障のあるものは，作業前に取除いてください。機体が思わぬ方向に飛出し，転倒などのおそれがあります。

1AFACAAAP029B

■ **回転している爪に注意**

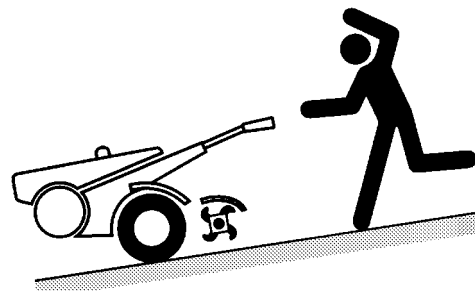
● ハンドル部を持上げ旋回するとき，足元及び周囲に十分注意しないと回転する爪に巻込まれるおそれがあります。

1AFACAAAP034C

■ **ほ場が硬いとき**

● 硬いほ場では車速を遅めにして，耕深も浅めで作業を行なってください。機体が飛出すおそれがあります。

1AFACAAAP028B

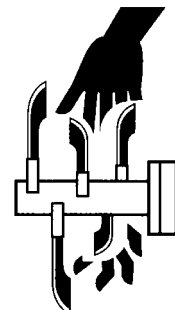
■ **機械から離れるとき**

● エンジンは必ず停止させ，平坦で安定した場所に停車してください。移動・落下するおそれがあります。（やむなく傾斜地に止めるときは車止めをしてください）

● 周囲に草・ワラなど燃えやすいものがある場所に止めないでください。火災のおそれがあります。

1AFACAAAP031B

作業が終わったとき

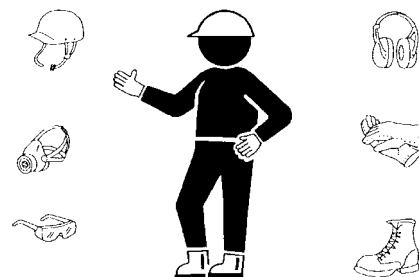
■ **掃除をするとき**

● 車軸（ロータ）・爪軸（ロータリ）等に巻付いた草・ワラ・泥土等を取除くときは，巻込まれるおそれがあるので，必ずエンジンを停止してください。

1AFACAAAP036B

点検・給油・整備時に

■ 点検・整備時の服装と保護具

1AGADAPAP122B

- 点検整備にはヘルメット，安全靴と安全な服装を着用してください。
  作業内容によっては保護めがね，防塵マスク，防音具，保護手袋などの保護具を着用してください。
  各保護具は使用前に機能を確認してください。

■ 点検・整備前の準備

1AKABAIAP071A

- 点検，整備，アタッチメントの脱着などは，機械が転倒しない平坦な所に機械を安定させて，エンジンを止め，高温部が冷めてから行なってください。

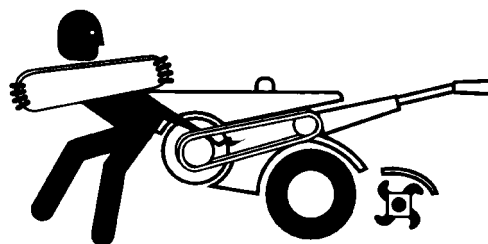
■ バッテリを点検するとき

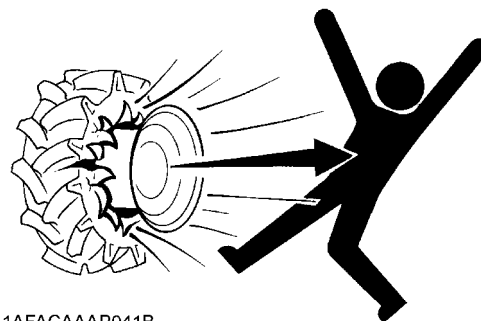
1AEACAFAP002A

- 雨や水にぬれない場所で点検してください。必ずメインスイッチを［ **停止** ］位置にしてバッテリの取付け，取外しを行なってください。
  守らないと感電するおそれがあります。

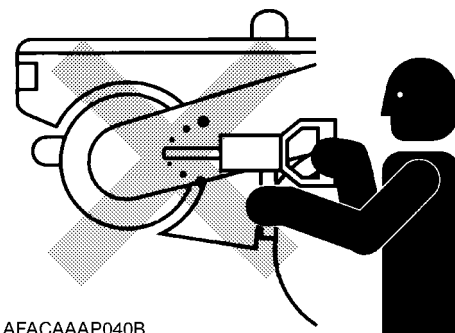
■ カバー類は必ずつける

1AFACAAAP037B

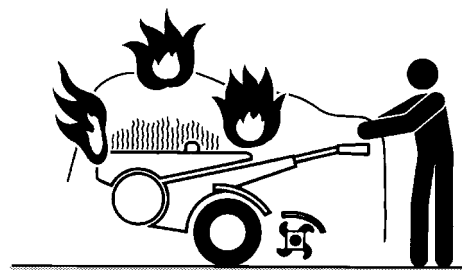
- ベルトカバーなどの防護カバーを取外すときは，巻込まれるおそれがあるので，必ずエンジンを停止してください。
- 取外したカバー類は元通り組付けてください。

■ **タイヤの整備**

- タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を，必ず守ってください。空気の入れ過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり，死傷事故を引き起こす原因になります。
- タイヤに傷があり，その傷がコード（糸）に達している場合は，使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。
- タイヤ，チューブ，リムなどの交換，修理は，必ず購入先にご相談ください。
（特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。）

1AFACAAAP041B

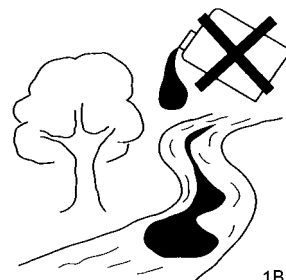
■ **機械の改造禁止**

- 機械を改造しないでください。改造すると機能に影響を及ぼすばかりか人身事故にもつながるおそれがあります。

1AFACAAAP040B

■ **格納するとき**

- 機体に保管用カバーをかけるときは，火災予防のため高温部が冷めてから行なってください。
- 火災防止のため，草・ワラ等可燃物のあるところでの保管はしないでください。

1AFACAAAP076A

■ **廃棄物の処理について**

- 廃棄物をみだりに捨てたり，焼却すると，環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。
- 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。
- 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。
- 廃油，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者等に相談して，所定の規則に従って処理してください。

1BJABAAAP0180

■ **夜間作業の禁止について**

● 本機は夜間作業灯を装備していませんので，夜間作業はしないでください。思わぬ事故になるおそれがあります。

表示ラベルと貼付け位置

(1) 品番　60932-4823-0

1AFACAAAP046A

(2) 品番　KA761-4727-0

1AFACABAP068A

(3) 品番　KA821-4728-0

1AFACABAP074A

1AFACAHAP002A

1AFACAHAP0280

(4) 品番　KA761-4729-0

注
意

傷害事故防止のため、取扱説明書を読んで正しい取扱い
をし機械の運転操作、特に主クラッチはすばやく切れる
よう良く練習し、充分に慣れてから作業をすること。

始動するとき
◆主クラッチを切り、変速を中立にすること。
◆前後左右に、人がいないことを確認すること。

運転するとき
◆坂道・積み降ろし・ほ場の出入り・畦の乗越え等
では、遅い車速で運転し、途中で変速しないこと。
デフロックレバーを、「直進」の位置にすること。
◆後進時はハンドルがはね上がるので、主クラッチ
がいつでも切れるようハンドルを下げ、遅い車速
で後進すること。
◆周囲に人を近づけないこと。

点検、整備するとき
◆必ずエンジンを止め高温部が冷めてから行うこと。

1AFACABAP075A

(1) 品番　KA823-4735-0 [E仕様]

⚠ 警告
- 火災の原因となるので、コネクタの端子を雨や水に濡らさないこと。
- 洗車をするときは、コネクタを接続し、バッテリに水がかからないようにすること。
- バッテリカバーを外して使用しないこと。

1AFACAHAP0390

(4) 品番　KA823-4737-0 [E仕様]

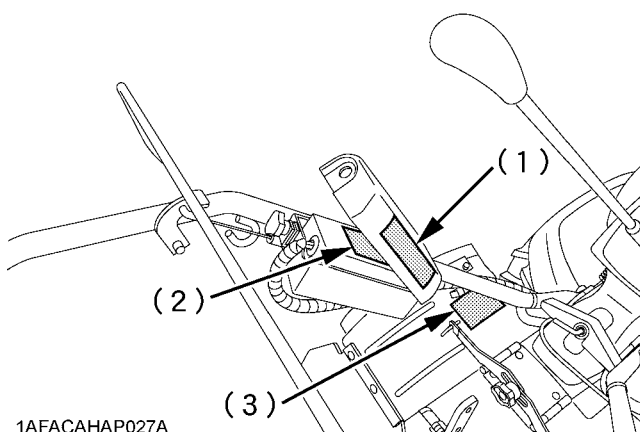
1AFACAHAP084A

(2) 品番　KA823-4736-0 [E仕様]

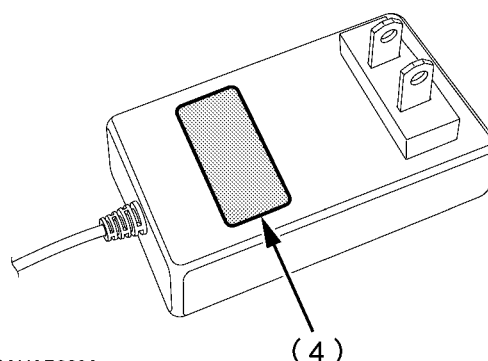
⚠ 警告

発熱や発火、破裂、液漏れの原因となるので
- 専用の充電器を使用すること。
- 分解や改造をしたり、強い衝撃を与えないこと。
- 端子間を金属などで接触させないこと。
- コネクタの端子を雨や水にぬらさないこと。
- 火中への投入、加熱、高温の場所での使用、放置をしないこと。
- コードを強く引っ張らないこと。

1AFACAHAP0400

(3) 品番　KA824-4726-0 [U仕様]

1AFACAHAP071A

1AFACAHAP027A

1AFACAHAP083A

1AFACAHAP0290

表示ラベルの手入れ

- ラベルは，いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
  もしラベルが汚れている場合は，石鹸水で洗い，やわらかい布で拭いてください。
- 高圧洗浄機で洗車すると，高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。高圧水を直接ラベルにかけないでください。
- 破損や紛失したラベルは，製品購入先に注文し，新しいラベルに貼替えてください。
- 新しいラベルを貼る場合は，貼付け面の汚れを完全に拭取り，乾いた後，元の位置に貼ってください。
- ラベルが貼付けされている部品を新部品と交換するときは，ラベルも同時に交換してください。

サービスと保証について

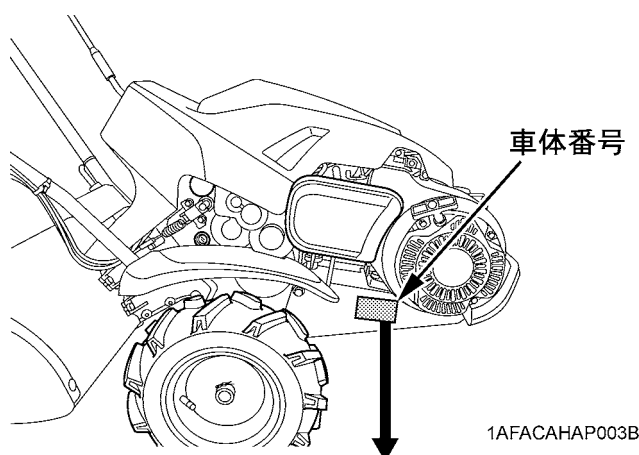
この製品には，保証書が添付してありますので，ご使用前によくご覧ください。

■ ご相談窓口

ご使用中の故障やご不審な点及びサービスについてのご用命は，お買上げいただいた購入先にそれぞれ **［ご相談窓口］** を設けておりますのでお気軽にご相談ください。

その際　(1) 型式名・販売型式名と車台番号
　　　　(2) エンジン番号

をあわせてご連絡ください。

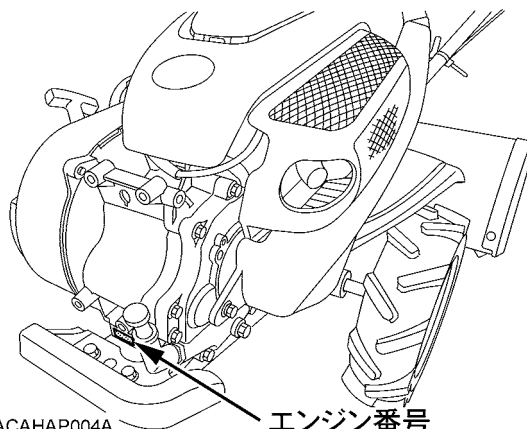
なお，部品ご注文の際は，購入先に純正部品表を準備しておりますので，そちらでご相談ください。

農業機械の種類	農用トラクタ（歩行型）
型　式　名	クボタ
販売型式名	
区　分	
車両型式名	
車台（製造）番号	
製造会社	株式会社クボタ

警　告

＊ 機械を改造しないでください。改造すると機能に影響を及ぼすばかりか，人身事故にもつながるおそれがあります。
改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は，メーカ保証の対象外になるのでご注意ください。

◆ 認定番号

安全鑑定の農機型式名及び番号が必要な場合は，下記の型式名及び番号をご使用ください。

販売型式名	農機型式名	安全鑑定番号
TRS50 TRS60 TRS60-U TRS60-US TRS60-E TRS60-EU TRS60-H TRS60-J TRS60-JU TRS70 TRS70-U TRS70-US	TRS60	36054

注　意

＊ 公道でのトレーラ走行はできません。
小型特殊自動車の認定を受けておりません。
公道を走行すると，道路運送車両法に違反します。
公道を移動するときは，自動車（トラック）に積んで運搬してください。

■ 補修用部品の供給年限について

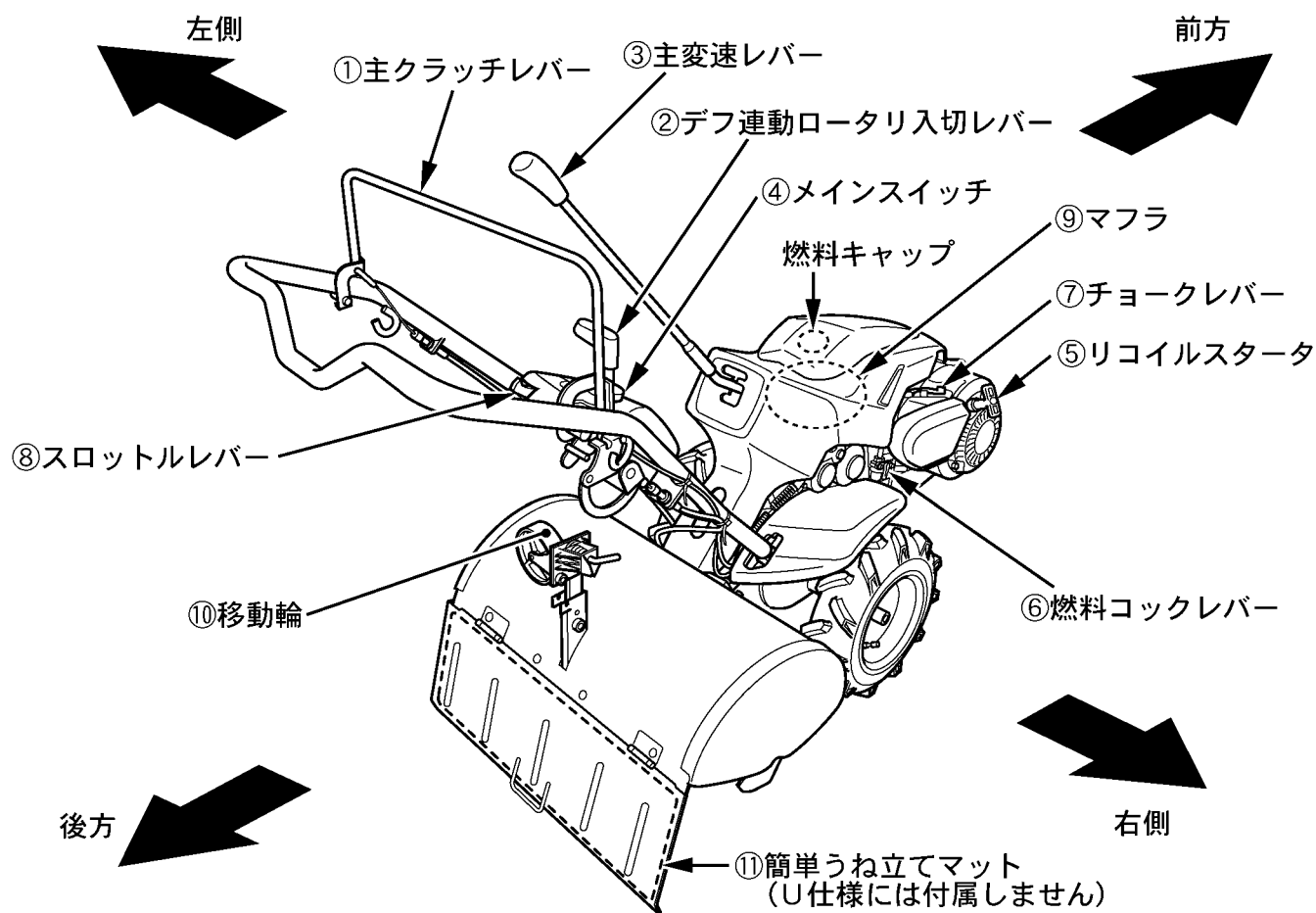
この製品の補修用部品の供給年限（期限）は製造打ち切り後９年といたします。

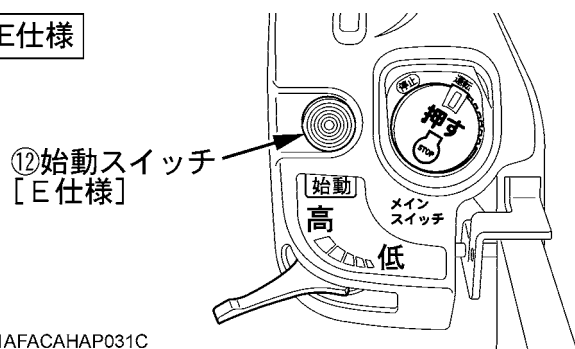
ただし，供給年限内であっても特殊部品につきましては，納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は原則的に上記の供給年限で終了致しますが，供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には，納期及び価格についてご相談させていただきます。

各部の名称と装置の取扱い

機体方向説明と装置の名称

左側
前方
①主クラッチレバー
③主変速レバー
②デフ連動ロータリ入切レバー
④メインスイッチ
⑨マフラ
燃料キャップ
⑦チョークレバー
⑤リコイルスタータ
⑧スロットルレバー
⑩移動輪
⑥燃料コックレバー
後方
右側
⑪簡単うね立てマット
（U仕様には付属しません）

1AFACAHAP005A

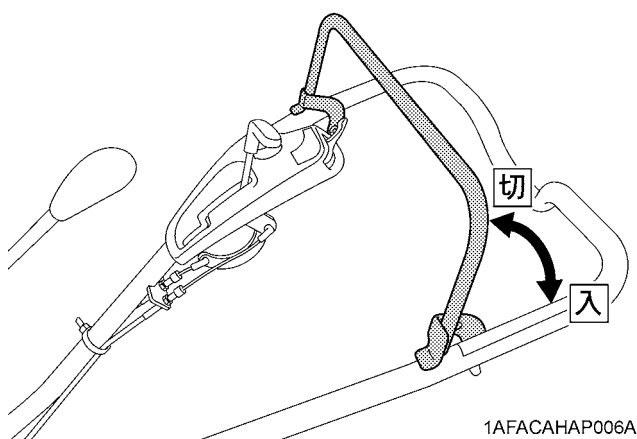
E仕様

1AFACAHAP031C

		参照ページ			参照ページ
（1）	主クラッチレバー・・・・・・・・・・・・・・	3	（7）	チョークレバー・・・・・・・・・・・・・・・・	6
（2）	デフ連動ロータリ入切レバー・・・・	3	（8）	スロットルレバー・・・・・・・・・・・・・・	6
（3）	主変速レバー・・・・・・・・・・・・・・・・・	3	（9）	マフラ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
（4）	メインスイッチ・・・・・・・・・・・・・・・・	4	（10）	移動輪・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
（5）	リコイルスタータ・・・・・・・・・・・・・・	5	（11）	簡単うね立てマット・・・・・・・・・・・・	17
（6）	燃料コックレバー・・・・・・・・・・・・・・	5	（12）	始動スイッチ **［E 仕様］** ・・・・・・・・・	5

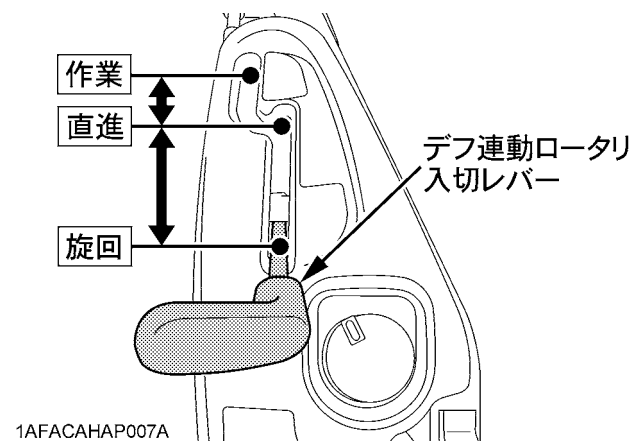
各部の名称とはたらき

■主クラッチレバー

＊ 傾斜地や後進するときなどは，ハンドルが持ち上がり危険な場合がありますので，主クラッチレバーをゆっくり操作してください。
＊ 狭い場所や後進の運転についてはエンジンの回転を低速にし，後方や上方などまわりの安全を確かめ，ゆっくりと主クラッチレバー操作してください。
＊ 危険を感じたら，すぐに手を離してください。機械が停止します。

エンジンからの動力を断続します。
1. レバーを握るとクラッチが **［入］** ります。
2. レバーを離すとクラッチが **［切］** れます。

■デフ連動ロータリ入切レバー

＊ ［旋回］の位置でトラックへの積降ろしや坂道移動をすると，思わぬ方向にハンドルを取られる場合があり危険です。発進する前に必ずレバーを［直進］の位置にしてください。
＊ 耕うん作業中は［作業］から［直進］又は［旋回］に入れてもロータリ回転が止まらない場合があります。ハンドルを持ち上げ，ロータリを地面から浮かすとロータリ回転が止まります。

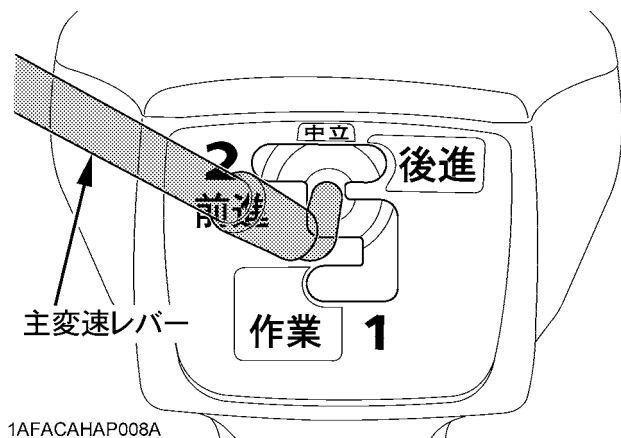
1. ほ場内の耕うん・うね立て作業時はデフ連動ロータリ入切レバーを **［作業］** 位置にします。**［作業］** 位置以外ではロータリは回転しません。
2. トラックへの積降ろしや，ほ場での直進移動時はデフ連動ロータリ入切レバーを **［直進］** 位置にします。左右の車輪が同回転し，安定した走行ができます。
3. ほ場内での旋回時はデフ連動ロータリ入切レバーを **［旋回］** 位置にします。左右の車輪に回転差が生じ旋回が容易に行なえます。

■主変速レバー

＊ エンジンを始動する前に，必ずレバーを［中立］にしてください。
＊ 変速操作は主クラッチを［切］ってから行なってください。
＊ 走行中は変速しないでください。

変速は案内板の表示位置に合わせてシフトします。

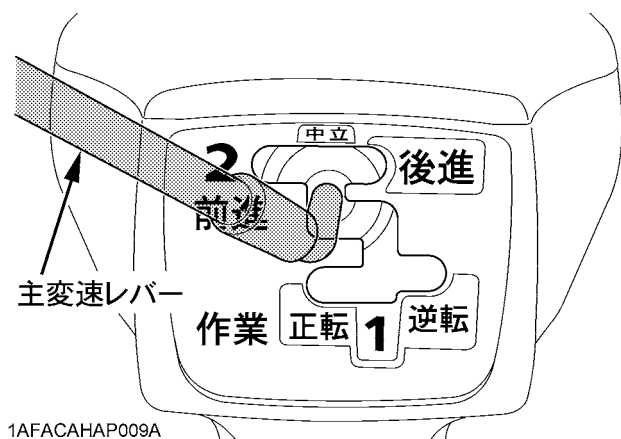
[TRS60-H]

1. 変速は前進２段，後進１段です。
2. ロータリは，作業（前進１速）で **[作業]** です。

1AFACAHAP008A

[TRS60-H]

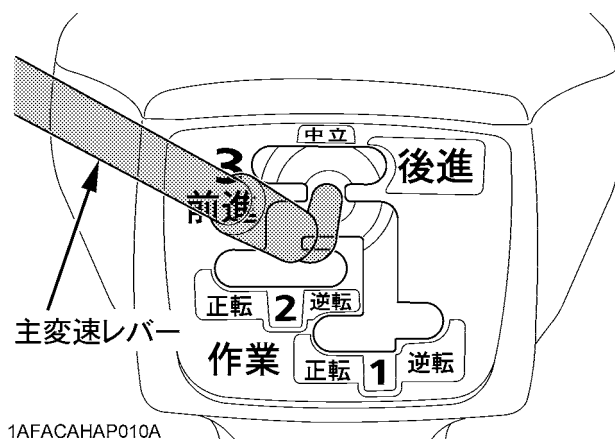
[TRS50, TRS60, TRS60-U, TRS60-US, TRS60-E, TRS60-EU, TRS60-J, TRS60-JU]

1. 変速は前進２段，後進１段です。
2. ロータリは，作業・正転（前進１速）で **[正転]**，作業・逆転（前進１速）で **[逆転]** です。

1AFACAHAP009A

[TRS50, TRS60, TRS60-U, TRS60-US, TRS60-E, TRS60-EU, TRS60-J, TRS60-JU]

[TRS70, TRS70-U, TRS70-US]

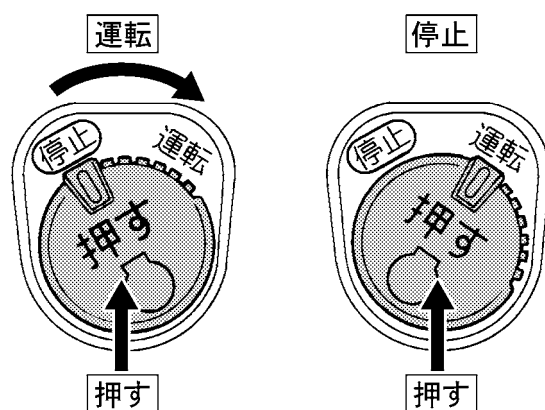
1. 変速は前進３段，後進１段です。
2. ロータリは，作業・正転（前進１速）で **[正転]**，作業・逆転（前進１速）で **[逆転]**，作業・正転（前進２速）で **[正転]**，作業・逆転（前進２速）で **[逆転]** です。

1AFACAHAP010A

[TRS70, TRS70-U, TRS70-US]

■メインスイッチ

エンジンの始動・停止に用います。

1. スイッチを押しながら **[運転]** 位置に回すと始動が可能です。
2. スイッチを押すと左に回って **[停止]** 位置に戻り，エンジンが停止します。

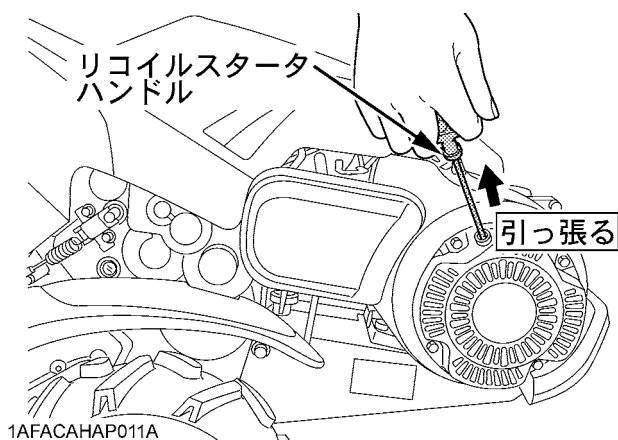
1AFACAAAP059A

補　足

＊ 非常時にはメインスイッチを押してください。エンジンが停止します。

■リコイルスタータ

注 意

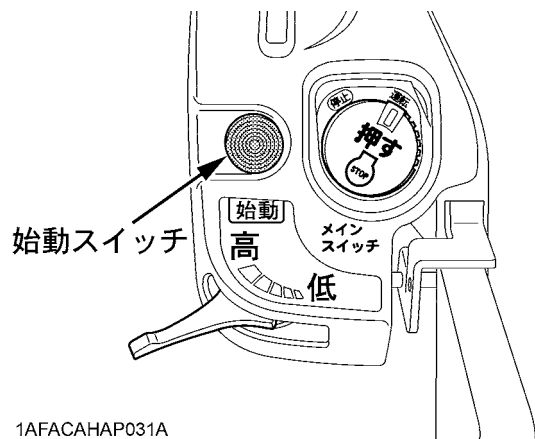
* **リコイルスタータを引っ張る方向に人がいないか，突起物・障害物がないか確かめてから始動してください。傷害事故のおそれがあります。**

エンジンを始動します。
主クラッチレバーを **[切]** にし，リコイルを引っ張ると始動します。

補 足

* 主クラッチレバーは必ず **[切]** の状態にして，主変速レバーを **[中立]** にして始動してください。

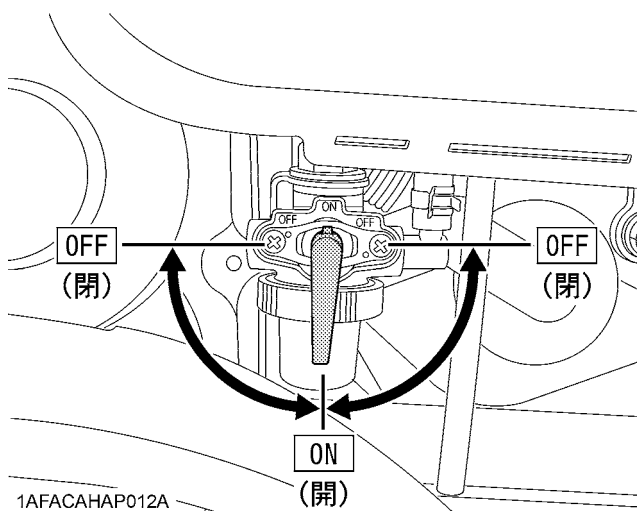
■始動スイッチ［E 仕様］

主クラッチレバーを **[切]** にし，始動スイッチを押すとエンジンが始動します。

補 足

* 本機にバッテリを取付けないと始動スイッチは作動しません。（44 ページ **[バッテリの取付け，取外し]** を参照）
* 主クラッチレバーは必ず **[切]** の状態にして，主変速レバーを **[中立]** にして始動してください。

■燃料コックレバー

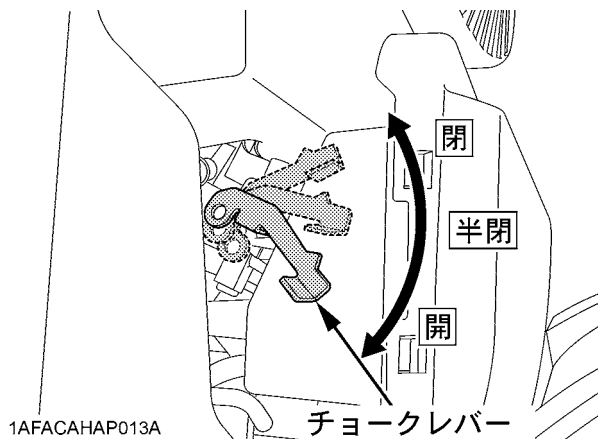
燃料タンクからエンジンへ燃料の **[供給]・[停止]** をします。エンジン停止後，必ず燃料コックを閉めます。

1. **[OFF]（閉）**　燃料停止
2. **[ON]（開）**　燃料供給

重 要

* コックを開いた状態で，前に倒したり車両で運搬すると，エンジン始動が困難になる場合があります。

■チョークレバー

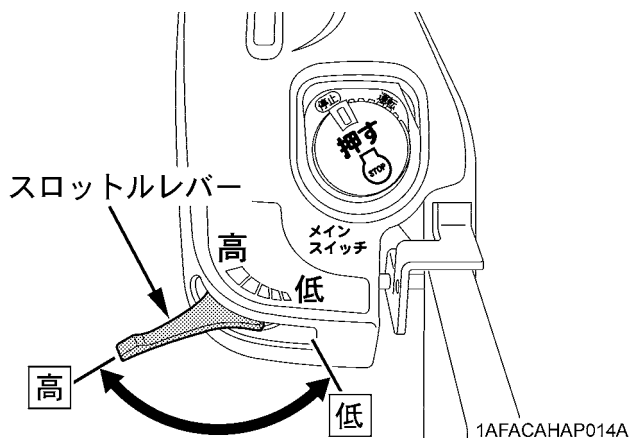
エンジンがかかりにくい時に使用します。

1. **始動時**，**［閉］**位置にレバーを切り換えます。
2. **始動後**，**［開］**位置にレバーを切り換えます。

補　足

＊ **［半閉］**位置は，寒冷地での暖機運転時などに使用します。

■スロットルレバー

エンジン回転の調節をします。

1. **［高］**の方向に回すと回転が上がります。
2. **［低］**の方向に回すと回転が下がります。

■燃料キャップ

＊ 給油するときはエンジンを停止し，エンジンやマフラがじゅうぶん冷えてから行なってください。
＊ 火気厳禁。くわえ煙草での給油は絶対にしないでください。
＊ 燃料がこぼれたときはきれいにふき取ってください。
＊ 燃料は規定量（赤色ゲージ）以上入れないでください。
＊ 給油後，燃料キャップはガソリンがもれないようしっかり締めてください。
＊ 上記の作業をおこたると，爆発・火災のおそれがあります。

自動車用レギュラーガソリンを使用します。

燃料の種類	規定容量
自動車用レギュラーガソリン	2.5L

重　要

＊ 燃料タンク内にゴミや水及びその他異物が混入しないように，注意してください。

■マフラ

＊ マフラに手でふれないでください。
ヤケドをするおそれがあります。

作業前の点検

注意

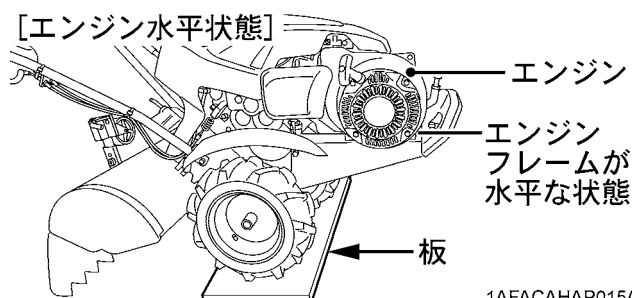
- ＊ **平坦な場所に機械を安定させて点検してください。**
- ＊ **点検中はエンジンを停止してください。**

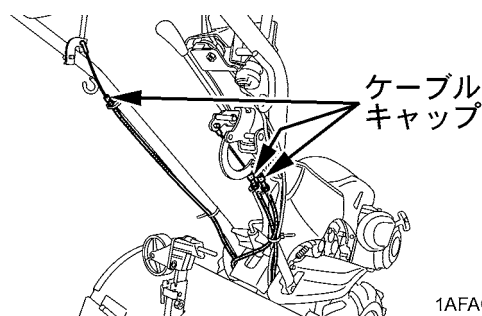
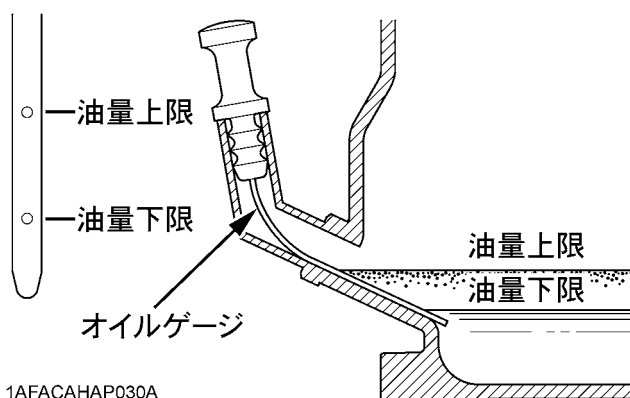
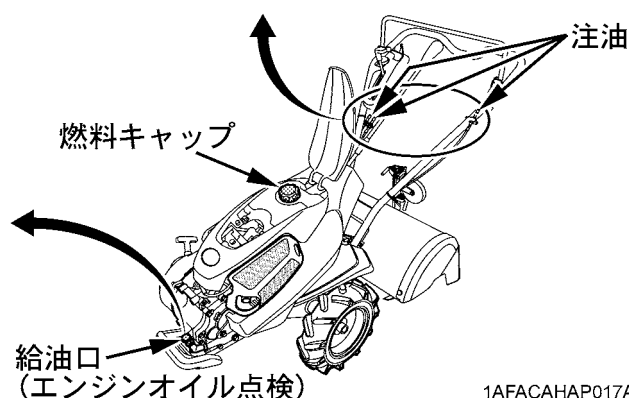
調子よく作業するために

（詳細は 32 ページの **［ロータリ専用機の簡単な手入れと処置］** を参照）

- ＊ **給油するときはエンジンを停止し，エンジンやマフラがじゅうぶん冷えてから行なってください。**
- ＊ **火気厳禁。くわえ煙草での給油は絶対にしないでください。**
- ＊ **燃料がこぼれたときはきれいにふき取ってください。**
- ＊ **燃料は規定量（赤色ゲージ）以上入れないでください。**
- ＊ **給油後，燃料キャップはガソリンがもれないようしっかり締めてください。**
- ＊ **上記の作業をおこたると，爆発・火災のおそれがあります。**

1AFACAHAP015A

◆ **燃料**
- ● ロータリ爪接地状態で燃料を入れてください。
- ● 自動車用レギュラーガソリンを補給します。
- ● タンク容量……約 2.5 L（赤色ゲージ以下にします。）

◆ **エンジンオイル**
- ● エンジンを水平にして，オイルゲージで規定量あるか点検します。
- ● 不足している場合は，クボタ純オイルを補充します。
  （ガソリンエンジン用）
  スーパー G 10W-30

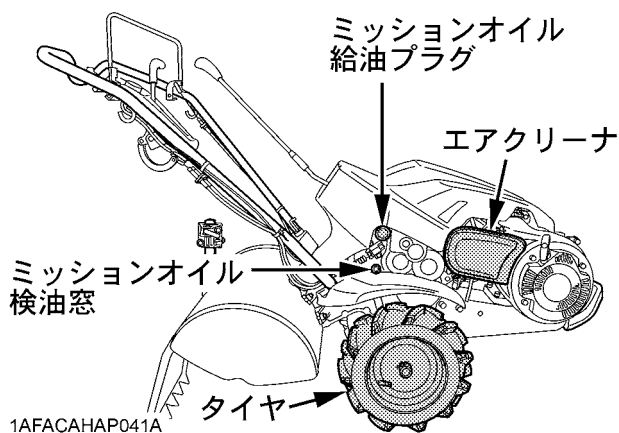
◆ **主クラッチケーブル・デフロックケーブル・ロータリ入切ケーブル**
- ● ケーブルのキャップを外し，エンジンオイルを注油します。

1AFACAHAP016D

1AFACAHAP030A

1AFACAHAP017A

作業前の点検

◆ **ミッションオイル**
- エンジン水平状態で，オイルが検油窓の中間位置まであるか点検します。
- 不足している場合は，クボタ純オイルを補充します。
  (NEW UDT，スーパー UDT-2 又は M80B)

◆ **エアクリーナ**
- エアクリーナエレメントにゴミが付着していないか点検します。

◆ **タイヤ**
- 空気が抜けていないか，また損傷がないか点検します。

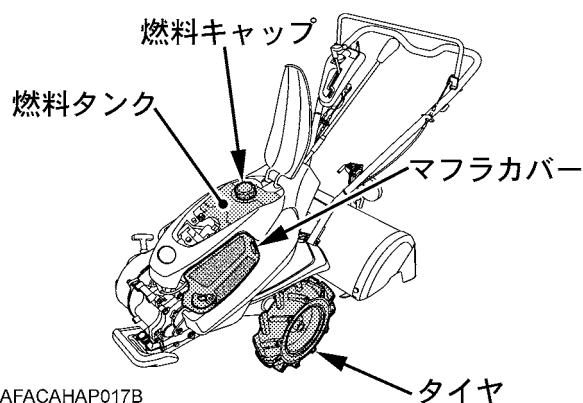
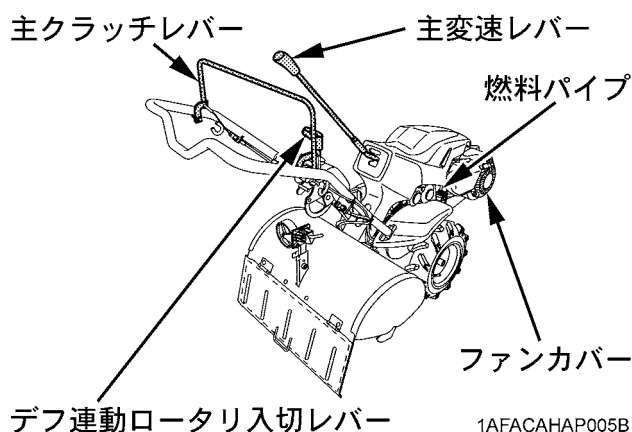
◆ **その他**
- エンジン，ミッションなどから油もれがないか点検します。
- 各しゅう動部へエンジンオイルを注油します。
- 各部の損傷及びボルト・ナットのゆるみがないか点検します。

重　要

＊ 水やごみを混入しないようにしてください。

安全に作業するために

⚠ 警告

＊ タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を，必ず守ってください。空気の入れ過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり，死傷事故を引き起こす原因になります。
＊ タイヤに傷があり，その傷がコード（糸）に達している場合は，使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。
＊ タイヤ，チューブ，リムなどの交換，修理は，必ず購入先にご相談ください。（特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。）

◆ **主クラッチレバー デフ連動ロータリ入切レバー**	● クラッチの **［入］・［切］** が確実に行なえるか点検します。 ● **［旋回］・［直進］・［作業］** への切り替えが確実に行なえるか点検してください。 ● 不良の場合は調整・注油します。
◆ **主変速レバー**	● 変速が案内板の表示位置で確実に行なえるか点検します。
◆ **電気配線**	● 被覆が溶けたり被れていないか，また配線がはさまれていないか点検します。
◆ **エンジン周辺部**	● ファンカバーやマフラカバー内にゴミやワラクズの付着がないか点検します。
◆ **ガソリンもれ**	● タンクや燃料パイプからガソリンもれがないか点検します。もれがある場合は，修理点検します。 ● 自動車用レギュラーガソリンを補給します。 ● タンク容量……規定量（赤ゲージ位置）以上入れないようにします。 ● 給油後，ガソリンがもれないよう確実に燃料キャップを締めます。
◆ **タイヤ空気圧**	● 空気が抜けていないか，又，損傷がないか点検します。 ● 適正空気圧……120kPa（1.2kgf/cm）

運転のしかた

新車時の扱いかた

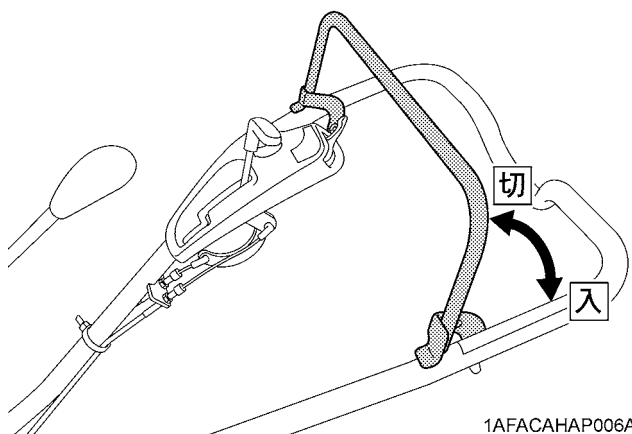
■ならし運転（最初の 10 時間まで）

この期間中は各部になじみをつけるため，エンジンを高速回転させたり，過酷な使用はさけ無理をさせないようにしてください。

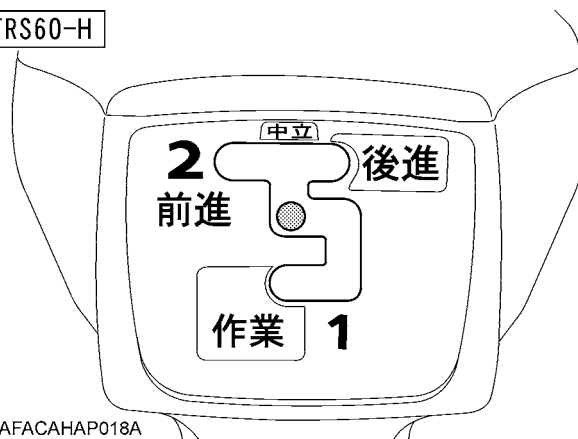
エンジンの始動と停止のしかた

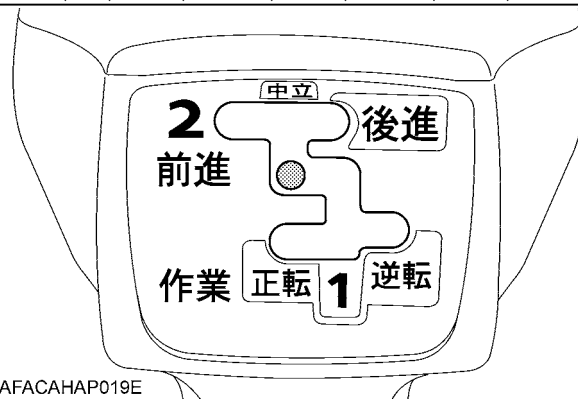
■リコイル始動のしかた

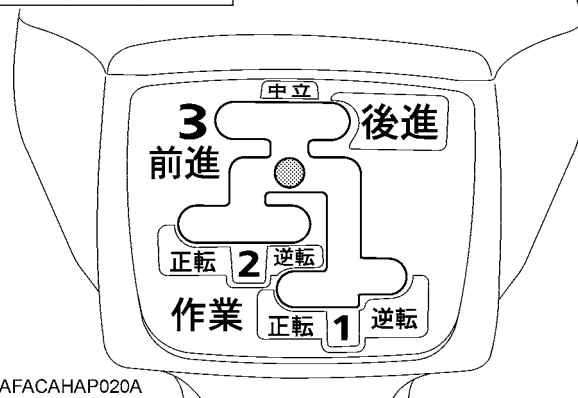
＊ マフラの排気出口方向に，燃えやすい物がないか確認してください。火災のおそれがあります。
＊ リコイルスタータを引っ張る方向に人がいないか，突起物・障害物がないか確かめてから始動してください。傷害事故のおそれがあります。
＊ エンジンの運転中は，危険ですからマフラやそのほか操作レバー以外の物には，触れないでください。ヤケドなど傷害事故のおそれがあります。
＊ 夜間作業はしないでください。
＊ エンジンを始動するときは，主クラッチレバーを必ず［切］にしてください。

1. 主クラッチレバーを **［切］** にします。
（手を離す）

1AFACAHAP006A

2. 主変速レバーを **［中立］** にします。

TRS60-H

1AFACAHAP018A

TRS50，60，60-U，60-US，60-E，60-EU，60-J，60-JU

1AFACAHAP019E

TRS70，70-U，70-US

1AFACAHAP020A

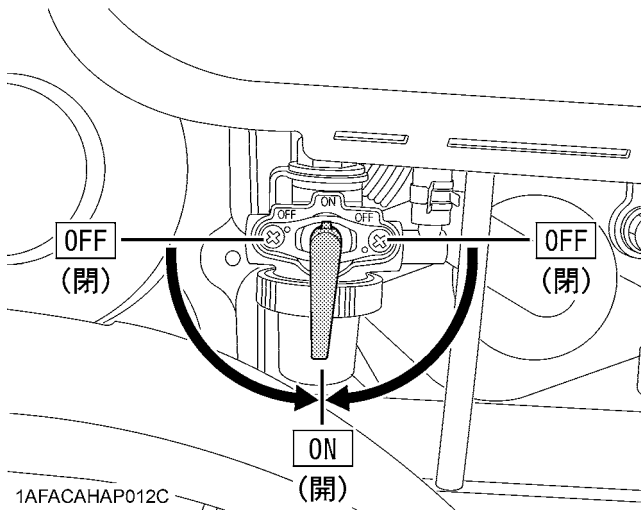
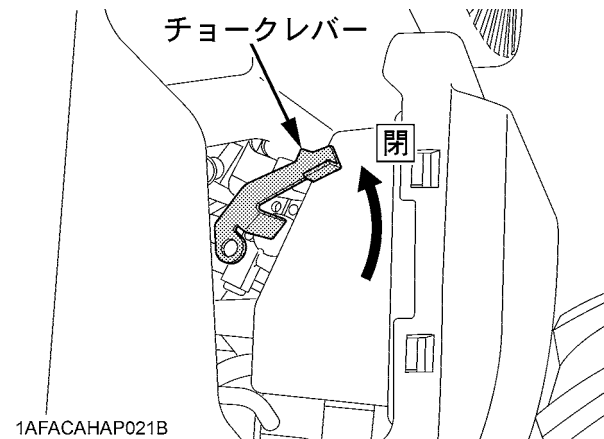
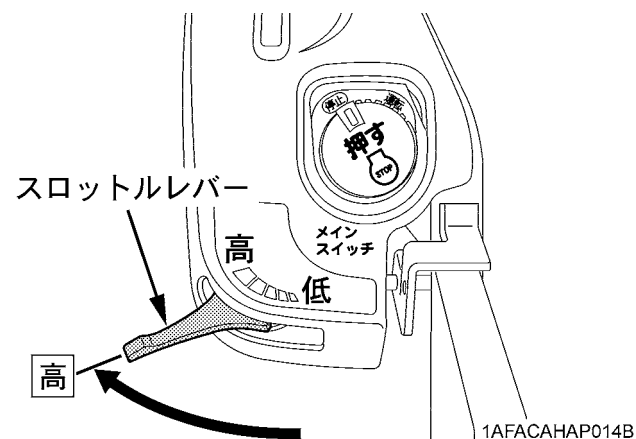
3. 燃料コックを **［ON］（開）** にします。

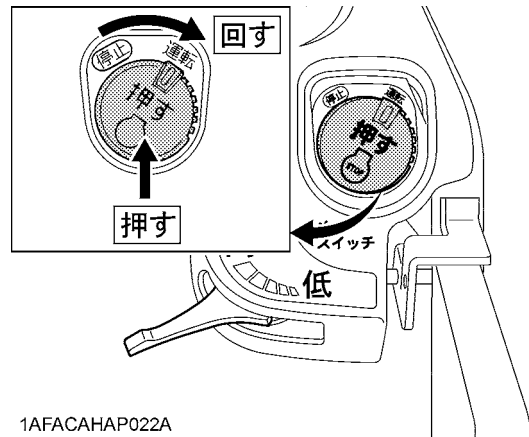
1AFACAHAP012C

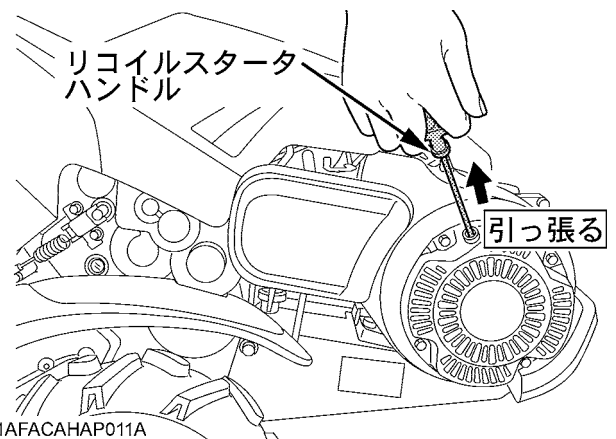
4. チョークレバーを **［閉］** 位置に切り換えます。

1AFACAHAP021B

5. スロットルレバーを **［高］** にします。

1AFACAHAP014B

6. メインスイッチを押しながら **［運転］** 位置まで回します。

1AFACAHAP022A

7. リコイルスタータハンドルを握って，引っ張ります。
   エンジンが始動したら，リコイルスタータハンドルを静かに元に戻してください。

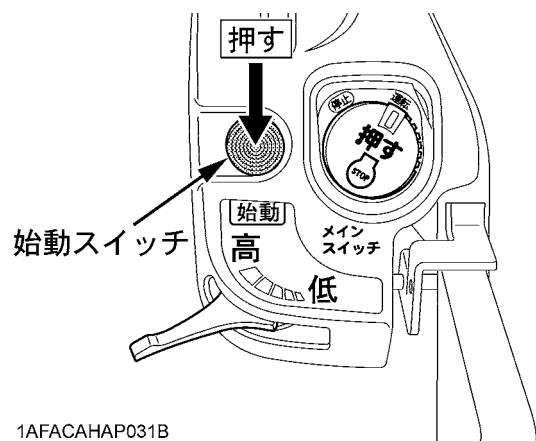
1AFACAHAP011A

8. エンジンの運転状態を確認しながら，チョークレバーを徐々に **［開］** の位置に戻します。
9. ２～３分暖機運転をしてから，作業を始めてください。

重　要

＊ 運転中はリコイルスタータを引かないでください。

■セルスタータ始動のしかた［E 仕様］

1. ～ 6. はリコイル始動と同じ手順で行なってください。
7. 始動スイッチを押し，エンジンを始動します。
8. エンジンが始動したところで，始動スイッチから手を離してください。

1AFACAHAP031B

9. エンジンの運転状態を見ながら，チョークレバーを徐々に［開］の位置に戻します。
10. ２～３分暖機運転をしてから，作業を始めてください。

重　要

＊ 10 秒間セルモータを回しても始動しない場合は，30 秒休んでから再始動してください。
＊ 運転中は始動スイッチを押さないでください。
＊ 本機にバッテリを取付けないと始動スイッチは作動しません。（44 ページ **［バッテリの取付け，取外し］** を参照）

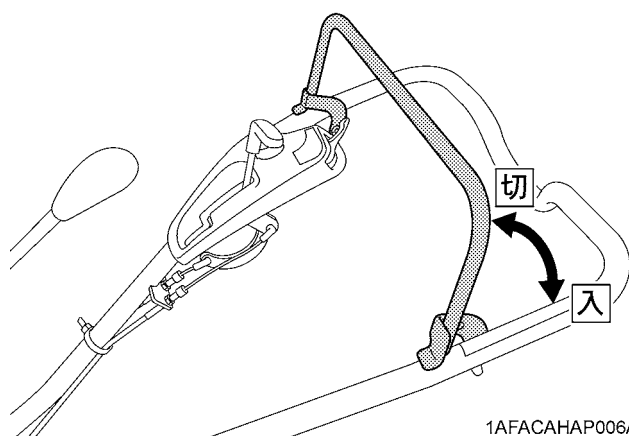
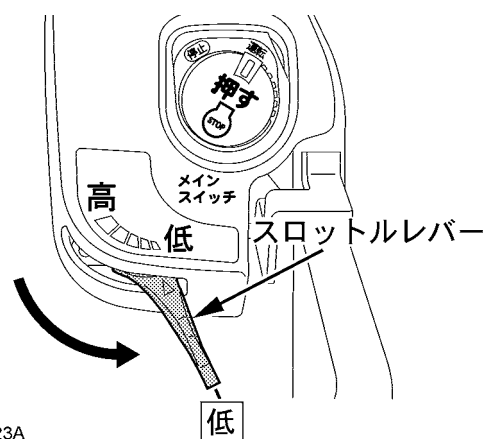
補　足

＊ 主クラッチレバーが **［入］** の状態でエンジンを始動することはできません。
＊ バッテリが完全に放電し，セルスタータで始動不能になった場合は，リコイルスタータで始動してください。

■停止のしかた

＊ 停止直後はしばらくマフラが熱くなっています。手を触れないでください。ヤケドのおそれがあります。

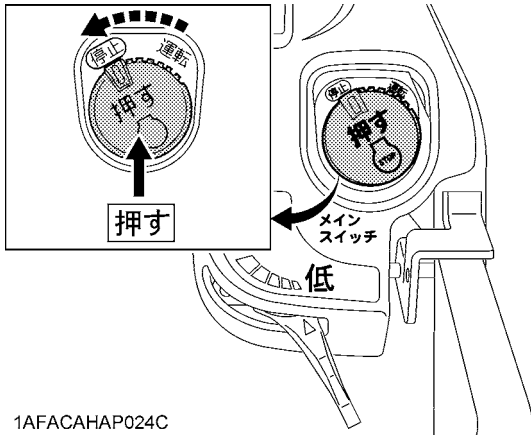
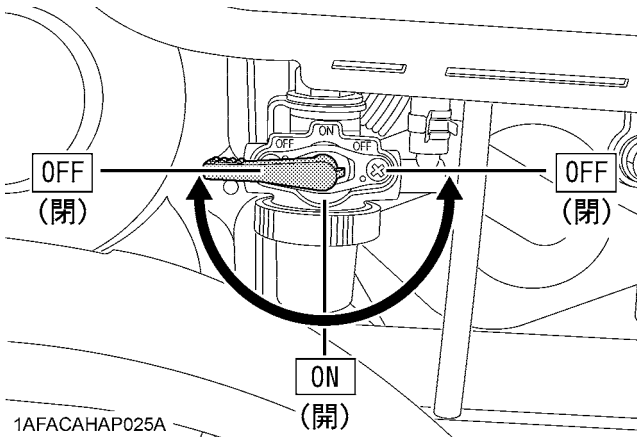
1. 主クラッチレバーを **［切］** にします。（手を離す）

1AFACAHAP006A

2. スロットルレバーを **［低］** にします。

1AFACAHAP023A

3. 主変速レバーを **［中立］** にします。（詳細は **［リコイル始動のしかた］** 10 ページ，**［セルスタータ始動のしかた［E 仕様］］** 12 ページを参照）

4. メインスイッチを押すと左に回って **[停止]** 位置に戻り，エンジンが停止します。

5. 燃料コックを **[OFF]（閉）** にします。

重　要

＊ コックを開いたままの状態で保管したり，車両で運搬したりすると，エンジン始動が困難となる場合があります。
また，クランクケース内へガソリンが流入することもあります。

発進のしかた

警　告

＊ 運転中は周囲に人を近づけないでください。傷害事故のおそれがあります。
＊ 傾斜地での運転や後進するときなどは，ハンドルが持ち上がり，体や首をはさまれるなどのおそれがありますので，主クラッチをゆっくり操作してください。
＊ 狭い場所での運転や後進の運転については，エンジンの回転を低速にし，後方や上方などまわりの安全を確かめゆっくりと主クラッチ操作をしてください。
＊ 危険を感じたら，早めに手を離してください。

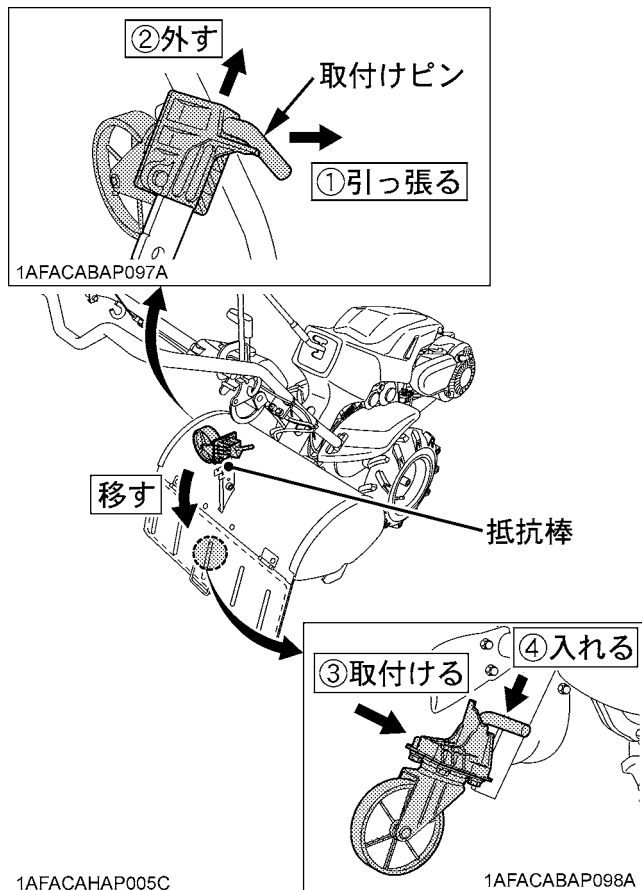
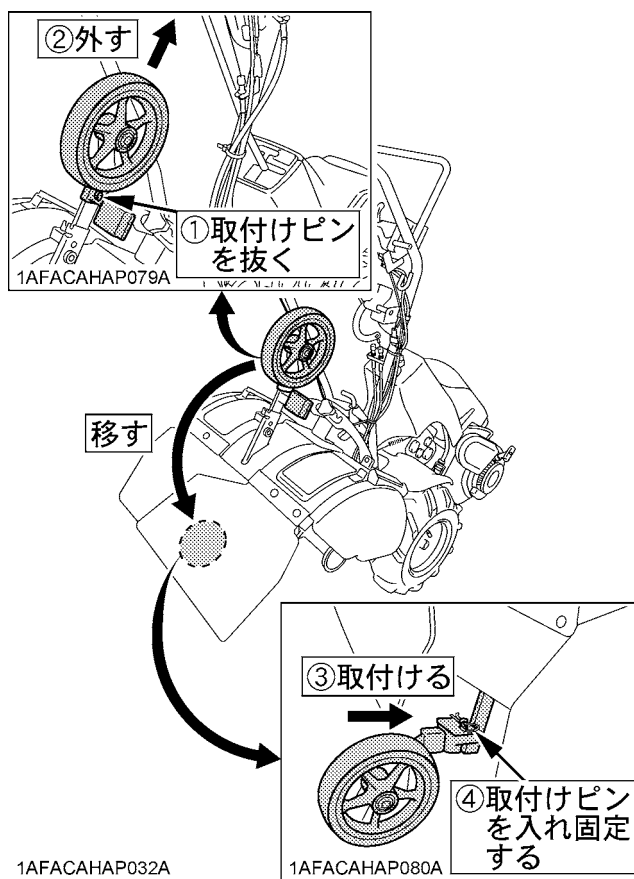
1. 主クラッチレバーが **[切]** の位置にある（手を離した状態）ことを確認した後，変速レバーを必要な変速位置にします。
2. 主クラッチレバーを **[入]**（握った状態）にすると発進します。
3. スロットルレバーを操作して速度を調整します。

■移動輪の使いかた

注　意

＊ 取付け・取外し作業は，必ず平坦な場所でエンジンを停止して行なってください。
＊ ロータリに付いた土を落としてください。
＊ 上記の手順をおこたりますと，ロータリ部が落下して傷害事故を引き起こすおそれがあります。
＊ ロータリ専用機は公道では走行できません。公道を移動するときは，トラックに積んで運搬してください。

1. 移動時には，抵抗棒の上部にある移動輪の取付けピンを外し，抵抗棒の下部へ取付けます。このとき，機体はエンジン側を接地させてください。

［ロータリカバー固定仕様］

［ロータリカバー開閉仕様（U 仕様）］

補　足

＊ 移動輪の取付けピンが，抵抗棒の取付穴に入っていることを確認してください。

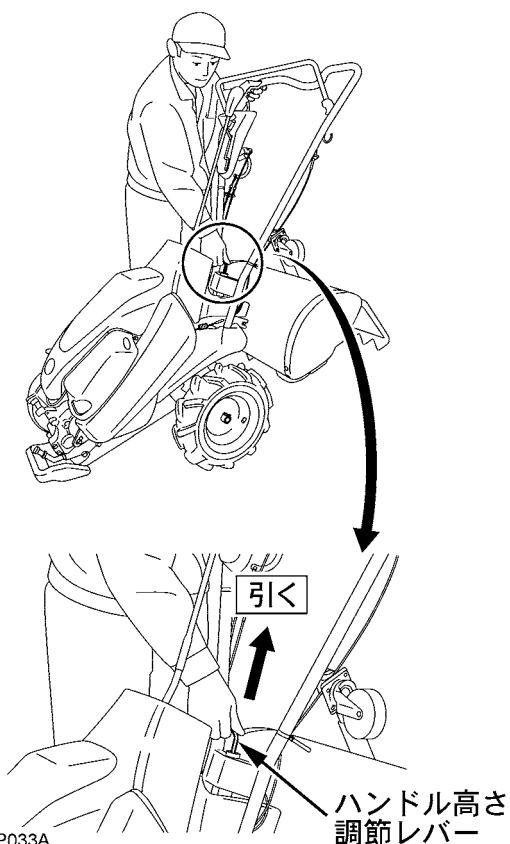
重　要

＊ 移動輪をつけた状態で作業しないでください。
＊ 移動輪と整地板があたらないように取付けてください。

■ハンドル高さの調節

> **注　意**
>
> **＊ 平坦な場所に機械を安定させて，エンジンを必ず停止して行なってください。傷害事故のおそれがあります。**
>
> **＊ 調節時はハンドルを支えながらハンドル高さ調節レバーを引いてください。ハンドルが自重で下がり，挟まれなどの傷害事故のおそれがあります。**

ハンドルの高さは４段の調節ができます。

1. ハンドル高さ調節レバーを引くとハンドルが上下に自由に動きます。このとき，機体はエンジン側を接地させてください。
2. ハンドル高さ調節レバーを離すと固定されます。このときハンドルが固定されていることを確認してください。

作業のしかた

上手な作業のしかた

下記操作手順を守り安全作業を心掛けてください。

■作業前の準備

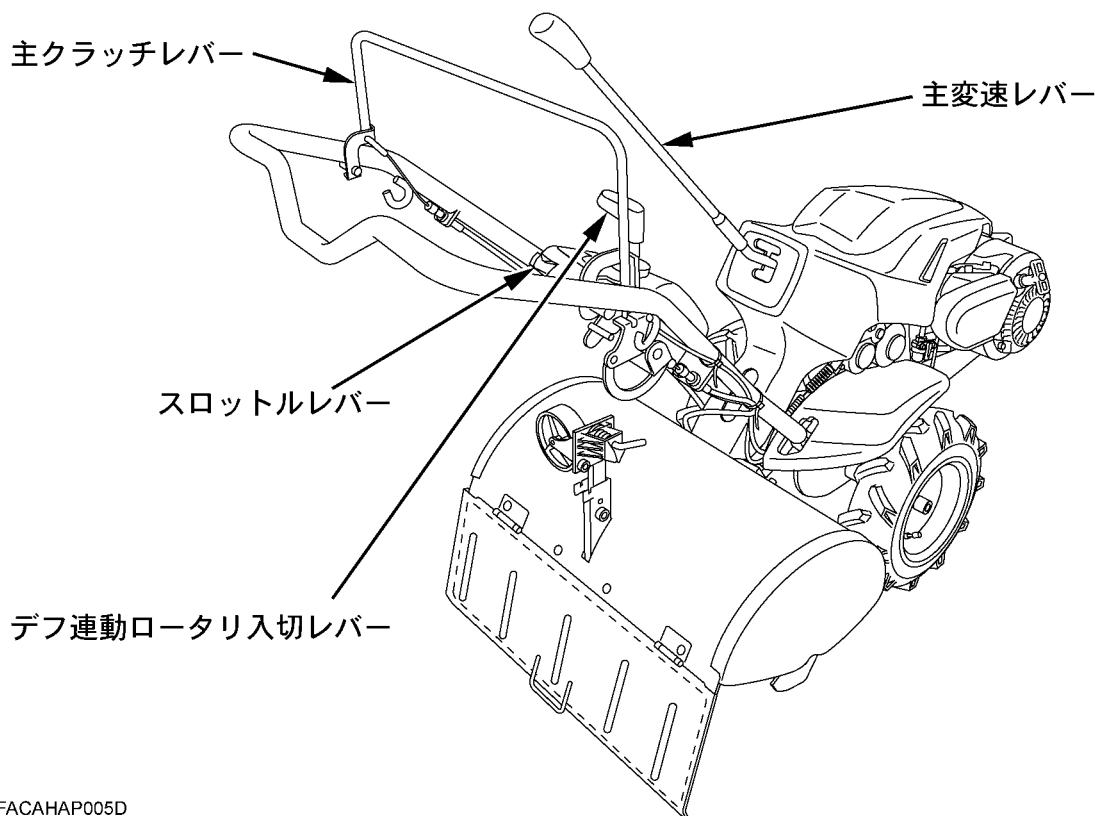
※各部の調節要領および作業ごとの設定要領を参照して，作業目的に合わせた設定を行なってください。

■耕うん作業手順

1. 主クラッチレバーを切ります。（主クラッチレバーを離します。）
2. 主変速レバーを **［作業］** の位置に入れます。
3. デフ連動ロータリ入切レバーを **［作業］** 位置にします。
4. スロットルレバーを高速にします。
5. 主クラッチレバーをゆっくり握り発進します。

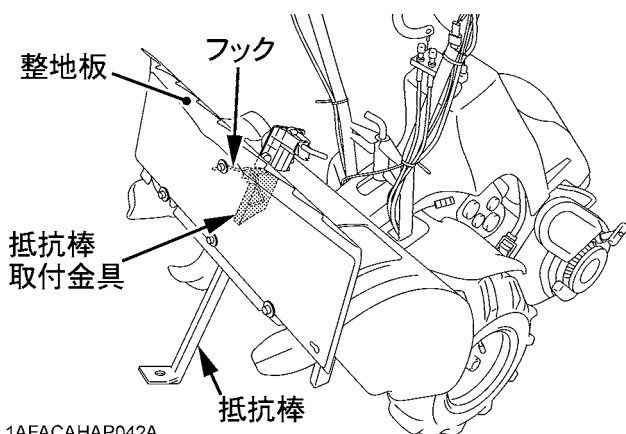
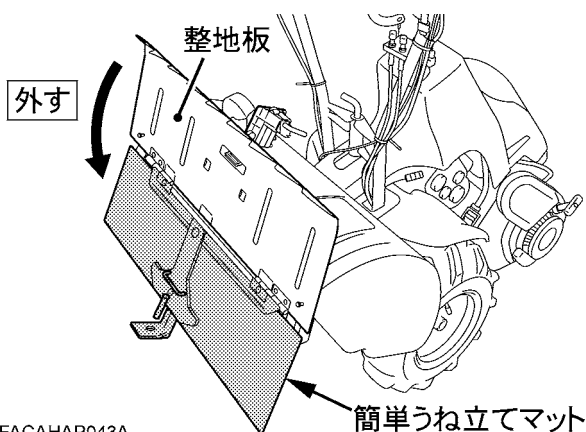
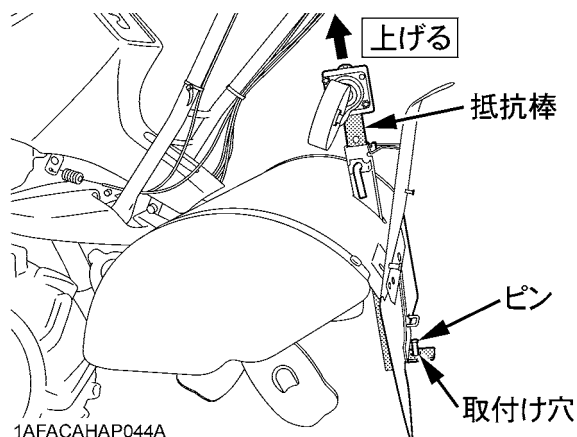
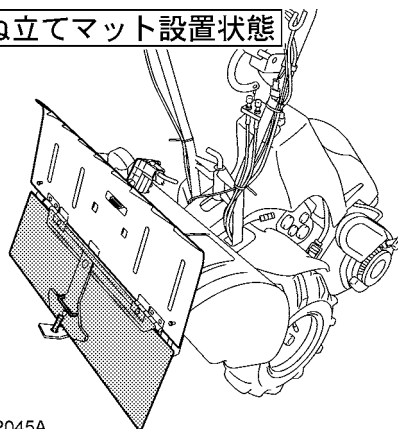
■旋回手順

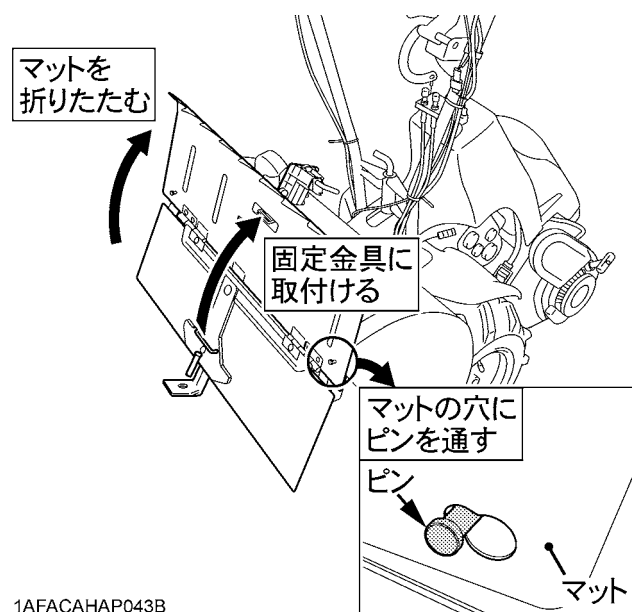
＊ 耕うん作業中はデフ連動ロータリ入切レバーを［作業］から［旋回］に入れてもロータリ回転が止まらない場合があります。ハンドルを持ち上げ，ロータリを地面から浮かすとロータリ回転が止まります。

1. スロットルレバーを低速にします。
2. デフ連動ロータリ入切レバーを **［旋回］** 位置に入れます。
3. ハンドルを持ち上げ旋回します。（ロータリ回転停止）
4. デフ連動ロータリ入切レバーを **［作業］** 位置にします。
5. スロットルレバーをゆっくり高速にし，耕うん作業を行ないます。

各部の調節

■簡単うね立てマットの取付けかた（U 仕様を除く）

＊ 簡単うね立てマットの取付け時は，エンジンを停止してください。傷害事故のおそれがあります。

1. 機体のエンジン側を接地させ，整地板は上にあげ，フックで抵抗棒取付金具に固定します。

2. 抵抗棒を上から１段目の位置にしてください。
3. 簡単うね立てマットを整地板から外します。

4. 抵抗棒を上げながらマット下部のピンを抵抗棒先端の取付け穴に差します。

5. 抵抗棒を上から３段目の位置にセットすると，簡単うね立てマット設置状態になります。

◆ 簡単うね立てマット収納のしかた

1. 抵抗棒を上から１段目の位置にしてください。
2. マットを折りたたみ固定金具に取付けます。
3. マットの両角の穴にピンを通します。

■培土機の取付けかた

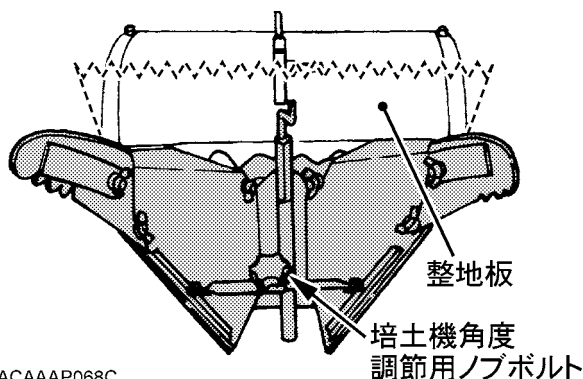
培土機は，F・K2 仕様は標準装備です。その他の仕様につきましては別途ご購入ください。

警　告

＊ 培土機の取付け時は，エンジンを停止してください。傷害事故のおそれがあります。

1. 機体のエンジン側を接地させ，整地板は上にあげ，フックで抵抗棒取付金具に固定します。
2. 培土機は抵抗棒を外してロックピンでセットします。詳細は培土機の取扱説明書を参照してください。
3. ロータリ **［正転］** で作業を行なってください。

重　要

＊ 調節後は，ロックピンが確実に穴に入っているか確認してください。

＊ 培土機角度調節用ノブボルトで培土機の先端を少し下げ気味に調節してください。

注　意

＊ うね立て作業時以外は，整地板を下げて作業を行なってください。

■スタンドの取付けかた［U 仕様］

警　告

＊ スタンドの取付けは，エンジンを停止し高温部が冷めてから行なってください。傷害事故のおそれがあります。

注　意

＊ 硬くて平らな場所で行なってください。
＊ 培土機などのアタッチメントを取外してください。
＊ ハンドル高さを上から１段目に設定してください。
＊ ロータリに付いた土を落としてください。
＊ 上記の手順をおこたりますと，ロータリ部が落下して傷害事故を引き起こすおそれがあります。

輪距の調節時に使用します。

1. セットピンを抜きスタンドを取外します（図１参照）。
2. スタンドを輪距調節する側（機体を上げる方向）のスタンド固定穴に取付けてセットピンで固定します（図２参照）。
3. ハンドルを持ち上げてウエイトを接地させ，タイヤを浮かせます（図３参照)。
4. スタンド使用後は元の位置（図１）に戻してください。

図1

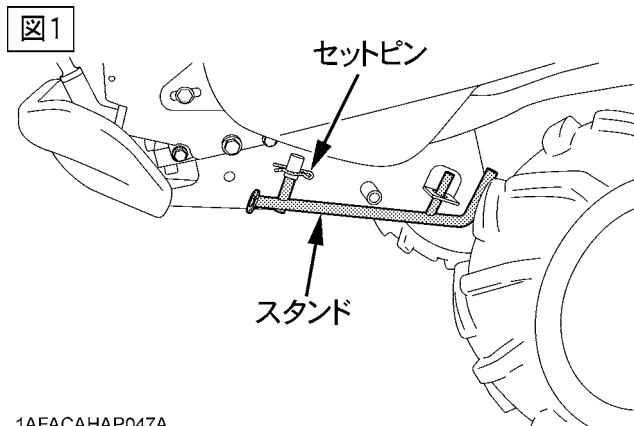
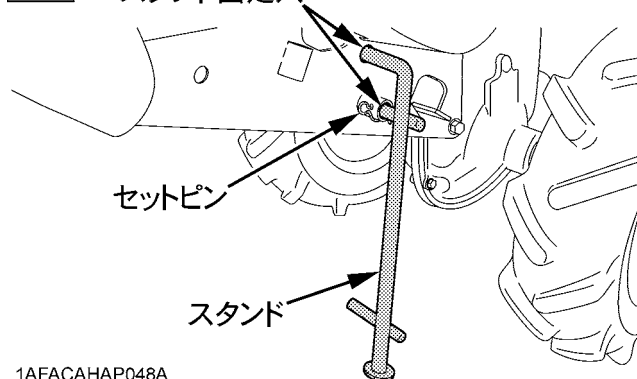
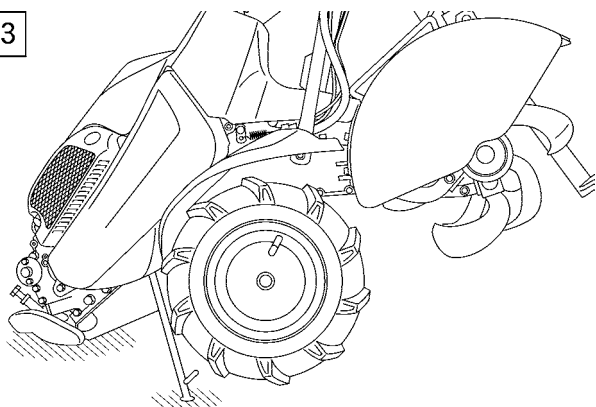
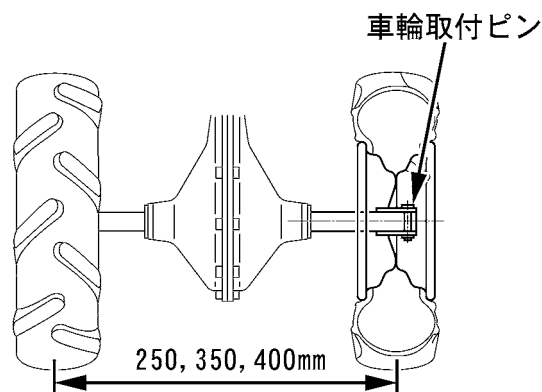
図2

1AFACAHAP048A

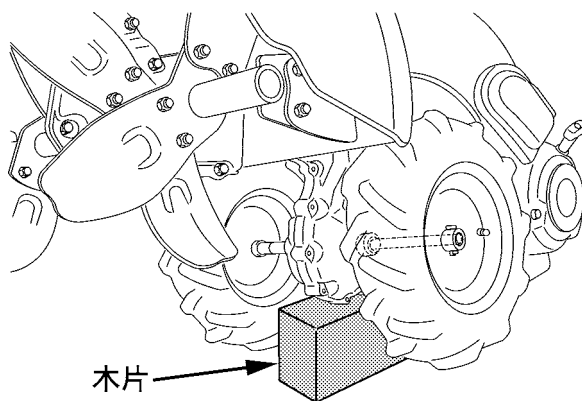
図3

1AFACAHAP082A

■輪距の調節のしかた（H仕様は除く）

＊ 輪距の調節時は，エンジンを必ず停止してください。傷害事故のおそれがあります。

作業にあわせて輪距を調節してください。車輪取付ピン位置を変更することにより３段階に調節できます。

1AFACABAP036A

◆ 交換の注意

硬い地面にて丈夫な木片を用い，機体を安定させてから行なってください。(U 仕様はスタンドで機体を安定させて行なってください)。

1AFACAHAP046A

作業ごとの設定要領

警　告

* **耕深調節，移動輪の取付・取外し，爪の取付・取外し，カバーの調整時はエンジンを停止してください。傷害事故のおそれがあります。**
* **ワラや草を取除く時は，必ずエンジンを停止させて取除いてください。傷害事故のおそれがあります。**

重　要

[全型式]
* 作業中，爪・爪軸にワラや草が巻きついた時は取除いてください。ワラや草が巻きついた状態で作業を続けると，シール部等，機械の損傷につながります。

■標準仕様

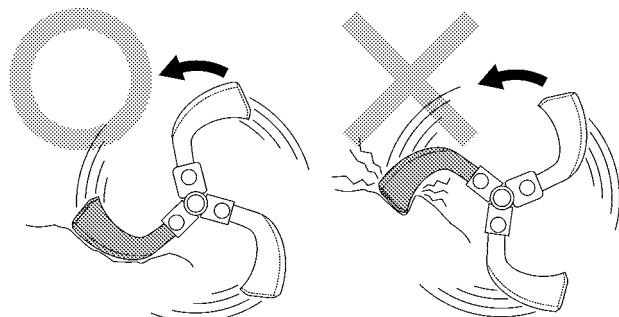
[TRS50・TRS60・TRS60-E・TRS60-J・TRS70]

◆ 耕うん作業

ほ場の状態に合わせ，ロータリを正転または逆転で作業できます。

重　要

[TRS50]
* 正転／逆転を切り替える際は，必ず爪軸の取付け方を変更してください。(本項の**●爪軸の取付け方［TRS50］**を参照)
* 爪軸の取付け方法と逆の回転方向で使用すると，故障や前方への飛び出しの原因となります。

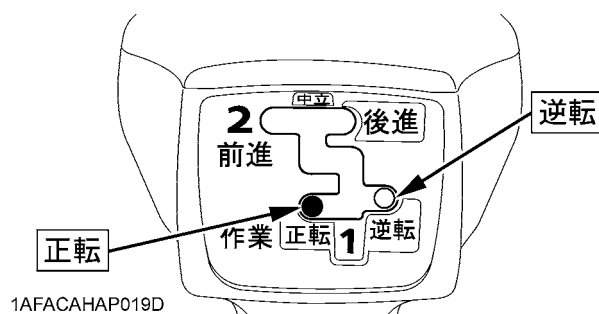
爪を取付ける向き

1AFACABAP084A

[TRS60, TRS60-E, TRS60-J, TRS70]
* 爪軸の取付け方を変える必要はありません。

正転作業 ････ 通常の耕うんは正転で作業します。

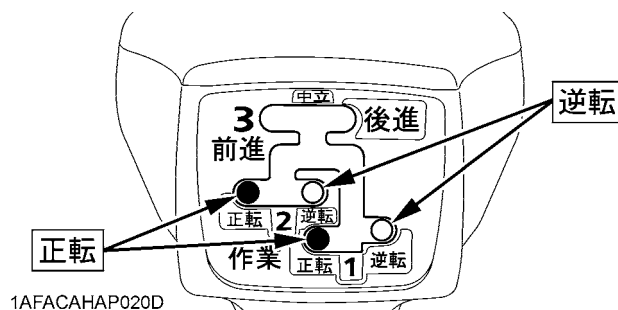
逆転作業 ････ ほ場が硬く，正転ではうまく耕うんできないときは逆転で作業します。

[TRS50, TRS60, TRS60-E, TRS60-J]

正転・逆転それぞれ１速でのみ作業できます。

1AFACAHAP019D

[TRS50, TRS60, TRS60-E, TRS60-J]

[TRS70]

正転・逆転それぞれ１速，２速で作業できます。

1AFACAHAP020D

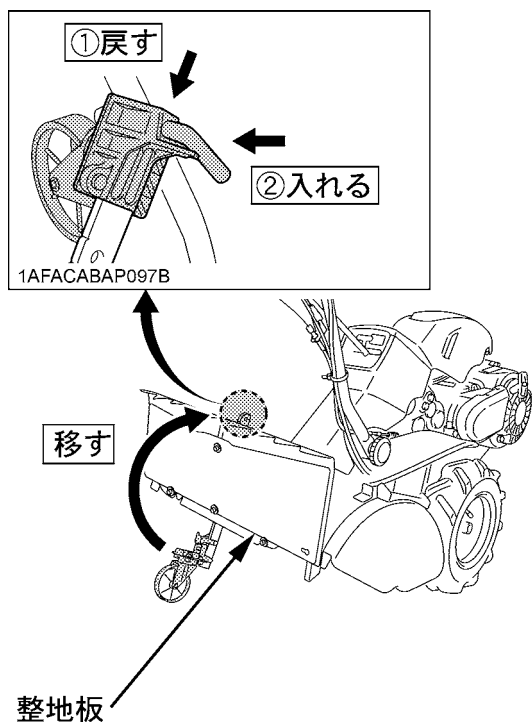
[TRS70]

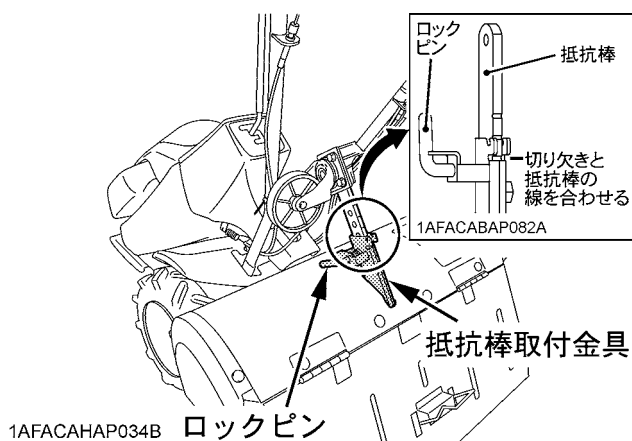
● **耕深調節**

抵抗棒の長さを調節して，耕深調節します。

正転作業 ････ 上から２～３番目の線を切り欠きに合わせロックピンをセットします。

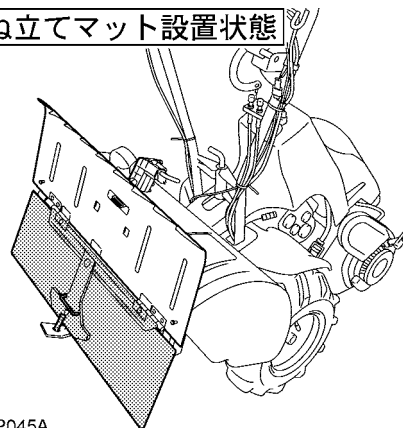
逆転作業 ････ 一番上の線を切り欠きに合わせロックピンをセットします。

1. 事前準備として，移動輪を抵抗棒上部に移します。

1AFACAHAP051A

2. 作業により，適切な位置に抵抗棒をセットします。

1AFACAHAP034B

◆ **うね立て作業**

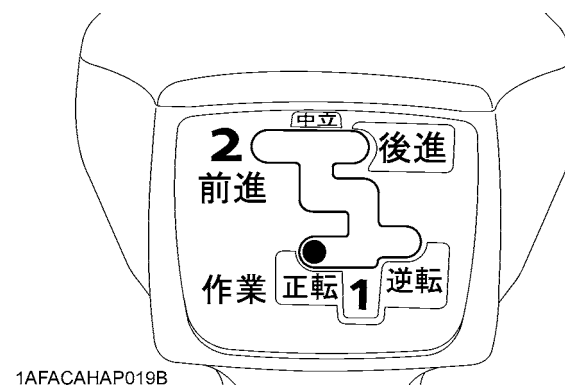
簡単うね立てマット，又は培土機を取付けることにより，うね立て作業をすることができます。うね立ては，事前に耕うんを行ないほ場が軟らかくなってから，ロータリ正転で作業を行なってください。
（**［簡単うね立てマットの取付けかた］**17 ページ・**［培土機の取付けかた］**18 ページを参照）

1AFACAHAP045A

重　要

＊ うね立て作業後に後進する際は，必ずハンドルを持ち上げ，簡単うね立てマットを地面から浮かして後進してください。

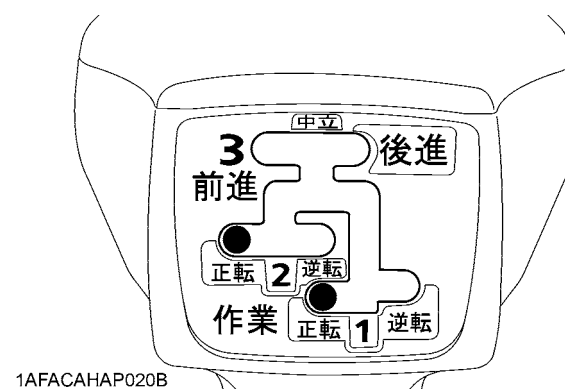
［TRS50, TRS60, TRS60-E, TRS60-J］

正転１速でのみ作業できます。

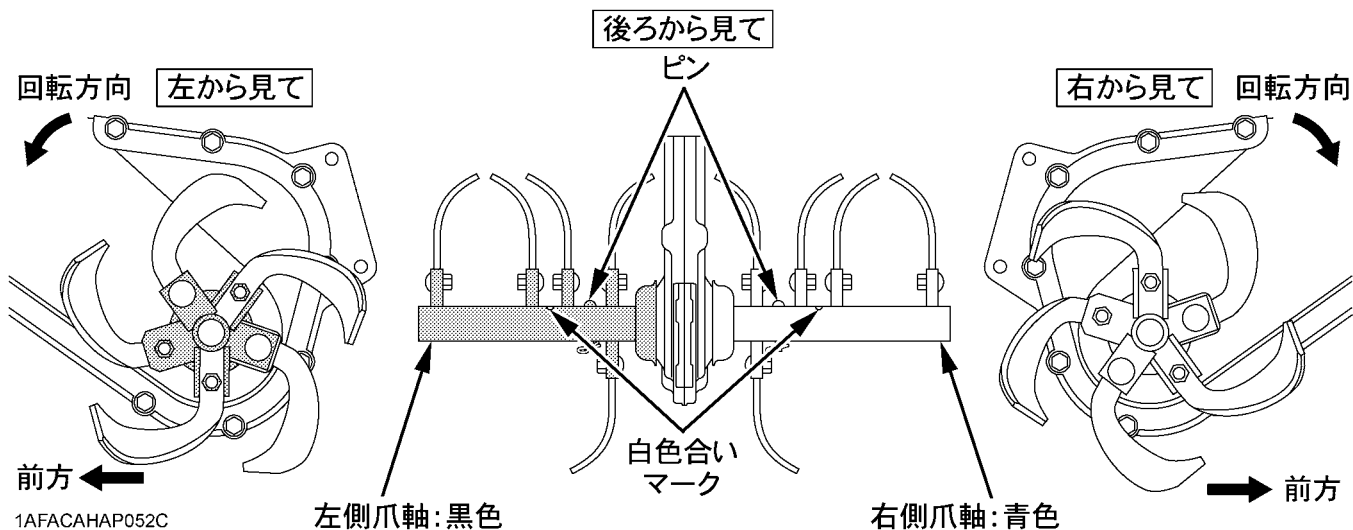
1AFACAHAP019B

［TRS50, TRS60, TRS60-E, TRS60-J］

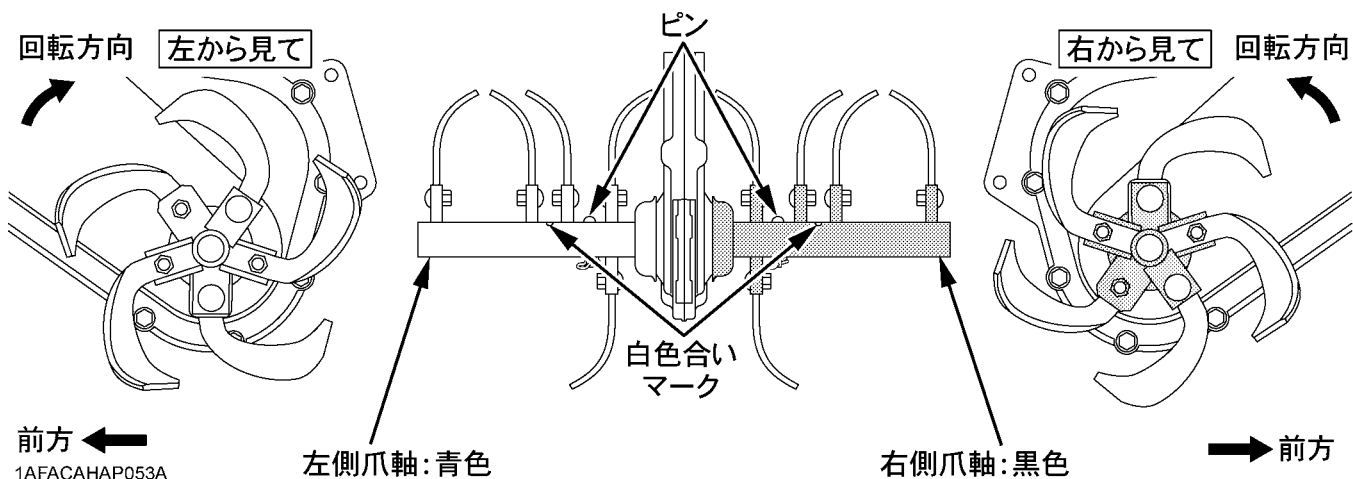
［TRS70］

正転１速，２速で作業できます。

1AFACAHAP020B

［TRS70］

● 爪軸の取付け方［TRS50］

・正転耕うん作業時の取付け方

・逆転耕うん作業時の取付け方

＊ピンを取外し，左右の爪軸を入換えて取付けてください。

重　要

＊ 逆転耕うん時に左右の爪軸を入換えた際又は爪軸を取外した際は必ず爪軸をピンで確実に固定してください。

■ U 仕様

爪軸の取付け方，回転方向およびロータリカバーの調整で耕うん，うね立て作業を行なうことが出来ます。

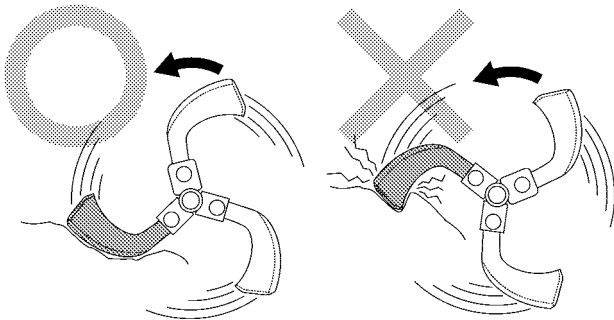
◆ 耕うん作業

［TRS60-U・TRS60-EU・TRS60-JU・TRS70-U］

爪を内向きに取付け，ほ場の状態に合わせロータリを正転または逆転で作業します。
なお，正転／逆転を切り換える際は，必ず爪軸の取付け方を変更してください。（次ページの●**爪軸の取付け方**を参照）

重　要

＊ 爪軸の取付け方法と逆の回転方向で使用すると，故障や前方への飛び出しの原因となります。

爪を取付ける向き

1AFACABAP084A

［TRS60-US・TRS70-US］

ほ場の状態に合わせ，ロータリを正転または逆転で作業します。

正転作業 ‥‥ 通常の耕うんは正転で作業します。

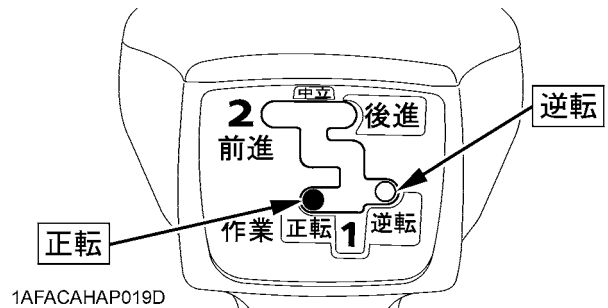
逆転作業 ‥‥ ほ場が硬く，正転ではうまく耕うん出来ないときは逆転で作業します。

重　要

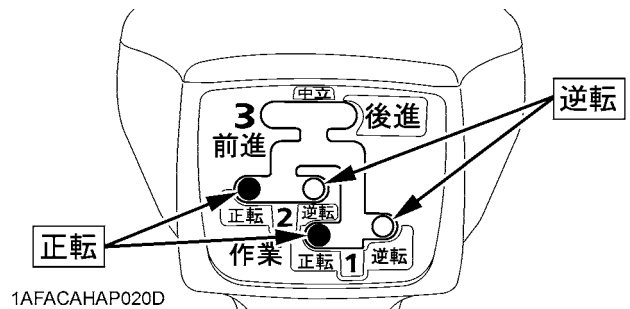
＊ ロータリの正転または逆転作業で爪の取付け方向を変える必要はありません。

［TRS60-U, TRS60-US, TRS60-EU, TRS60-JU］

正転・逆転それぞれ１速でのみ作業できます。

1AFACAHAP019D

［TRS60-U, TRS60-US, TRS60-EU, TRS60-JU］

［TRS70-U, TRS70-US］

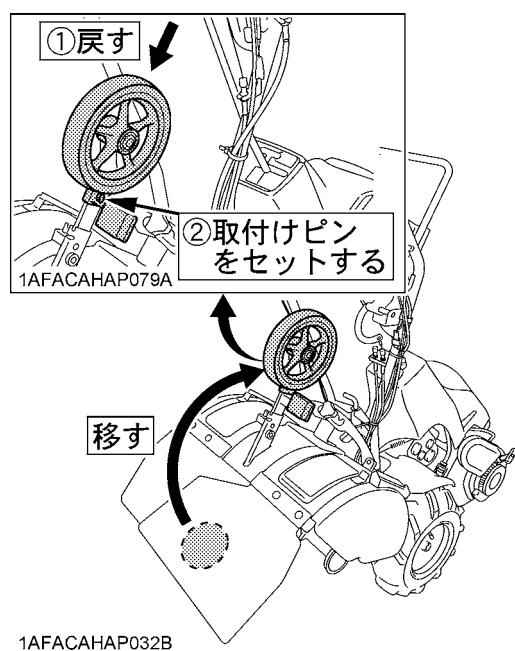
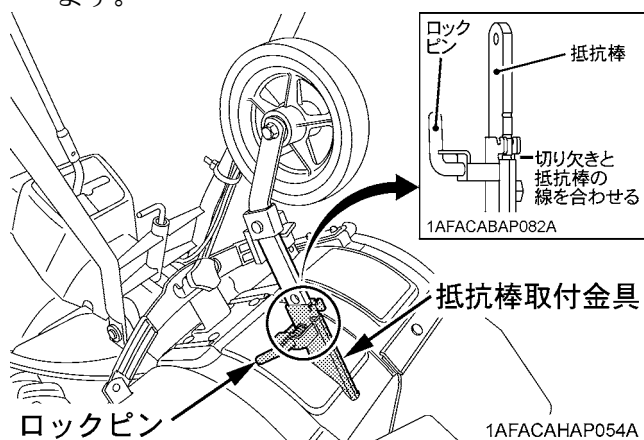
正転・逆転それぞれ１速，２速で作業できます。

1AFACAHAP020D

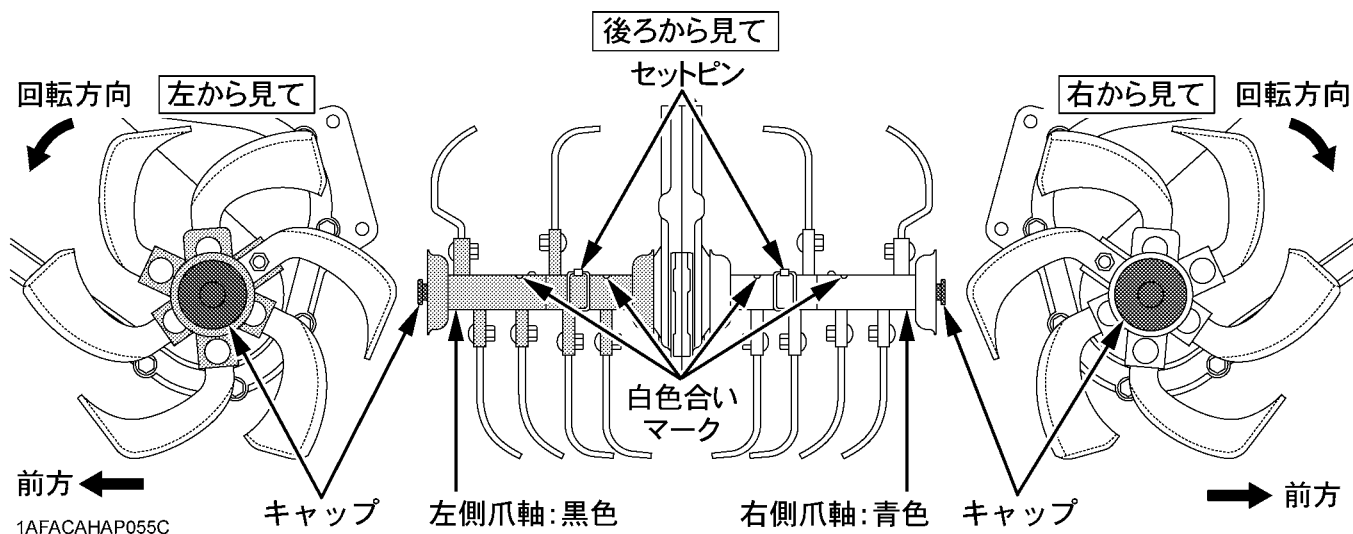
［TRS70-U, TRS70-US］

● **耕深調節**
抵抗棒の長さを調節して，耕深調節します。

正転作業 ‥‥ 上から２～３番目の線を切り欠きに合わせロックピンをセットします。

逆転作業 ‥‥ 一番上の線を切り欠きに合わせロックピンをセットします。

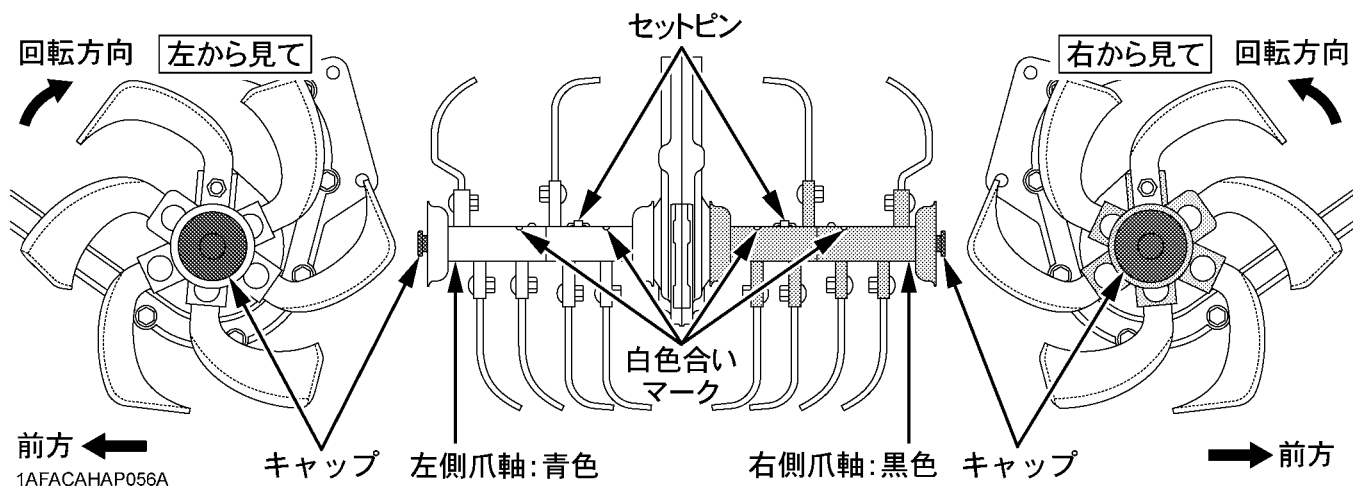
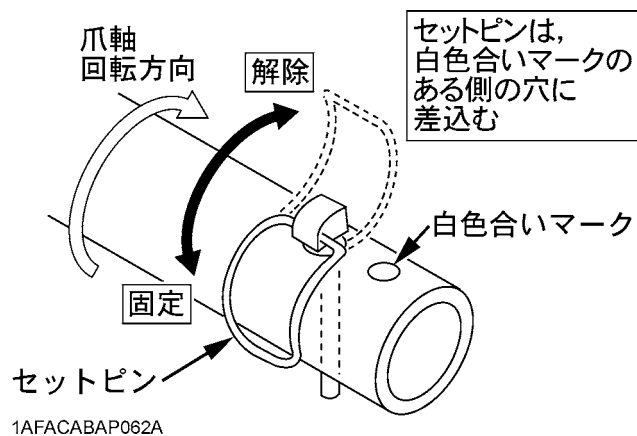
1. 事前準備として，移動輪を抵抗棒上部に移します。

2. 作業により，適切な位置に抵抗棒をセットします。

● 爪軸の取付け方

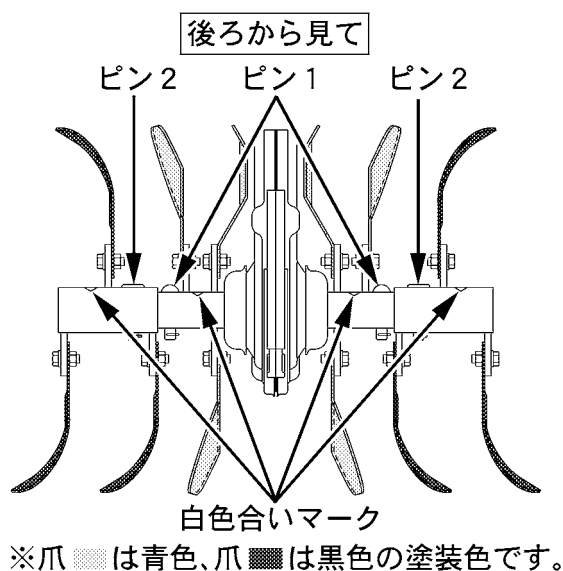
・正転耕うん作業時の取付け方
[TRS60-U・TRS60-EU・TRS60-JU・TRS70-U]

・逆転耕うん作業時の取付け方

＊内側のセットピンを取外し，左右の爪軸を入換えて取付けてください。

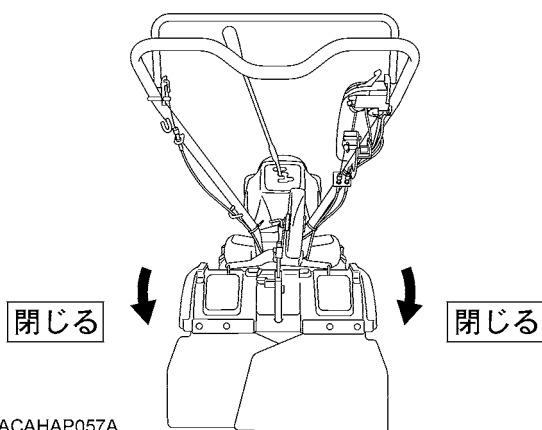
重　要

＊ 爪軸を取付けた後は，必ずセットピンを下図の方向に取付けて，確実に固定してください。

1AFACABAP062A

・正転、逆転耕うん作業時の取付け方
［TRS60-US・TRS70-US］

1AFACAIAP001A

● カバーの調節要領

カバーは下図のように閉じておきます。

1AFACAHAP057A

◆ うね立て作業

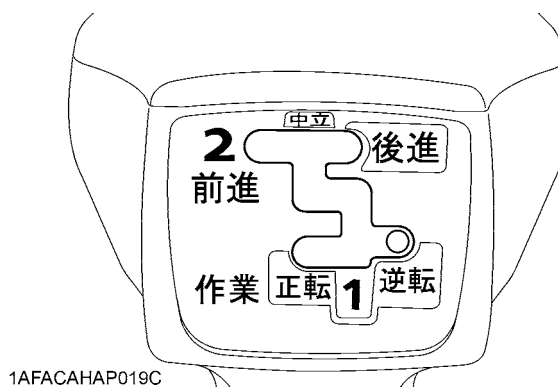
爪を外向きに取付け，逆転で作業を行います。（次ページの**●爪軸の取付け方（うね立て作業時の取付け方）**を参照）必要に応じて，うねを崩さないように輪距を狭めます。

重　要

＊ ＵＳ仕様は，うね立て作業をする際は，爪の取付け方向を変える必要はありません。

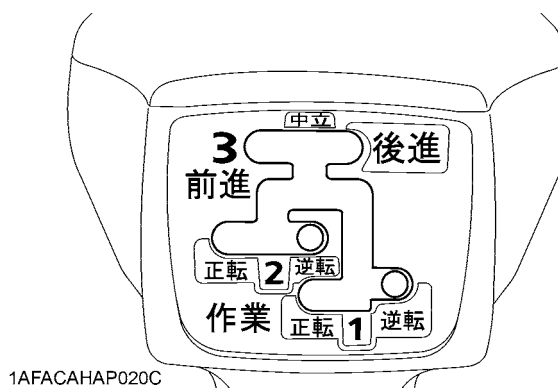
［TRS60-U, TRS60-US, TRS60-EU, TRS60-JU］

逆転１速のみ作業できます。

1AFACAHAP019C

［TRS60-U, TRS60-US, TRS60-EU, TRS60-JU］

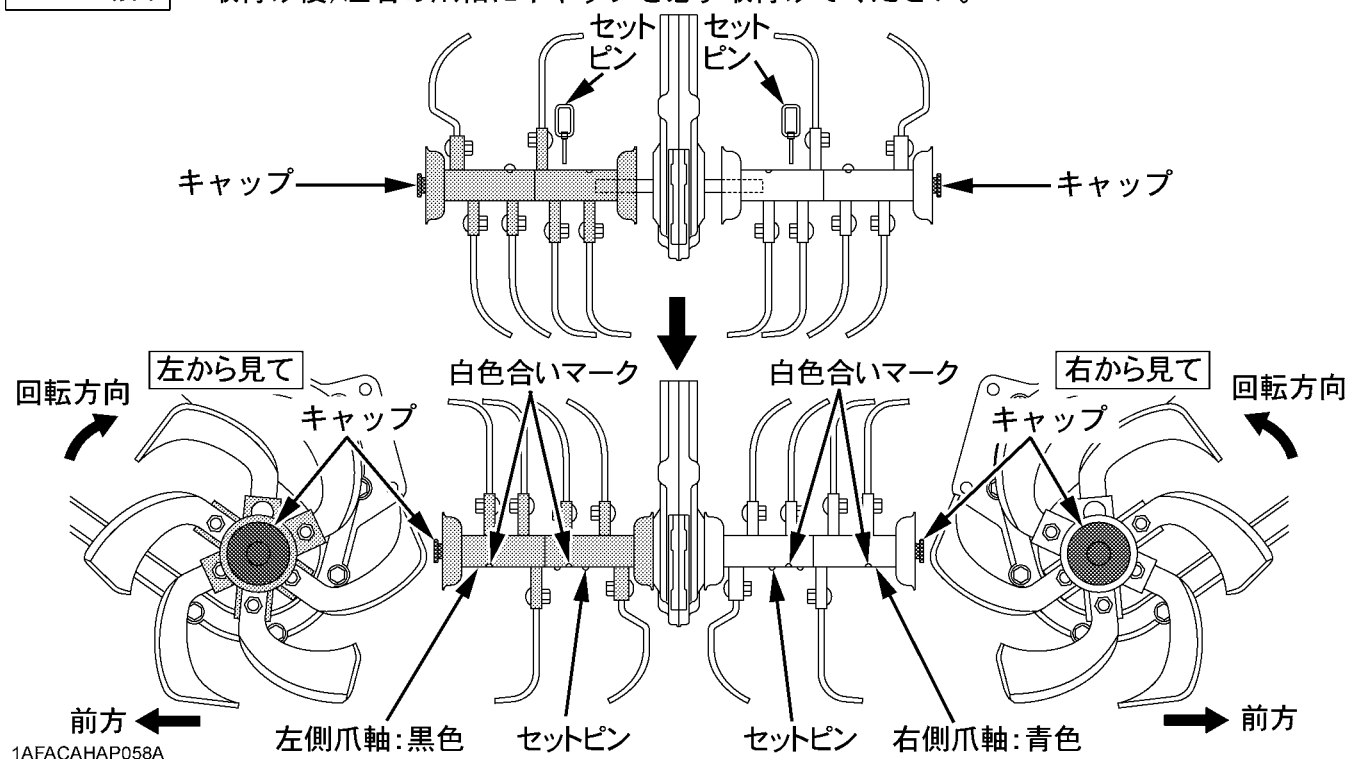
［TRS70-U, TRS70-US］

逆転１速，２速で作業できます。

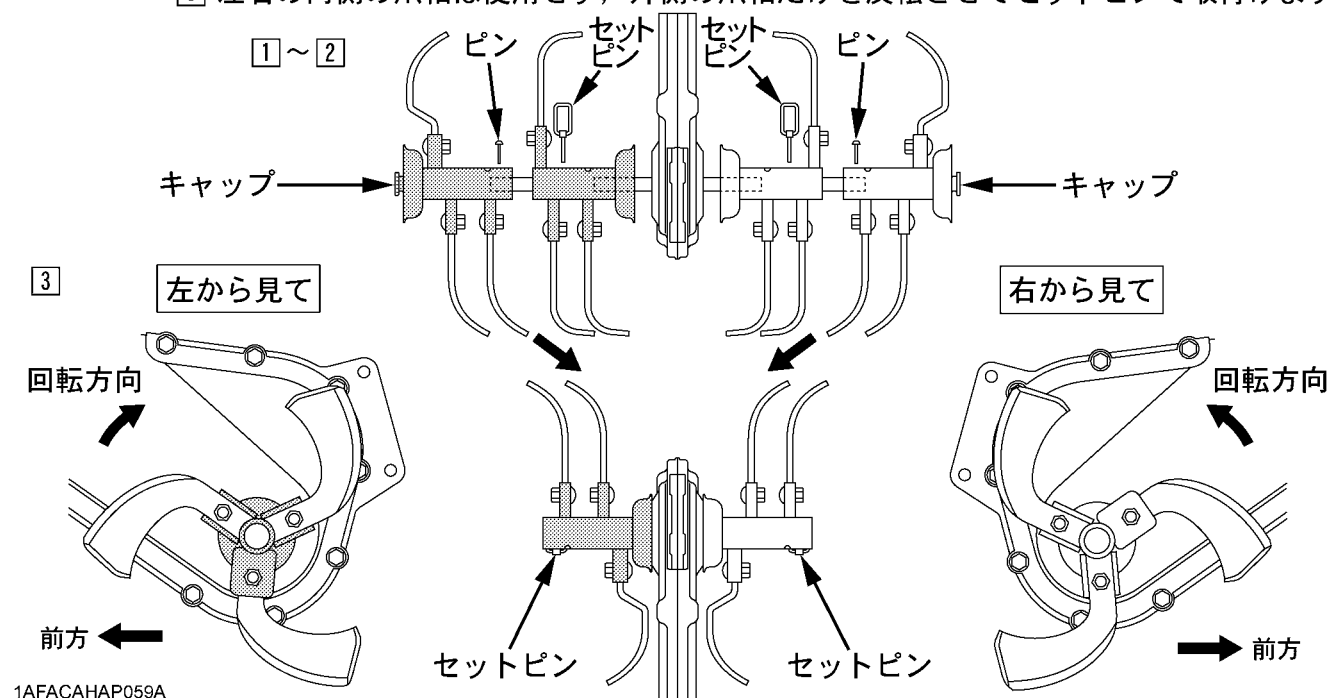
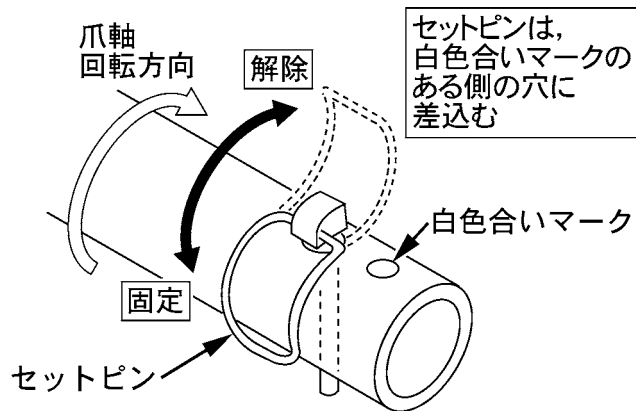
1AFACAHAP020C

［TRS70-U, TRS70-US］

● 爪軸の取付け方（うね立て作業時の取付け方）
[TRS60-U・TRS60-EU・TRS60-JU・TRS70-U]

溝幅を広くしたい場合

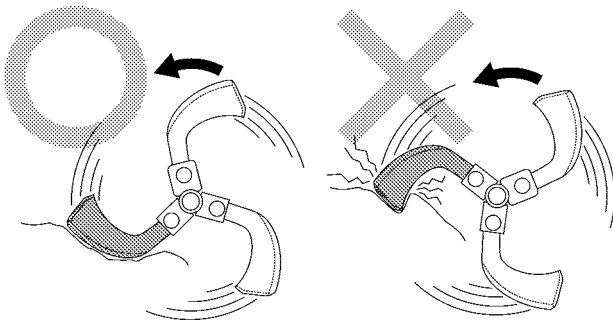
＊内側のセットピンと外側キャップを外し，左右それぞれの爪軸を反転させて取付けてください。
＊取付け後，左右の爪軸にキャップを必ず取付けてください。

溝幅を狭くしたい場合

＊正転耕うん作業時から爪軸をつけ換える時
1 内側のセットピンを取り，爪軸を取外します。
2 外側のピンを外して爪軸を分割します。キャップも取外してください。
3 左右の内側の爪軸は使用せず，外側の爪軸だけを反転させてセットピンで取付けます。

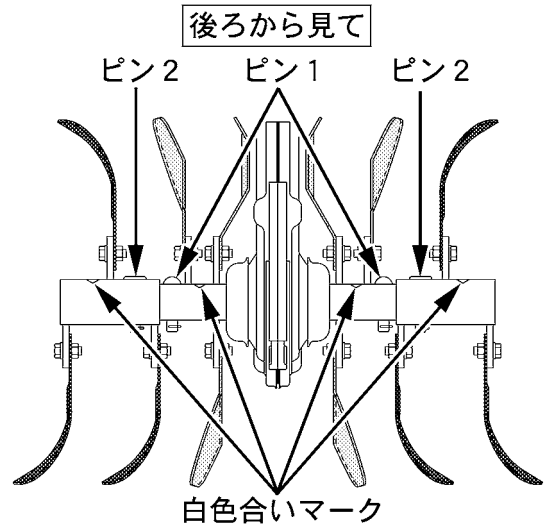
重　要

＊ 爪軸を取付けた後は，必ずセットピンを下図の方向に取付けて，確実に固定してください。

1AFACABAP062A

＊ 爪軸の取付け方法と逆の回転方向で使用すると，故障や前方への飛び出しの原因となります。

爪を取付ける向き

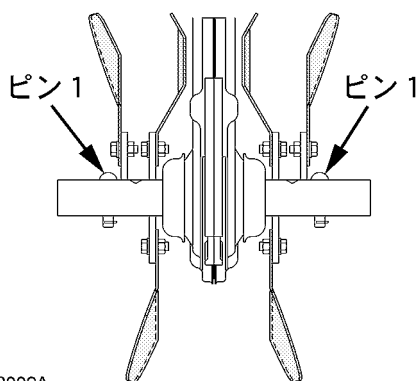
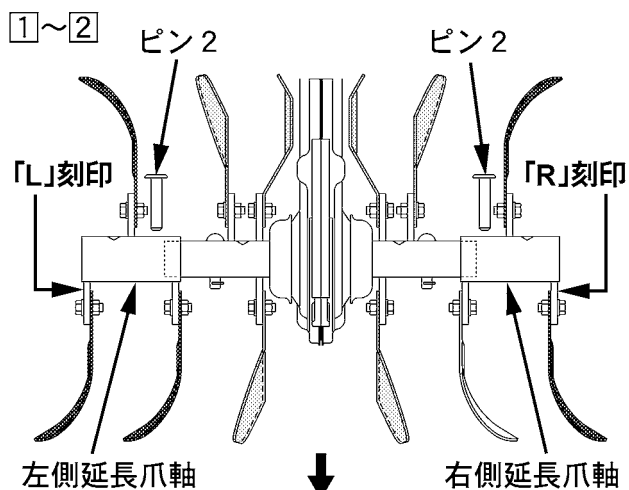
1AFACABAP084A

［TRS60-US・TRS70-US］

溝幅を広くしたい場合

＊ 通常の下図の爪軸配置で，うね立て作業をします。

1AFACAIAP001A

溝幅を狭くしたい場合

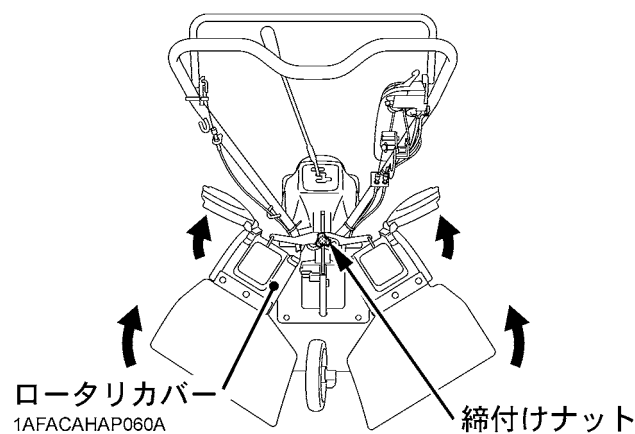
＊ 下記の手順で爪軸の幅を短くします。
1 左右の外側のピン２を外します。
2 左右の延長爪軸を外します。

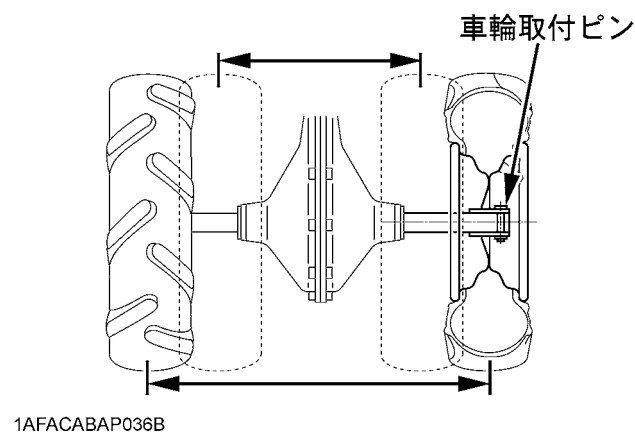
1～2

1AFACAIAP002A

重 要

＊ 取外したピン，爪軸はなくさないように保管してください。
＊ 延長爪軸を戻す場合は，**「L」・「R」**の刻印に注意してセットしてください。

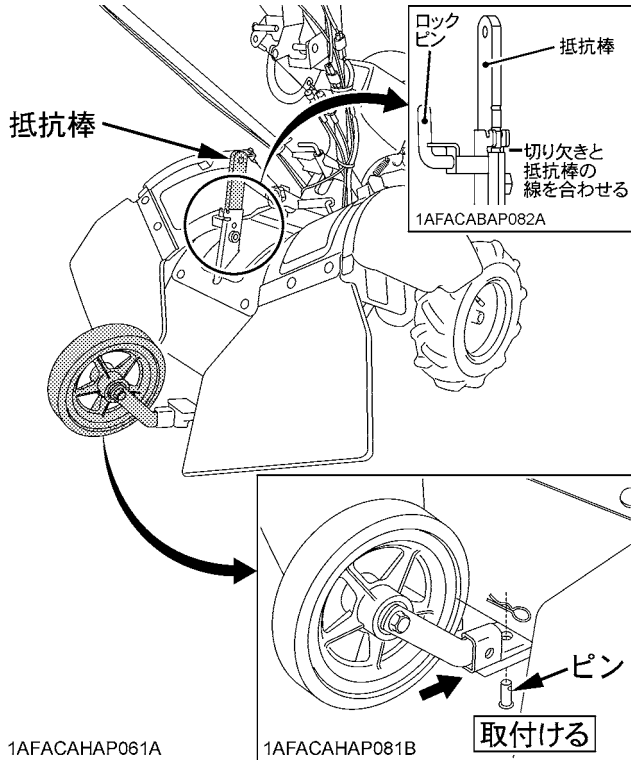
● **カバーの調節要領**
うねの大きさに合わせて，カバーの開閉角度を調節します。

1AFACAHAP060A

● **輪距**
必要に応じて，うねを崩さないように輪距を狭めます。（19 ページの**［輪距の調節のしかた（H 仕様は除く）］**を参照）

1AFACABAP036B

● **耕深調節**

1. 抵抗棒の上から５～６番目の線を切り欠きに合わせロックピンをセットし，ピンの方向に注意し移動輪を上向きにセットしてください。

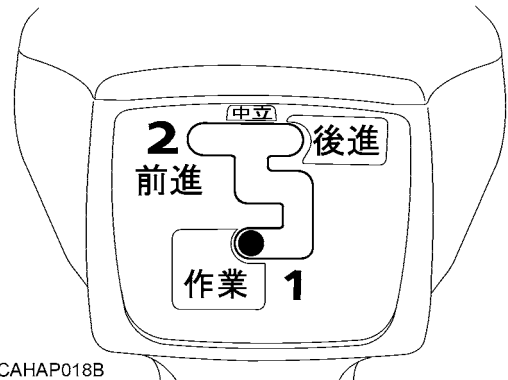
1AFACABAP082A
1AFACAHAP061A
1AFACAHAP081B

■ H 仕様

[TRS60-H]

＊ この機械はダブルドライブロータリです。機械の飛出しが少ないですが，硬いほ場では機械が飛出すおそれがあるので注意して作業してください。

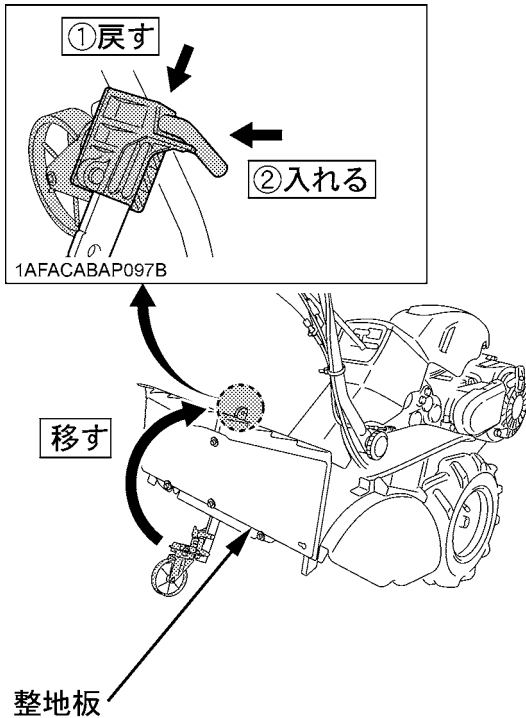
＊ ダブルドライブロータリの爪は，内側と外側の爪軸が逆方向に回転しますので，耕うん爪の点検や交換をする場合は爪の動きに十分注意してください。耕うん爪が思わぬ方向に回転し傷害事故のおそれがあります。

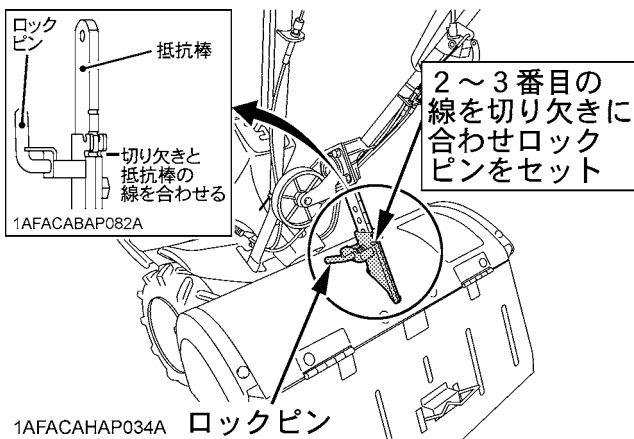
◆ **耕うん作業**

正転１速でのみ作業できます。

1AFACAHAP018B

● **耕深調節**

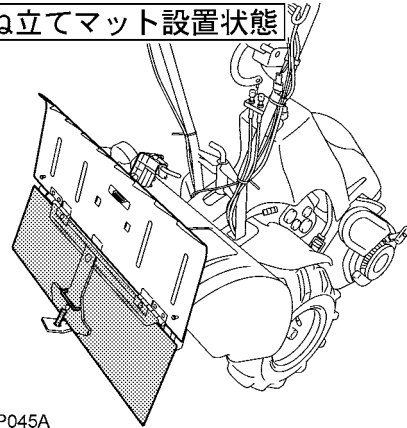
抵抗棒の長さを調節して，耕深調節します。

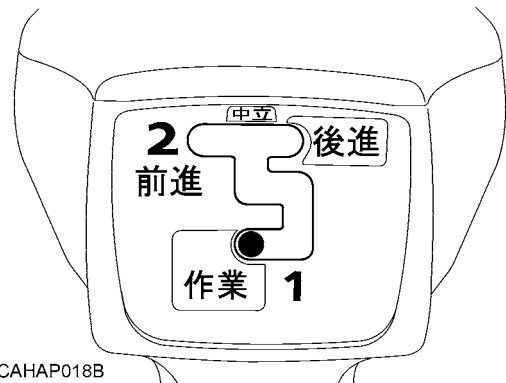
1. 事前準備として，移動輪を抵抗棒上部に移します。

1AFACAHAP051A

2. 抵抗棒の長さを調節して耕深調節します。
耕うん作業は上から２～３つ目の線を切り欠きに合わせロックピンをセットします。

1AFACAHAP034A

◆ **うね立て作業**

簡単うね立てマット，又は培土機を取付けることにより，うね立て作業をすることができます。うね立ては，事前に耕うんを行ないほ場が軟らかくなってから作業を行なってください。

（**［簡単うね立てマットの取付けかた］**17 ページ・**［培土機の取付けかた］**18 ページを参照）

1AFACAHAP045A

正転１速でのみ作業できます。

1AFACAHAP018B

ロータリ専用機の簡単な手入れと処置

廃棄物の処理について

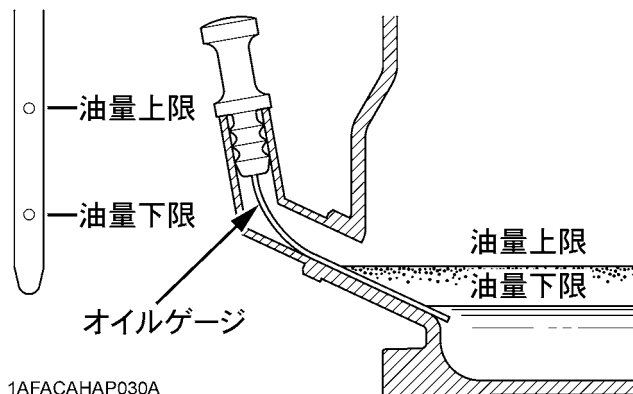
廃棄物をみだりに捨てたり，焼却すると，環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。
廃棄物を処理するときは
- ＊ **機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。**
- ＊ **地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。**
- ＊ **廃油，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者等に相談して，所定の規則に従って処理してください。**

日常の手入れ

- ＊ **給排油・点検・調節・清掃は，エンジンを停止し，エンジンやマフラがじゅうぶんに冷えてから行なってください。**
- ＊ **平坦な場所に機械を安定させて行なってください。**

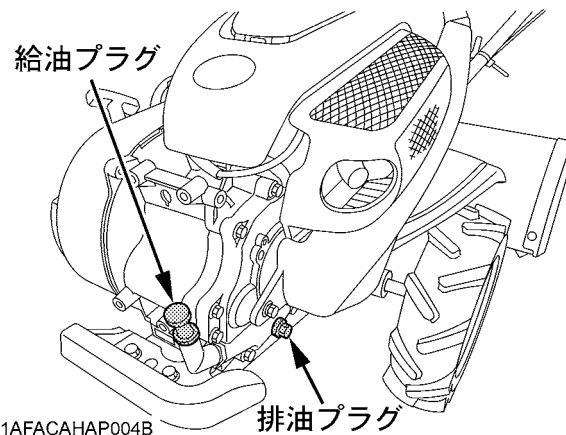
■エンジンオイルの交換

◆ 給油のしかた

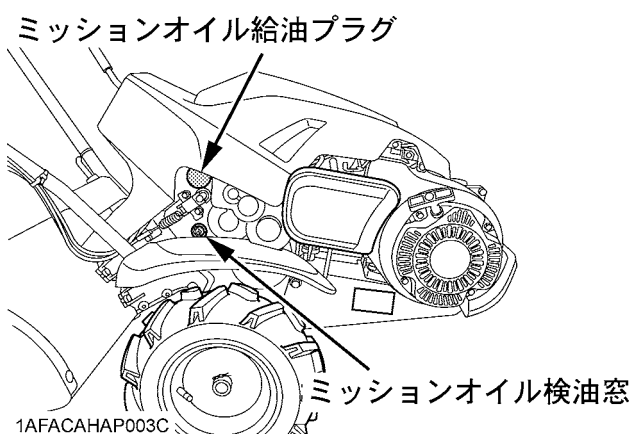
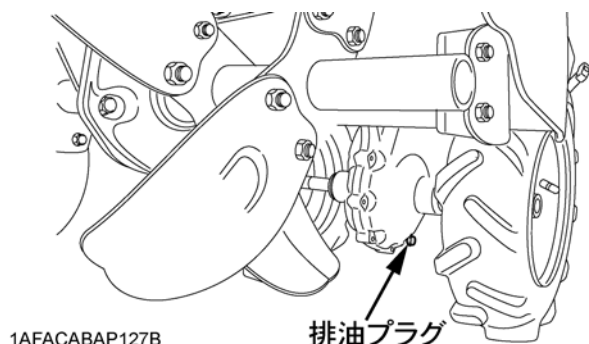
エンジンを水平にし油量上限位置まで入れてください。

◆ 排油のしかた

エンジンを水平に安定させプラグを外し，排油してください。この時，必ずオイルパン等で受けてください。

重　要

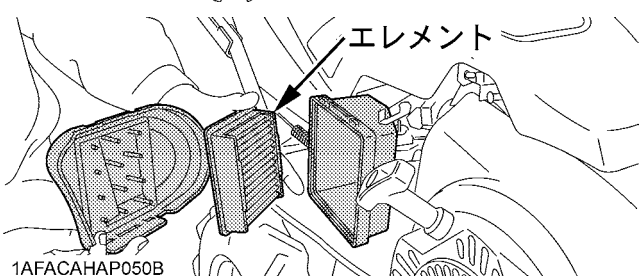
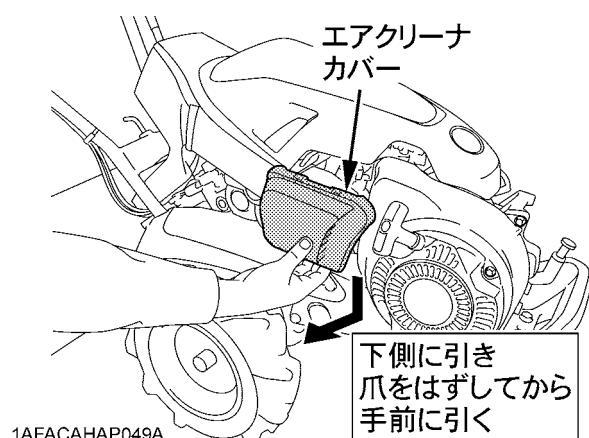
- ＊ 粗悪なオイルを使用しますと，エンジンの寿命を急激に縮めますので，購入先でクボタ純オイル　スーパー G 10W-30 とご指定の上，お求めください。(次ページの**オイルの点検と交換表**を参照)
- ＊ 排油・検油・給油後はプラグを確実に締めてください。

■ミッションオイルの交換

◆ 給油のしかた

エンジンを水平にし検油窓の中間位置まで給油してください。

◆ **排油のしかた**
1. 機体の前部ウエイトを接地させます。
2. ミッションオイル排油プラグを外して排油します。この時，必ずオイルパン等で受けてください。

重　要
＊ 粗悪なオイルを使用しますと，機械の寿命を急激に縮めますので，購入先でクボタ純オイル M80B, NEW UDT, 又はスーパー UDT-2 とご指定の上，お求めください。(下の**オイルの点検と交換表**を参照)
＊ 排油・検油・給油後はプラグを確実に締めてください。
＊ オイルを交換する場合は，まず旧油を排出しますが，ケース内のゴミも同時に排出させるために，できるだけ運転使用後，オイルが暖まっている状態の時排出してください。

オイルの点検と交換表

項目 (オイル量)		点検方法	交換		オイルの種類
			第一回目	以後	
エンジンオイル	【TRS50】0.55L	エンジン水平	20時間使用後	50時間使用後	クボタ純オイル (ガソリンエンジン用) スーパー G 10W-30
	【TRS60 (-E, -U, -US, -EU, -H, -J, -JU), TRS70 (-U, -US)】 0.6L				
ミッションオイル	【TRS50, TRS60 (-E, -U, -US, -EU, -J, -JU), TRS70 (-U, -US)】 4.6L	エンジン水平	20時間使用後	年一回	クボタ純オイル (ミッション用) M80B, NEW UDT, 又は スーパー UDT-2
	【TRS60-H】5.3L				

■エアクリーナエレメントの清掃
1. エレメントの取外し方
   カバーの下側を下方向に引いて爪をはずしてから手前に引き，取外します。

2. エレメントの清掃方法
   エレメントの清掃は，エレメントの内側から空気を吹付けるか，手で軽く振ってゴミを取除いてください。
   ＊ 空気圧は 2.1kgf/cm²以下で行なってください。
   ＊ エレメントは，物に当てて破ったり変形しないように注意深く扱い，取付けは正しく行なってください。

重　要
＊ 汚れたまま使用しますと，エンジンの出力低下や故障の原因になります。

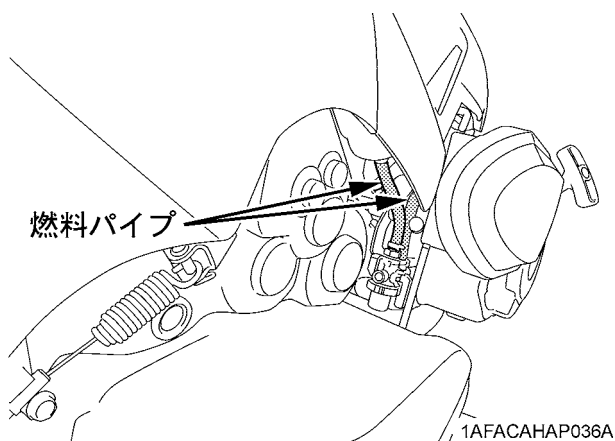
50時間使用ごと	エアクリーナの清掃
200時間使用ごと	エアクリーナエレメントの交換

＊ チリやホコリが多い場所で使用する時は，毎日清掃してください。

■燃料パイプの交換

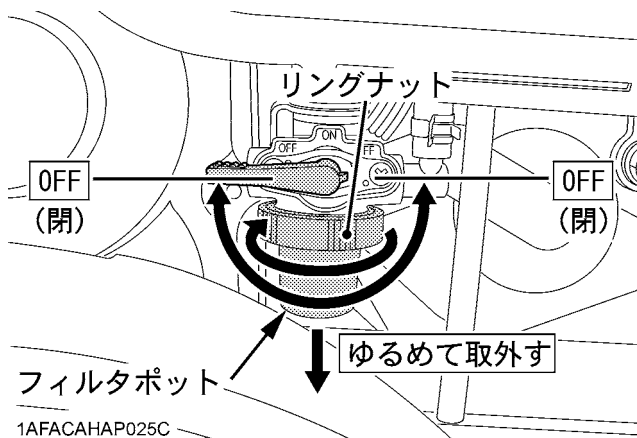
交換にあたっては，購入先にご相談ください。

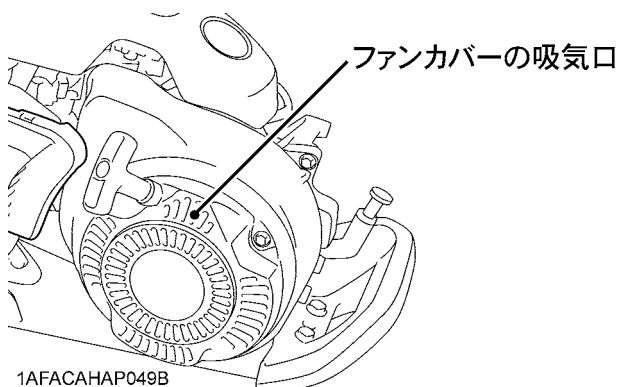
＊ **燃料パイプは自然劣化したり傷があると，ガソリンもれして火災の原因となります。作業前に毎回点検し，ヒビや割れが発生したものは，新しい燃料パイプと交換してください。**

交　換	2年間ごと

■燃料フィルタの清掃

＊ **取付け後，ガソリンもれがないか確認してください。**

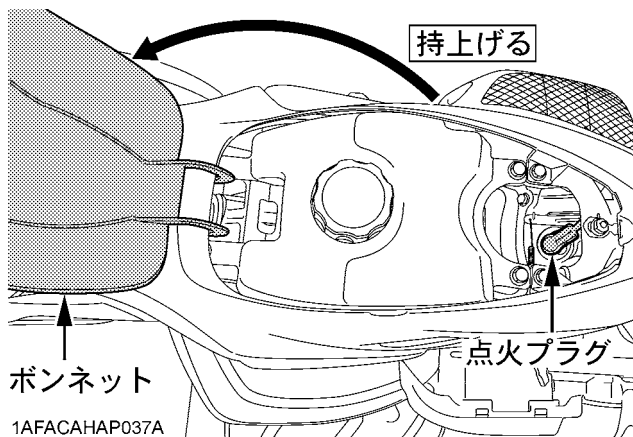
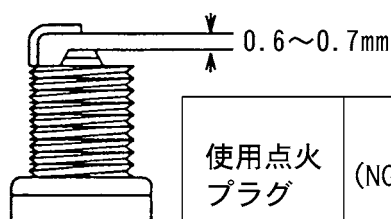
1. 燃料フィルタは，燃料のゴミを取除きます。取除かれたゴミは，ポットの底にたまります。
2. 燃料コックレバーを **[閉]** にし，フィルタポットを外し，ポットの底にたまっているゴミや水を捨ててください。
3. 燃料タンク内を点検し，底に異物がたまっている場合は，取除いてください。

100時間使用ごと	フィルタの清掃
300時間使用ごと	タンクの清掃

■ファンカバーの清掃

ファンカバーの吸気口は，きれいに清掃します。ゴミやワラクズ等の付着があるとエンジンの過熱や出力低下の原因になります。（ここからエンジンの冷却風が吸込まれます。）

■点火プラグの調節・清掃・交換

注　意

＊ 高温部が冷えてから行なってください。

1. ボンネット前方に手を掛けて持上げるとボンネットが開きます。

2. プラグ用ボックススパナでプラグを外して，清掃します。
3. 電極のすきまが 0.6 ～ 0.7mm になるように調節してください。
4. 点検調節は６ヶ月に１回行ってください。

使用点火プラグ	(NGK)BP6HS

5. 作業が終わったら，ボンネットを元の位置に戻してください。

重　要

＊ プラグ締付け時は，ネジ山をつぶさないように，はじめに手で締め込んでから，ボックススパナで締付けてください。
＊ 調節・清掃してもエンジンが不調なときは，新しいプラグと交換してください。
＊ プラグを外したまま始動操作をしないでください。

■主クラッチケーブルの調節

＊ ベルト調節を行なう場合は，必ずエンジンを停止して行なってください。
＊ 調節が終わったら必ずベルトカバーを取付けてください。巻き込まれるなど傷害事故を引き起こすおそれがあります。
＊ エンジンを始動する前に，変速レバーを中立にしてください。
＊ 調節・確認時は周囲に人や動物を近づけないでください。傷害事故を引き起こすおそれがあります。

◆ 主クラッチケーブルによる調節

主クラッチレバーを入れた状態でベルトの中央部を指で押えて10～15mmたわむ程度にケーブル調節金具でテンションプーリを調節してください。なお，使用初期はベルトが伸びやすいため，10時間使用後ケーブルを再調節してください。

ベルトがスリップする場合	調節金具の A 部を短くする
主クラッチレバーが重すぎる場合	調節金具の A 部を長くする

補　足

＊ ケーブルで調整できない場合は，購入先にご相談ください。

■デフ連動ロータリ入切レバーの調節

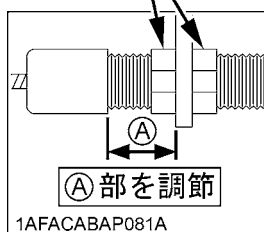
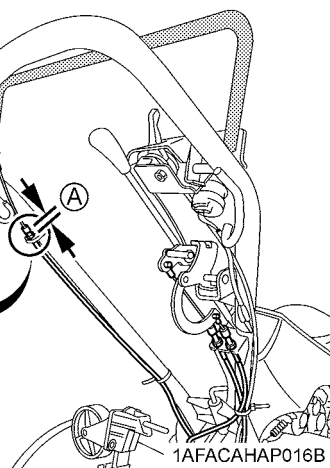
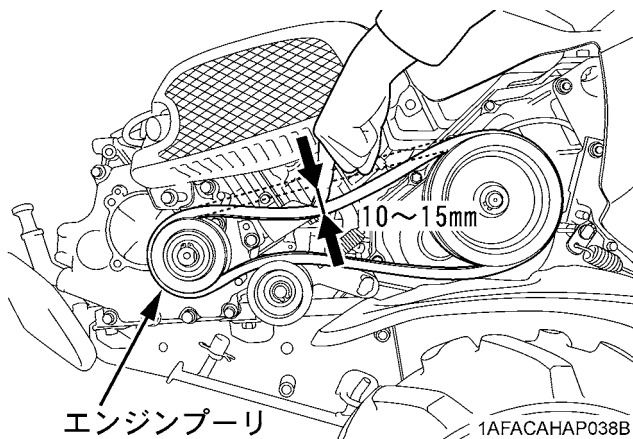
◆ デフロックの調節

レバーを **［直進］** 位置にしてもロックされにくい場合，また，レバーを **［旋回］** 位置にしてもロック解除されにくい場合は，調節金具で調節します。

ロックされにくい	調節金具の A 部を短くする
ロック解除されにくい	調節金具の A 部を長くする

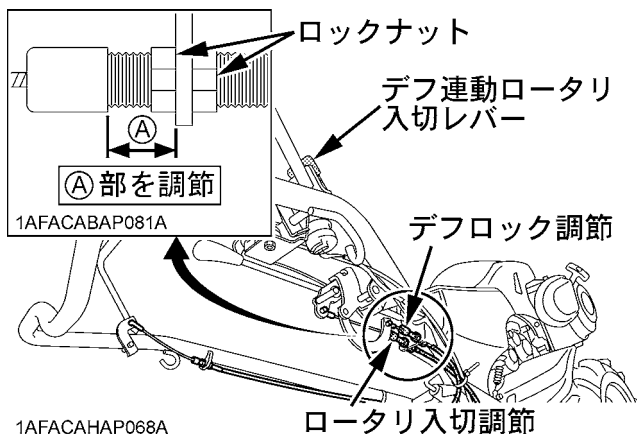
◆ ロータリ入切の調節

レバーを **［作業］** 位置にしてもロータリが回転しない場合，また，レバーを **［直進］［旋回］** 位置にしてもロータリが回転する場合は，調節金具で調節します。

［作業］ 位置で ロータリが回転しない	調節金具の A 部を長くする
［直進］［旋回］ 位置で ロータリが回転する	調節金具の A 部を短くする

重　要

＊ 調節後は，調節金具のロックナットを確実に締付けてください。

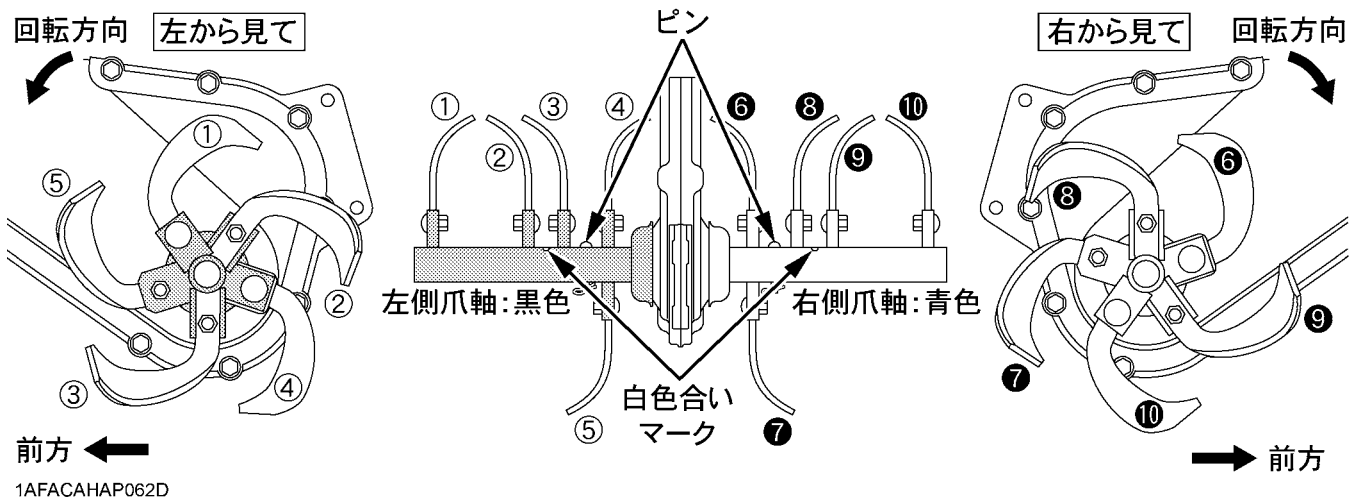
■スロットルレバーの調整

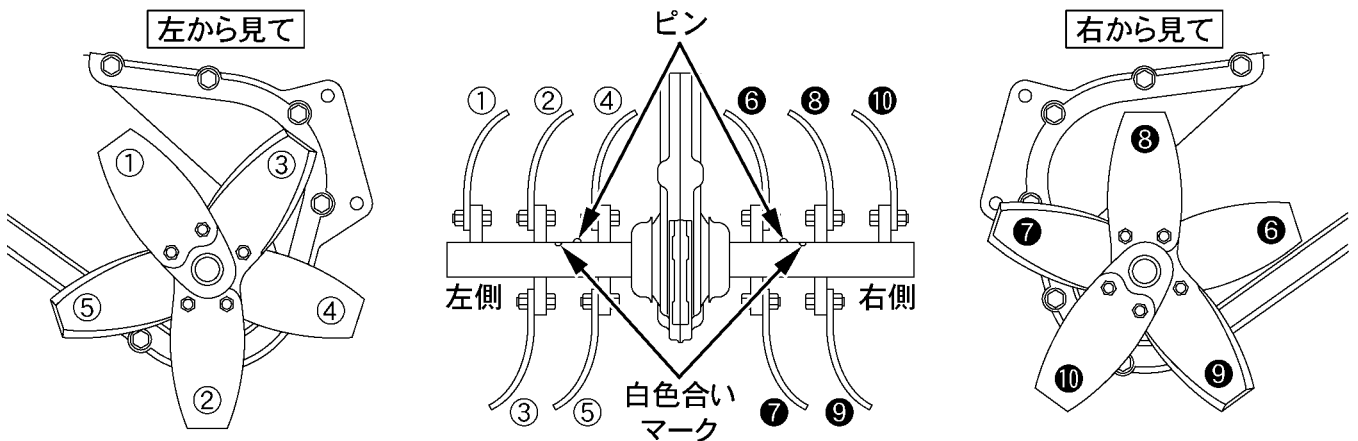
スロットルレバーを最高回転にしてもエンジン回転が上がらないときは，購入先にご相談ください。

■耕うん爪の取付けかた

* 爪の交換時は，エンジンを停止してください。
* サイドカバーを外した時は，危険ですから必ず，爪交換後サイドカバーを確実に取付けてください。
* 爪交換時はロータリに付いた土を落とし，ロータリ部が落下しないようにしてください。
* 上記の作業をおこたると，傷害事故のおそれがあります。

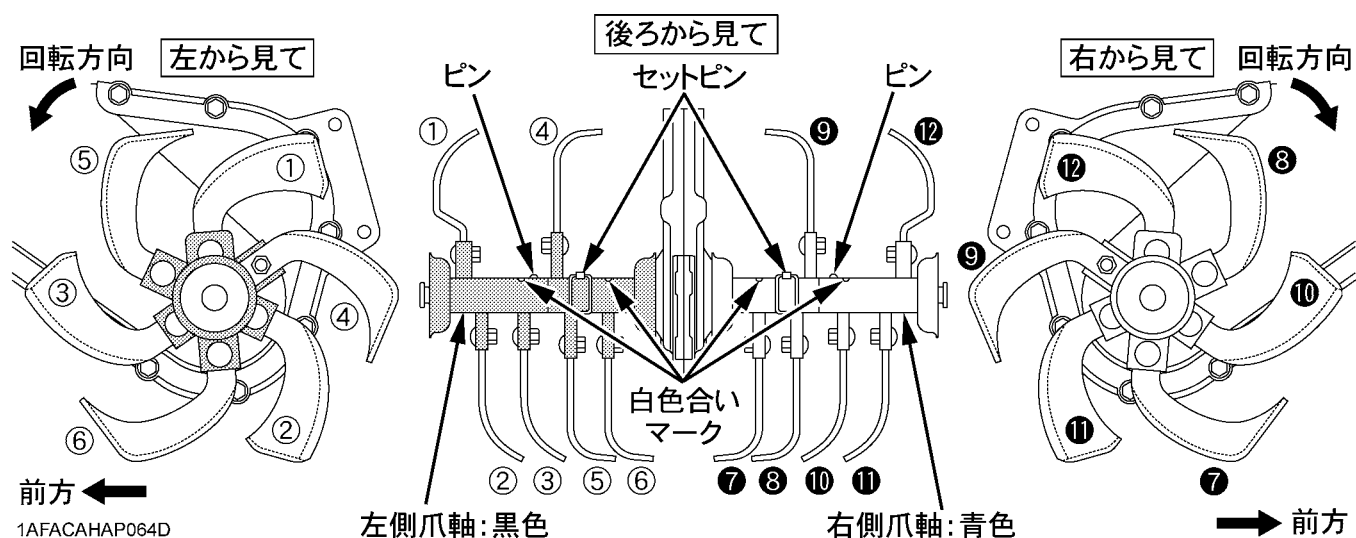
◆ 消耗により耕うん爪を交換する際は，下図を参照して取付けます。

[TRS50]

正転耕うん作業時

[TRS50]

[TRS60, TRS60-E, TRS60-J, TRS70]

[TRS60, TRS60-E, TRS60-J, TRS70]

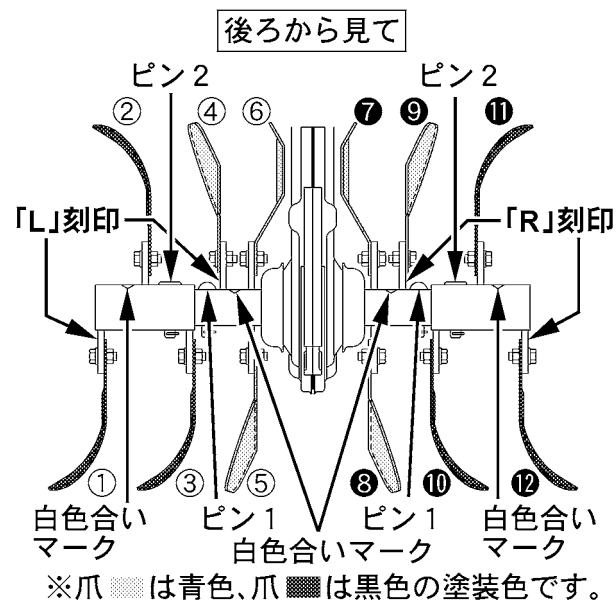
[TRS60-U, TRS60-EU, TRS60-JU, TRS70-U]

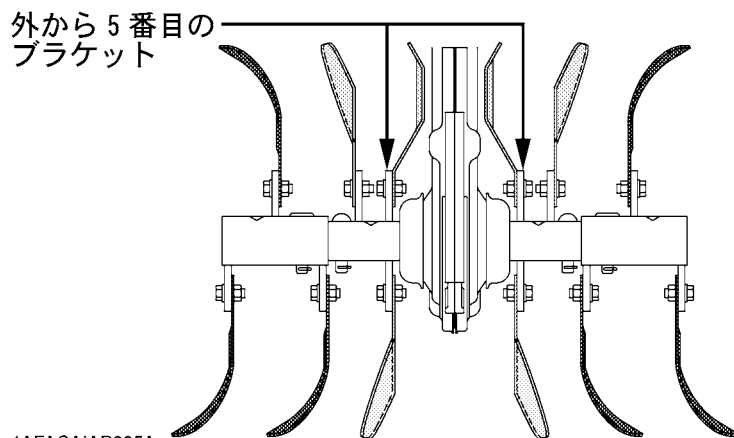
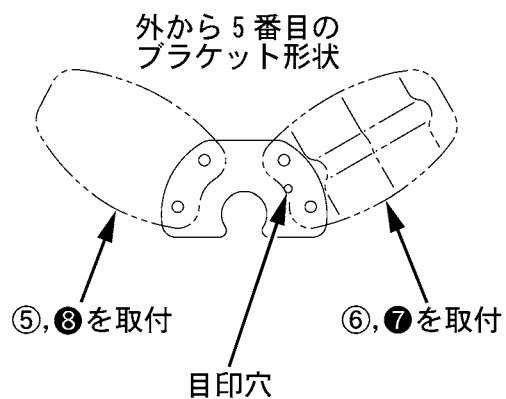
正転耕うん作業時

（参考）取付爪の形状

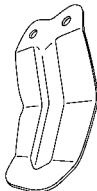
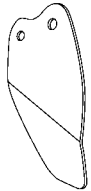
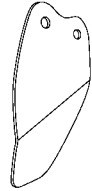
図番	[左] ① [右] ⓬	②③ ❿⓫	④⑤⑥ ❼❽❾
形状	ヘンケイツチアゲヅメ 1AFACABAP064A	ツチアゲヅメ 広い 1AFACABAP065A	ナタヅメ 狭い 1AFACABAP066A
数量	左右各１本	左右各２本	左右各３本

[TRS60-U, TRS60-EU, TRS60-JU, TRS70-U]

【TRS60-US, TRS70-US】

爪軸は白色合いマークが一列になるように取付けてください。

補　足

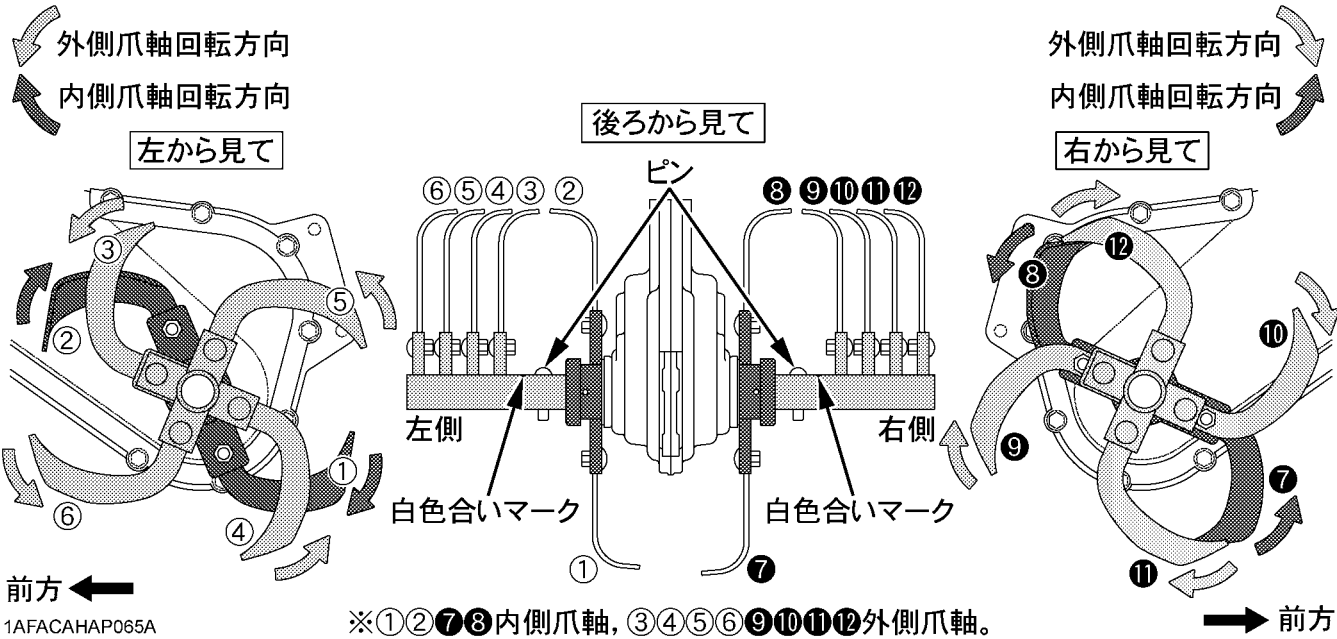
＊ 外から５番目のブラケットには目印穴があるブラケット面に爪（⑥, ❼）を，目印穴がないブラケット面に爪（⑤, ❽）を取付けてください。

補　足

＊ 外から４番目のブラケットには爪（④, ❾）を外側に取付けてください。その他のブラケットには爪を内側に取付けてください。

1AFACAIAP003A

（参考）取付爪の形状

図番	[左]⑥ [右]❼	[左]④⑤	[右]❽❾	[左]①②③ [右]❿⓫⓬
品番	KA828-33340	KA828-33320	KA828-33330	KA761-33310
形状	セイギャク、ヘンケイヅメ	セイギャク、ヒダリヅメ	セイギャク、ミギヅメ	セイギャクヅメ
数量	左右各１本	左２本	右２本	左右各３本

1AFACAIAP004A

[TRS60-US, TRS70-US]

[TRS60-H]

（参考）取付爪の形状

図番	[左] ① ② [右] ❼ ❽	③ ④ ⑤ ⑥ ❾ ❿ ⓫ ⓬
形状	ナタヅメ 1AFACAHAP066A	ナタヅメ 1AFACAHAP067A
数量	左右各２本	左右各４本

[TRS60-H]

◆ **締付けトルク**

[TRS60, TRS60-US, TRS60-E, TRS60-J, TRS70, TRS70-US]（M8）	23.5 ～ 27.4 N・m
[TRS50, TRS60-H, TRS60-U, TRS60-EU, TRS60-JU, TRS70-U]（M10）	48.0 ～ 55.9 N・m

重　要

＊ 爪の内外の向き，ならびに種類（U/ＵＳ/H 仕様）をまちがえないようにしてください。
＊ 作業前には爪の取付けボルト・ナットにゆるみがないか確認し，増締めをしてください。
＊ 爪を交換後は，ボルトを確実に締めてください。

ロータリ専用機の簡単な手入れと処置

■タイヤの空気圧

警 告

＊ タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を，必ず守ってください。空気の入れ過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり，死傷事故の原因になります。
＊ タイヤに傷があり，その傷がコード（糸）に達している場合は，使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。
＊ タイヤ，チューブ，リムなどの交換，修理は，必ず購入先にご相談ください。（特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。）

空気圧が高すぎても低すぎても，タイヤの寿命を縮めますから，定期的に空気圧を調べ，適正になるように調節してください。

適正空気圧	120kPa (1.2kgf/cm²)

空気を入れるには，エアーコンプレッサ，又は自動車などのタイヤに空気を入れる高圧手押しポンプを用いてください。

使用後の手入れ

使用後は，必ずその日に清掃を行ない，各部に付いている土やゴミを落とし，各しゅう動部はさびないように油やグリス及び防錆剤を適宜塗布してください。特にファンカバー内にゴミが詰まりますと，エンジンの焼付きなどの原因になりますので，よく点検・清掃を行なってください。

重 要

＊ 水洗いのとき，エアクリーナ吸込口から水が入らないようにカバーをしてください。
＊ 水洗いのとき，バッテリにカバーをしてコネクタを接続し，バッテリに水がかからないようにしてください。

■エンジン始動不良を防ぐために

エンジン停止後，必ず燃料コックを閉めてください。

重 要

＊ コックを開いたままの状態で，保管したり，前に倒したり，また車両で運搬したりすると，エンジン始動が困難となる場合があります。また，クランクケース内へガソリンが流入することもあります。

■長期格納時の手入れ

＊ カバーをかけたり，納屋に格納するときは，火災のおそれがあるため，エンジンが冷えてからにしてください。
＊ 燃料がこぼれたときは，きれいにふき取ってください。爆発・火災のおそれがあります。

1. 主クラッチレバーは［切］の位置にして保管します。
2. 燃料タンク・キャブレター・フィルタポットの中のガソリンは全て抜取ります。
（1ヶ月以上使用しないとき）
3. オイルを交換し，各部をきれいに掃除します。
4. エアクリーナエレメントを，掃除しておきます。
5. エンジンのシリンダ内に湿気が入って，始動が困難になるのを防止するため，リコイルスタータハンドルを引っ張って，圧縮位置で止めておきます。
6. カバーをかけ，湿気や草・ワラ及びホコリのない場所に置いてください。
7. さびを防ぐため，爪軸を外し，耕うん軸と爪軸の内側を清掃し，油又はグリスを塗布してください。

重 要

＊ ほ場に保管していると，地面からの湿気が多いのでさびやすくなります。

◆ **バッテリの長期格納時の手入れ［E 仕様］**

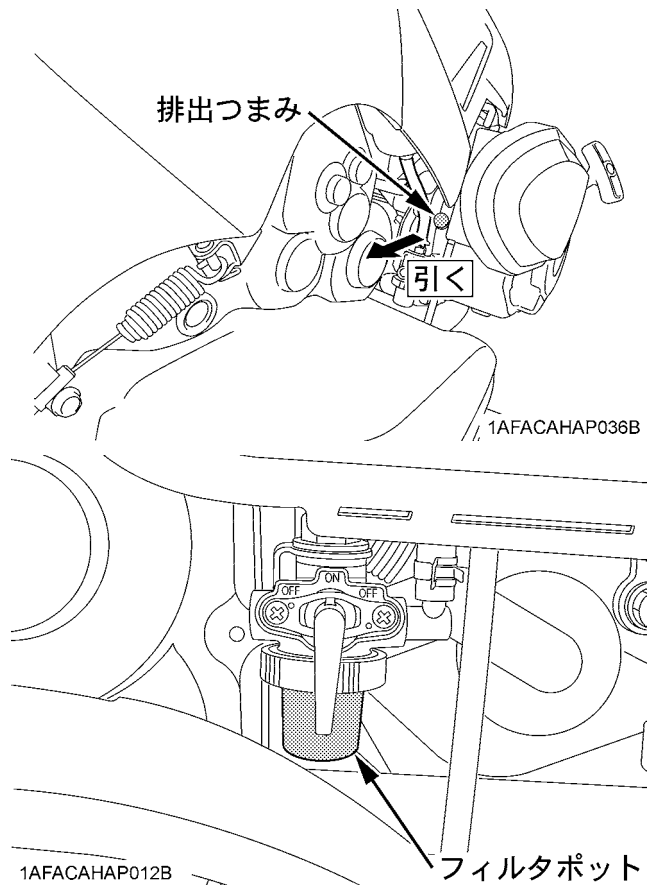
1. 本機からバッテリを取外してください。本機側のコネクタには付属のコネクタキャップを取付けてください。
2. バッテリは下記のような場所で保管してください。
   (1) 平たんで安定しているところ
   (2) 直射日光の当たらないところ
   (3) 幼児やペットなどがいたずらしないところ
   (4) -5 ～ 40 ℃で湿度の低いところ
   (5) 雨など水に濡れないところ
3. コネクタ部にほこりがかからないように，布なのでカバーをしてください。
4. バッテリの劣化を抑えるため，バッテリ残量がない状態で保管しないでください。必ず満充電を行なってから保管してください。
5. バッテリの劣化を抑えるため，３ヶ月に１回は満充電を行なってください。

■燃料の抜取り

＊ **燃料がこぼれた時はきれいにふき取ってください。**

１ヶ月以上使用しないとき，燃料タンク内のガソリンはポンプなどを使用して抜取り，キャブレター内は排出つまみを引いて，フィルタポットは外して全部抜き取ってください。

重 要

＊ 燃料をそのままにしておくと，燃料タンクやキャブレター内のガソリンが変質し，次の始動が困難になります。

バッテリの点検

[E 仕様]

警告

* **必ずメインスイッチを［停止］位置にし，エンジンを停止してからバッテリの点検を行なってください。**
* **バッテリの点検は，室内などの雨水がかからない場所で行なってください。火災事故の原因となります。**
* **バッテリを火気に近づけると爆発の危険がありますので注意してください。**

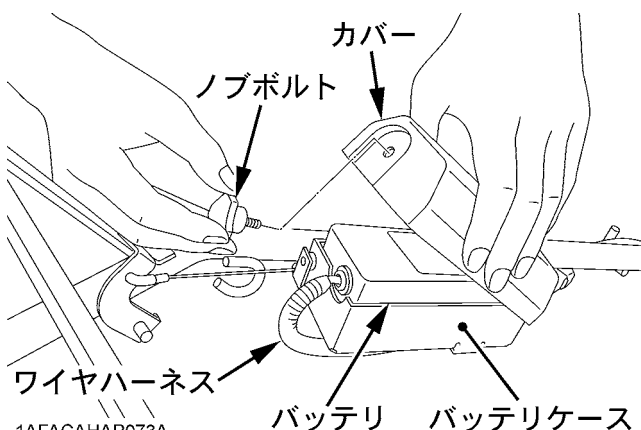
■バッテリの取付け，取外し

注意

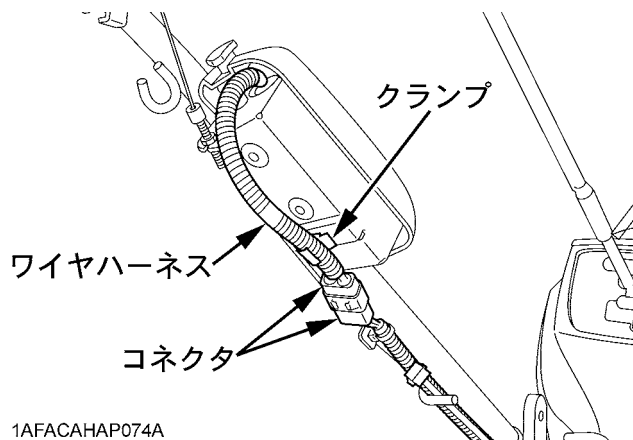
* **新品のバッテリと交換する場合には必ず専用のバッテリを使用してください。**

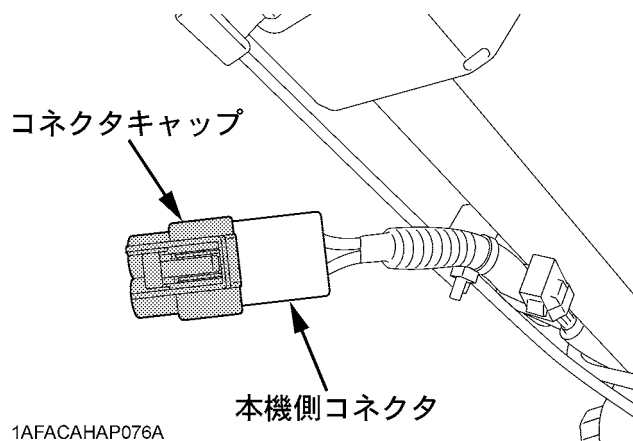
◆ バッテリの取付けかた

1. ノブボルトを外し，バッテリケースのカバーを取外します。
2. バッテリのワイヤハーネス位置に注意してケースに入れます。
3. ケースにカバーを取付けてノブボルトで固定します。

1AFACAHAP073A

4. コネクタを **“カチッ”** と音がするまで差し込み，バッテリのワイヤハーネスをクランプで固定します。

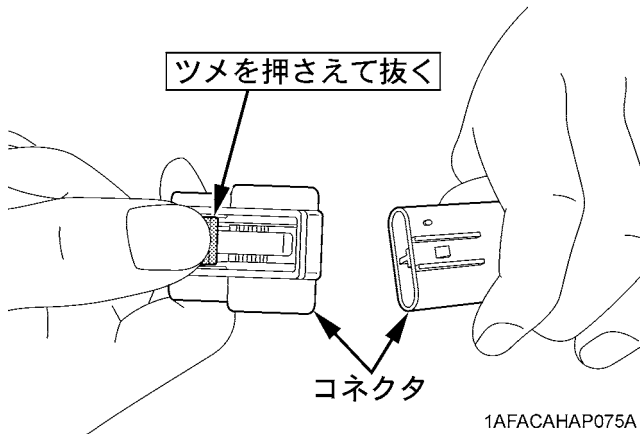
1AFACAHAP074A

◆ バッテリの取外しかた

［バッテリの取付けかた］の逆手順で取外します。バッテリを取外した後は，本機側のコネクタに付属のコネクタキャップを取付けてください。

1AFACAHAP076A

重要

* 付属のコネクタキャップを使用せずに放置しないでください。
* 付属のコネクタキャップは紛失しないように大切に保管してください。

補　足

＊ バッテリのコネクタを外すときは下図の用にコネクタを持ち，コネクタのツメを押さえて抜いてください。

● **専用バッテリ**

発熱や発火，破裂，液もれの原因となるので
＊ 専用バッテリを使用してください。
＊ 他の機器に使用しないでください。
＊ 付属の専用充電器を使用してください。
＊ 分解や改造をしたり，強い衝撃を与えないでください。
＊ 端子間を金属などで接触させないでください。
＊ コネクタ端子を雨や水にぬらさないでください。
＊ 火の中への投入，過熱，高温の場所での使用，放置をしないでください。
＊ コードを強く引っ張らないでください。
＊ 傷ついたまま使用しないでください。

品 番	品 名	用 途
KA823-5540-0	バッテリ，アッシ	E 仕様

● **バッテリの仕様**

バッテリ型式	DLG-43SC2500
電池の種類	ニッケル水素充電池
容量	2500mAh
電圧	DC14.4V
使用可能温度	-20 ～ 65 度（放電時）
使用可能湿度	湿度 80％以内
保存温度	-5 ～ 40 度 / 湿度 80％以内

補　足

＊ バッテリの劣化を抑えるため，３ヶ月に１回満充電を行なってください。
＊ 始動できる回数が50回以下になればバッテリの交換時期です。(交換するにあたっては，購入先にご相談ください)
＊ 充電回数は約 200 回が目安です。ただし，使用状況，保管状況により充電回数は異なります。
＊ 使用済みのバッテリを廃棄の際は購入先にご相談ください。

■専用充電器での補充電方法

警　告

- **＊ 付属の専用充電器以外でバッテリを充電すると，バッテリの発熱・破裂・発火の原因となります。**
- **＊ 専用充電器で指定のバッテリ以外を充電すると火災や破損のおそれがあります。**
- **＊ 定格表示電源 AC100V の家庭用コンセントを使用してください。その他の電源を使用すると発火のおそれがあります。**
- **＊ 電源コードを束ねたり，丸めたままで使用しないでください。発火のおそれがあります。**
- **＊ 充電中は長時間皮膚の同じ場所に触れないようにしてください。低温やけどのおそれがあります。**
- **＊ 充電中はカバーをしたり，上に物を置かないでください。内部が発熱し，火災のおそれがあります。**
- **＊ ガソリンなどの引火物の周辺で充電しないでください。爆発のおそれがあります。**
- **＊ 充電終了後，バッテリを充電器から取外し，充電器のコンセントを家庭用電源から抜いてください。**

◆ 充電する場所

バッテリ及び，充電器の損傷を防止するために下記の場所で充電してください。

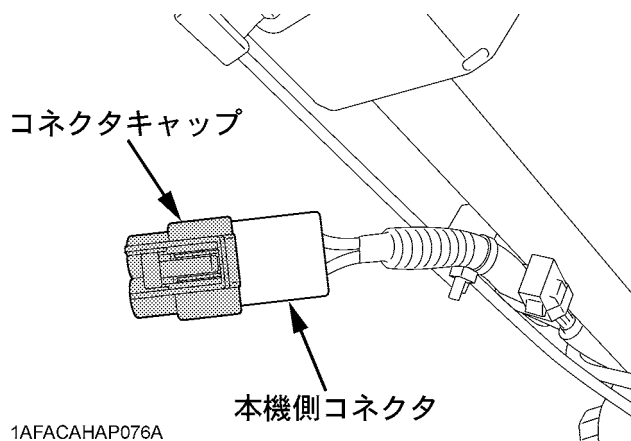
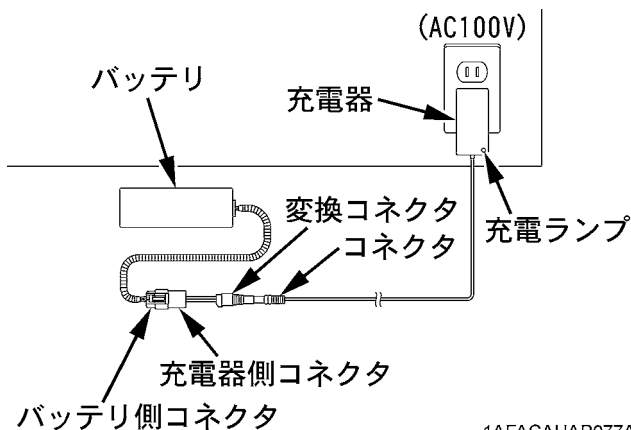
- 平坦で安定がよいところ
- 直射日光の当たらないところ
- 幼児やペットなどがいたずらをしないところ
- 充電中の室温が 0 ～ 40 ℃の範囲の場所
- 雨や水に濡れないところ
- 風通しがよく，湿気のないところ

◆ 補充電方法

始動スイッチでエンジンの始動ができなくなったら充電が必要です。

1. 本機からバッテリを取外します。

重　要

＊ バッテリを取外した際は，本機側のコネクタに付属のコネクタキャップを取付けてください。

2. バッテリ側と充電器側のコネクタを **“カチッ”** と音がするまで差し込みます。
3. 充電器のコンセントを家庭用電源（AC100V）に差し込み充電ランプが緑色になれば充電完了となります。

充電ランプ	状態
赤色点灯	充電中
緑色点灯	充電終了
赤色点滅	充電異常

重　要

＊ 充電異常の状態になった時は，そのまま使用せず購入先にご相談ください。

● **専用充電器**

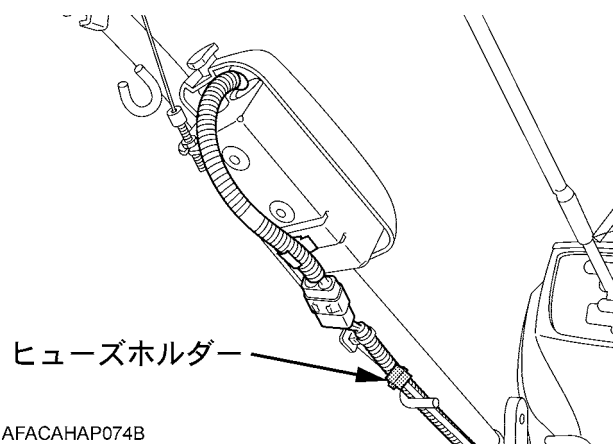
発熱，発火，感電のおそれがありますので，
＊ 専用バッテリ以外の充電に使用しないでください。
＊ 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
＊ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
＊ 水にぬらさないでください。また，ぬれたままで電源コードを差さないでください。
＊ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や，交流 100V 以外で使用しないでください。
＊ 家庭用 AC100V コンセントにつないだままにしないでください。
＊ 電源プラグを家庭用 AC100V コンセントから抜くときは，必ず電源プラグを持って抜き取ってください。
＊ 電源コードを充電器本体に巻きつけないでください。
＊ 充電端子や電源プラグのほこりなどは定期的に取ってください。
＊ 電源プラグ・コード，コネクタ，ケースを破損するようなことはしないでください。
＊ 端子間を金属などで接触させないでください。
＊ 落としたり，強い衝撃を与えないでください。
＊ 分解や改造はしないでください。

品 番	品 名	用 途
KA823-6512-0	ジュウデンキ	E 仕様

● **充電器の仕様**

充電器型式	CN120A5001
電池の種類	ニッケル水素充電器
入力電圧	AC100V-240V 50/60Hz
出力電圧	DC23V
充電機能	満充電検知機能，タイマ６時間
使用温度	０～ 40 度
使用湿度	湿度 85％以下
保存温度	-20 ～ 40 度
充電時間：(充電残量が全く無いとき)	約６時間

◆ **ヒューズの交換**

ワイヤハーネス部のヒューズホルダー内のヒューズを交換してください。

● **規定ヒューズ**

品 番	品 名	用 途
5H050-4162-0	10A，オート	E 仕様

重 要

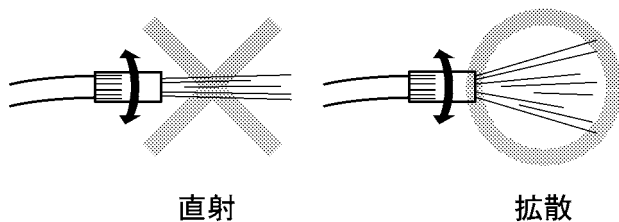
＊ ヒューズを交換してもすぐ切れてしまう場合は，針金や銀紙などを使用せず，購入先で点検を受けてください。

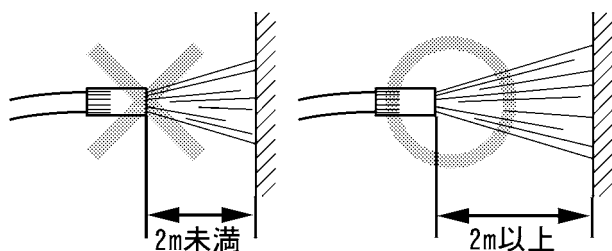
洗車時の注意

高圧洗車機の使用方法を誤ると人を怪我させたり，機械を破損・損傷・故障させることがありますので，高圧洗車機の取扱説明書・ラベルに従って，正しく使用してください。

注意

機械を損傷させないように洗浄ノズルを拡散にし，２ｍ以上離して洗車してください。
もし，直射にしたり，不適切に近距離から洗車すると，
1. **電気配線部被覆の損傷・断線により，火災のおそれがあります。**
2. **機械の破損・損傷・故障の原因になります。**
   例）(1) シール・ラベルの剥がれ
   (2) 電子部品，エンジン・トランスミッション室内などへの浸入による故障
   (3) オイルシールなどのゴム類，樹脂類の破損
   (4) 塗装，メッキ面の皮膜剥がれ

直射洗車厳禁

1AGACBRAP067A

近距離洗車厳禁

1AGACBRAP068A

重　要

[E 仕様]

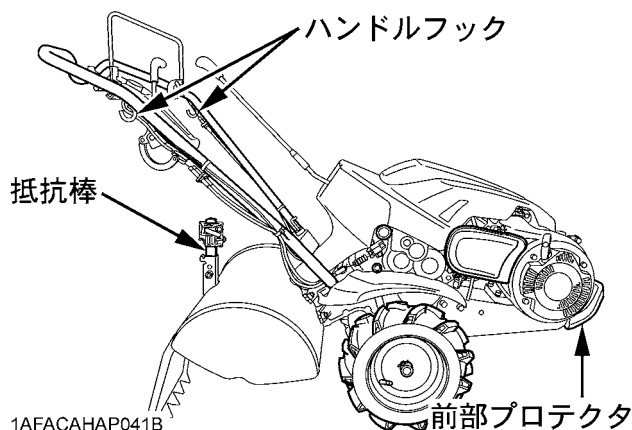
＊ 本機側にバッテリが取付けられている場合はバッテリのコネクタの接続を確認し，バッテリカバーが確実に閉まっているか確認して，バッテリに水がかからないようにしてください。また，バッテリが取外されている場合は，本機側のコネクタに付属のコネクタキャップを取付けてください。

ロータリ専用機を運搬するとき

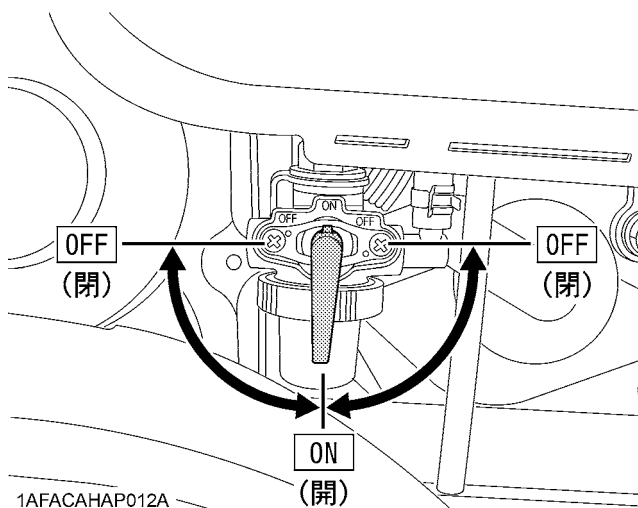
注　意

＊ 積込み・積降ろしは，平坦で交通の邪魔にならない安全な場所で行なってください。
＊ アユミ板はすべり止めの付いた，機体重量に耐えるもので，トラックの荷台の高さ［1］に対しアユミ板の長さ［4以上］のものを使用し，確実に固定してください。
＊ 足元に注意し，車速は最低速で上りは［前進］，下りは［後進］で行なってください。
＊ 途中で主クラッチを切ったり，変速操作を絶対にしないでください。落下・転倒のおそれがあります。
＊ デフ連動ロータリ入切レバーは［直進］の位置にしてください。［旋回］の位置にすると思わぬ方向に進むことがあり危険です。
＊ トラックは，荷台に天井がない車を使用してください。首や体をはさまれるおそれがあります。
＊ トラックでの運搬時は，タンク内のガソリンの量を，積込み・積降ろしに必要な最低量とし，残りのガソリンは，別に用意しておいた法で定められたタンクに移して運搬してください。火災のおそれがあります。

自動車（トラック）への積込み，運搬

1. トラックを平坦な場所に止め，駐車ブレーキを掛けます。
2. あゆみ板を荷台に確実に固定します。
3. 車速は最低速で，上りは前進 **［1速］** で，下りは，**［後進］** にします。
4. 機体は荷台にロープで確実に固定します。
5. 機体にロープを掛けるときは，前部プロテクタ・抵抗棒・ハンドルの3箇所を固定してください。

6. 燃料コックレバーは **［閉］** にします。
7. 雨天時には，エアクリーナの吸込口にカバーをかぶせてください。

重　要

＊ ロープを掛けるとき，変速レバーや樹脂カバー，小物部品にロープが触れないように気をつけてください。
破損したり機能が損なわれるおそれがあります。
＊ エアクリーナの吸込口にカバーをかぶせないで運搬すると，雨水や砂ホコリが入り，エアクリーナ性能が低下します。
＊ 燃料コックレバーを **［開］** いたまま運搬すると，キャブレター内でガソリンがオーバーフローし，エンジン始動が困難となります。また，クランクケース内にガソリンが流入することもあります。

付表

主要諸元

<table>
<tr><td colspan="2">販売型式名</td><td>TRS50</td><td>TRS60</td><td>TRS60-U</td><td>TRS60-US</td><td>TRS60-E</td><td>TRS60-EU</td></tr>
<tr><td rowspan="3">機体寸法</td><td>全長 (mm)</td><td>1505</td><td colspan="5">1480</td></tr>
<tr><td>全幅 (mm)</td><td colspan="2">620</td><td colspan="2">615</td><td>620</td><td>615</td></tr>
<tr><td>全高 (mm)</td><td>1045</td><td colspan="5">1085</td></tr>
<tr><td colspan="2">機体質量（重量） (kg)</td><td>80</td><td colspan="2">85</td><td>86</td><td colspan="2">89</td></tr>
<tr><td rowspan="8">エンジン</td><td>型式名</td><td>GR130-1-GT-KN5</td><td colspan="3">GR170-1-GT-KN5</td><td colspan="2">GR170-1-GTS-KN5</td></tr>
<tr><td>種類</td><td colspan="6">空冷４サイクル傾斜型　ＯＨＶ ガソリンエンジン</td></tr>
<tr><td>総排気量 (L {cc})</td><td>0.125{125}</td><td colspan="5">0.169{169}</td></tr>
<tr><td>連続定格出力 (kW{PS}/ rpm)</td><td>2.0{2.7}/1700</td><td colspan="5">3.0{4.1}/1700</td></tr>
<tr><td>最大出力 (kW {PS})</td><td>3.2{4.3}</td><td colspan="5">4.6{6.2}</td></tr>
<tr><td>使用燃料</td><td colspan="6">自動車用無鉛ガソリン</td></tr>
<tr><td>燃料タンク容量 (L)</td><td colspan="6">2.5</td></tr>
<tr><td>始動方式</td><td colspan="4">リコイルスタータ式</td><td colspan="2">セルスタータ式
（リコイルスタータ併用）</td></tr>
<tr><td rowspan="8">走行部</td><td>車輪（タイヤ）</td><td>3.50-6</td><td colspan="5">3.50-7</td></tr>
<tr><td>輪距（外幅） (mm)</td><td colspan="6">250(350),350(450),400(500)</td></tr>
<tr><td>主クラッチ方式</td><td colspan="6">ベルトテンション式</td></tr>
<tr><td>操向クラッチ方式</td><td colspan="6">デフ式（ロック付）</td></tr>
<tr><td>変速段数 (段)</td><td colspan="6">前進 2・後進 1</td></tr>
<tr><td>走行速度 前進 (km/h)</td><td>0.82 ～ 3.76</td><td colspan="5">0.89 ～ 4.05</td></tr>
<tr><td>走行速度 後進 (km/h)</td><td>0.82</td><td colspan="5">0.89</td></tr>
<tr><td>車軸の形状・寸法</td><td colspan="6">丸軸・直径 20</td></tr>
<tr><td rowspan="7">ロータリ</td><td>駆動方式</td><td colspan="6">センタードライブ</td></tr>
<tr><td>変速段数 (段)</td><td colspan="6">正転 1・逆転 1</td></tr>
<tr><td>爪軸回転速度 (rpm)</td><td colspan="2">正転 213
逆転 249</td><td colspan="2">正転 265
逆転 362</td><td>正転 213
逆転 249</td><td>正転 265
逆転 362</td></tr>
<tr><td>耕幅 (mm)</td><td colspan="2">550</td><td>330・500</td><td>230・500</td><td>550</td><td>330・500</td></tr>
<tr><td>爪回転径 (mm)</td><td>290</td><td colspan="5">350</td></tr>
<tr><td>爪軸の形状・寸法 (mm)</td><td colspan="6">丸軸・直径 25</td></tr>
<tr><td>ロータリカバー形状</td><td colspan="2">固定式</td><td colspan="2">開閉式</td><td>固定式</td><td>開閉式</td></tr>
</table>

※この主要諸元は，改良のため予告なく変更することがあります。

販　売　型　式　名		TRS60-H	TRS60-J	TRS60-JU	TRS70	TRS70-U	TRS70-US
機体寸法	全長 (mm)	1480	1515				
	全幅 (mm)	620		615	620	615	
	全高 (mm)	1085	1070				
機体質量（重量） (kg)		89	88				89
エンジン	型式名	GR170-1-GT-KN5					
	種類	空冷４サイクル傾斜型　ＯＨＶガソリンエンジン					
	総排気量 (L {cc})	0.169{169}					
	連続定格出力 (kW {PS} / rpm)	3.0{4.1}/1700					
	最大出力 (kW {PS})	4.6{6.2}					
	使用燃料	自動車用無鉛ガソリン					
	燃料タンク容量 (L)	2.5					
	始動方式	リコイルスタータ式					
走行部	車輪（タイヤ）	3.50-7	4.00-7				
	輪距（外幅） (mm)	400(500)	250(350),350(450),400(500)				
	主クラッチ方式	ベルトテンション式					
	操向クラッチ方式	デフ式（ロック付）					
	変速段数 (段)	前進２・後進１			前進３・後進１		
	走行速度 前進 (km/h)	0.89 ～ 4.05	1.02 ～ 4.63				
	走行速度 後進 (km/h)	0.89	1.02				
	車軸の形状・寸法	丸軸・直径 20					
ロータリ	駆動方式	センタードライブ					
	変速段数 (段)	1（ダブルドライブ）	正転１・逆転１				
	爪軸回転速度 (rpm)	正転部 213 逆転部 203	正転 213 逆転 249	正転 265 逆転 362	正転 213 逆転 249	正転 265 逆転 362	
	耕幅 (mm)	500	550	330・500	550	330・500	230・500
	爪回転径 (mm)	350					
	爪軸の形状・寸法 (mm)	丸軸・直径 25					
	ロータリカバー形状	固定式		開閉式	固定式	開閉式	

※この主要諸元は，改良のため予告なく変更することがあります。

付表

走行速度一覧表

変速		TRS50	TRS60(-U/-US/-E/-EU/-H)	TRS60-J(U)	TRS70(-U/-US)
		km/h (m/分)	km/h (m/分)	km/h (m/分)	km/h (m/分)
前進1		0.82(13.7)	0.89(14.8)	1.02(16.9)	
前進2		3.76(62.6)	4.05(67.4)	4.63(77.1)	1.33(22.2)
前進3		なし			4.63(77.1)
後進1		0.82(13.7)	0.89(14.8)	1.02(16.9)	
条件	定格回転数 (rpm)	1700			
	プーリ外径 (mm)	φ75 - φ127			
	タイヤ	3.50-6	3.50-7	4.00-7	

標準付属部品

品 名	数量/台	備 考
プラグボックス	1	
取扱説明書	1	
保証書	1	
ガソリンメンテナンス要領書	1	

主な消耗部品一覧表

● エンジン関係

品 名	品 番	数 量			備 考
		TRS50	TRS60	TRS70	
スパークプラグ	13901-67710	1	1	1	
フィルタエレメント	13979-43160	1	1	1	フューエルフィルタ用
パッキン	13979-43140	1	1	1	フューエルフィルタ用
フューエルチューブ	KA811-54730	1			燃料タンク からフィルタポット
フューエルチューブ	KA821-54730		1	1	燃料タンク からフィルタポット
フューエルチューブ	09664-50090	1	1	1	フィルタポット からキャブレター
エレメント, アッシ（エアクリーナ）	E2155-11210	1	1	1	エアクリーナ用
パッキン（エレメント）	12867-11510	1	1	1	エアクリーナ用

● 本機関係

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">品　名</th><th rowspan="2">品　番</th><th colspan="3">数　量</th><th rowspan="2">備　考</th></tr>
<tr><th>TRS50</th><th>TRS60
TRS60-J
TRS70</th><th>TRS60-E</th></tr>
<tr><td colspan="2">V ベルト（B36）</td><td>KA761-62210</td><td colspan="3">1</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">ケーブル，コンプ（シュクラッチ）</td><td>KA821-42110</td><td colspan="3">1</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">ケーブル，コンプ　（デフ）</td><td>KA821-42810</td><td colspan="3">1</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">ケーブル，コンプ　（PTO）</td><td>KA821-42830</td><td colspan="3">1</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">ケーブル，コンプ　（スロットル）</td><td>KA821-43210</td><td colspan="3">1</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">コード（ストップスイッチ）</td><td>KA821-55120</td><td colspan="2">1</td><td>－</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">ワイヤハーネス，アッシ</td><td>KA823-55120</td><td colspan="2">－</td><td>1</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">ヒューズ　（10A，オート）</td><td>5H500-41620</td><td colspan="2">－</td><td>1</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">アタマツキピン</td><td>05122-50835</td><td colspan="3">2</td><td>タイヤ取付用</td></tr>
<tr><td colspan="2">スナップピン</td><td>05515-50800</td><td colspan="3">2</td><td>タイヤ取付用</td></tr>
<tr><td colspan="2">オイルシール</td><td>60751-12460</td><td colspan="3">2</td><td>車軸</td></tr>
<tr><td colspan="2">オイルシール</td><td>61011-17150</td><td colspan="3">2</td><td>耕うん軸</td></tr>
<tr><td colspan="2">オイルシール</td><td>09500-45609</td><td colspan="3">－</td><td>耕うん軸（内側）</td></tr>
<tr><td colspan="2">オイルシール</td><td>52170-16660</td><td colspan="3">－</td><td>耕うん軸（外側）</td></tr>
<tr><td colspan="2">マルピン M10</td><td>91201-36430</td><td colspan="3">2</td><td>爪軸取付用</td></tr>
<tr><td colspan="2">スナップピン</td><td>05525-51000</td><td colspan="3">2</td><td>爪軸取付用</td></tr>
<tr><td colspan="2">セットピン（ツメジク）</td><td>KA764-33210</td><td colspan="3">－</td><td>爪軸取付用</td></tr>
<tr><td colspan="2">ゴム（バイド）</td><td>KA821-35550</td><td colspan="3">1</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">コウウンヅメ（300，ヒダリ）※1</td><td>KA711-33310</td><td>5</td><td colspan="2">－</td><td rowspan="2">※1,2 のセット品番
07908-76990</td></tr>
<tr><td colspan="2">コウウンヅメ（300，ミギ）※2</td><td>KA711-33310</td><td>5</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">コウウンヅメ
アッシ</td><td>（アッシ品番）</td><td>92181-18501</td><td>－</td><td colspan="2">1</td><td>①のセット</td></tr>
<tr><td>コウウンヅメ（セイギャク）①</td><td>KA761-33310</td><td>－</td><td colspan="2">10</td><td>※　アッシ構成部品</td></tr>
<tr><td rowspan="7">コウウンヅメ
アッシ</td><td>（アッシ品番）</td><td>07908-78500</td><td colspan="3">－</td><td>②～⑦のセット</td></tr>
<tr><td>コウウンヅメ（ナタ 10，ヒダリ）②</td><td>60724-32150</td><td colspan="3">－</td><td rowspan="6">※　アッシ構成部品</td></tr>
<tr><td>コウウンヅメ（ナタ 10，ミギ）③</td><td>60724-32160</td><td colspan="3">－</td></tr>
<tr><td>ツチアゲヅメ V/24　ヒダリ ④</td><td>91183-11230</td><td colspan="3">－</td></tr>
<tr><td>ツチアゲヅメ V/24　ミギ ⑤</td><td>91183-11240</td><td colspan="3">－</td></tr>
<tr><td>ヘンケイツチアゲヅメ　ヒダリ ⑥</td><td>91183-11210</td><td colspan="3">－</td></tr>
<tr><td>ヘンケイツチアゲヅメ　ミギ ⑦</td><td>91183-11220</td><td colspan="3">－</td></tr>
<tr><td colspan="2">コウウンヅメ（ナタ 10，ヒダリ）</td><td>60724-32150</td><td colspan="3">－</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">コウウンヅメ（ナタ 10，ミギ）</td><td>60724-32160</td><td colspan="3">－</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">コウウンヅメ（350，ヒダリ）</td><td>KA827-33310</td><td colspan="3">－</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">コウウンヅメ（350，ミギ）</td><td>KA827-33320</td><td colspan="3">－</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">ツメトリツケボルト</td><td>91201-11470</td><td>10</td><td colspan="2">－</td><td>爪取付用，M10</td></tr>
<tr><td colspan="2">バネザガネ</td><td>04512-50100</td><td>10</td><td colspan="2">－</td><td>爪取付用，M10</td></tr>
<tr><td colspan="2">ナット</td><td>02118-50100</td><td>10</td><td colspan="2">－</td><td>爪取付用，M10</td></tr>
<tr><td colspan="2">ボルト</td><td>01123-50820</td><td>－</td><td colspan="2">20</td><td>爪取付用，M8</td></tr>
<tr><td colspan="2">ナット</td><td>02114-50080</td><td>－</td><td colspan="2">20</td><td>爪取付用，M8</td></tr>
<tr><td colspan="2">バッテリ，アッシ</td><td>KA823-55400</td><td colspan="2">－</td><td>1</td><td></td></tr>
</table>

※注：　各アッシの構成部品は，単品でもご購入いただけます。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">品　名</th><th rowspan="2">品　番</th><th colspan="4">数　量</th><th rowspan="2">備　考</th></tr>
<tr><th>TRS60-EU</th><th>TRS60-H</th><th>TRS60-U
TRS60-JU
TRS70-U</th><th>TRS60-US
TRS70-US</th></tr>
<tr><td colspan="2">V ベルト（B36）</td><td>KA761-62210</td><td colspan="4">1</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">ケーブル，コンプ（シュクラッチ）</td><td>KA821-42110</td><td colspan="4">1</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">ケーブル，コンプ　(デフ)</td><td>KA821-42810</td><td colspan="4">1</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">ケーブル，コンプ　(PTO)</td><td>KA821-42830</td><td colspan="4">1</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">ケーブル，コンプ　(スロットル)</td><td>KA821-43210</td><td colspan="4">1</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">コード（ストップスイッチ）</td><td>KA821-55120</td><td>−</td><td colspan="3">1</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">ワイヤハーネス，アッシ</td><td>KA823-55120</td><td>1</td><td colspan="3">−</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">ヒューズ　(10A，オート)</td><td>5H500-41620</td><td>1</td><td colspan="3">−</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">アタマツキピン</td><td>05122-50835</td><td colspan="4">2</td><td>タイヤ取付用</td></tr>
<tr><td colspan="2">スナップピン</td><td>05515-50800</td><td colspan="4">2</td><td>タイヤ取付用</td></tr>
<tr><td colspan="2">オイルシール</td><td>60751-12460</td><td colspan="4">2</td><td>車軸</td></tr>
<tr><td colspan="2">オイルシール</td><td>61011-17150</td><td>2</td><td>−</td><td colspan="2">2</td><td>耕うん軸</td></tr>
<tr><td colspan="2">オイルシール</td><td>09500-45609</td><td>−</td><td>2</td><td colspan="2">−</td><td>耕うん軸（内側）</td></tr>
<tr><td colspan="2">オイルシール</td><td>52170-16660</td><td>−</td><td>2</td><td colspan="2">−</td><td>耕うん軸（外側）</td></tr>
<tr><td colspan="2">マルピン M10</td><td>91201-36430</td><td colspan="4">2</td><td>爪軸取付用</td></tr>
<tr><td colspan="2">アタマツキピン</td><td>05122-51050</td><td colspan="3">−</td><td>2</td><td>爪軸取付用</td></tr>
<tr><td colspan="2">スナップピン</td><td>05525-51000</td><td colspan="3">2</td><td>4</td><td>爪軸取付用</td></tr>
<tr><td colspan="2">セットピン（ツメジク）</td><td>KA764-33210</td><td>2</td><td>−</td><td>2</td><td>−</td><td>爪軸取付用</td></tr>
<tr><td colspan="2">ゴム（バイド）</td><td>KA821-35550</td><td>−</td><td>1</td><td colspan="2">−</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">コウウンヅメ（300，ヒダリ）</td><td>KA711-33310</td><td colspan="4">−</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">コウウンヅメ（300，ミギ）</td><td>KA711-33310</td><td colspan="4">−</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">コウウンヅメ
アッシ</td><td>(アッシ品番)</td><td>92181-18501</td><td colspan="4">−</td><td>①のセット</td></tr>
<tr><td>コウウンヅメ（セイギャク）①</td><td>KA761-33310</td><td colspan="4">−</td><td>※　アッシ構成部品</td></tr>
<tr><td rowspan="7">コウウンヅメ
アッシ</td><td>(アッシ品番)</td><td>07908-78500</td><td>1</td><td>−</td><td>1</td><td>−</td><td>②〜⑦のセット</td></tr>
<tr><td>コウウンヅメ（ナタ 10，ヒダリ）②</td><td>60724-32150</td><td>3</td><td>−</td><td>3</td><td>−</td><td rowspan="6">※　アッシ構成部品</td></tr>
<tr><td>コウウンヅメ（ナタ 10，ミギ）③</td><td>60724-32160</td><td>3</td><td>−</td><td>3</td><td>−</td></tr>
<tr><td>ツチアゲヅメ V/24　ヒダリ ④</td><td>91183-11230</td><td>2</td><td>−</td><td>2</td><td>−</td></tr>
<tr><td>ツチアゲヅメ V/24　ミギ ⑤</td><td>91183-11240</td><td>2</td><td>−</td><td>2</td><td>−</td></tr>
<tr><td>ヘンケイツチアゲヅメ　ヒダリ ⑥</td><td>91183-11210</td><td>1</td><td>−</td><td>1</td><td>−</td></tr>
<tr><td>ヘンケイツチアゲヅメ　ミギ ⑦</td><td>91183-11220</td><td>1</td><td>−</td><td>1</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="2">コウウンヅメ（セイギャク，ヘンケイ）</td><td>KA828-33340</td><td colspan="3">−</td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">コウウンヅメ（セイギャク，ヒダリ）</td><td>KA828-33320</td><td colspan="3">−</td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">コウウンヅメ（セイギャク，ミギ）</td><td>KA828-33330</td><td colspan="3">−</td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">コウウンヅメ（セイギャク）</td><td>KA761-33310</td><td colspan="3">−</td><td>6</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">コウウンヅメ（ナタ 10，ヒダリ）</td><td>60724-32150</td><td>−</td><td>2</td><td colspan="2">−</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">コウウンヅメ（ナタ 10，ミギ）</td><td>60724-32160</td><td>−</td><td>2</td><td colspan="2">−</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">コウウンヅメ（350，ヒダリ）</td><td>KA827-33310</td><td>−</td><td>4</td><td colspan="2">−</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">コウウンヅメ（350，ミギ）</td><td>KA827-33320</td><td>−</td><td>4</td><td colspan="2">−</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">品　名</th><th rowspan="2">品　番</th><th colspan="4">数　量</th><th rowspan="2">備　考</th></tr>
<tr><th>TRS60-EU</th><th>TRS60-H</th><th>TRS60-U
TRS60-JU
TRS70-U</th><th>TRS60-US
TRS70-US</th></tr>
<tr><td>ツメトリツケボルト</td><td>91201-11470</td><td colspan="3">12</td><td>－</td><td>爪取付用，M10</td></tr>
<tr><td>バネザガネ</td><td>04512-50100</td><td colspan="3">12</td><td>－</td><td>爪取付用，M10</td></tr>
<tr><td>ナット</td><td>02118-50100</td><td colspan="3">12</td><td>－</td><td>爪取付用，M10</td></tr>
<tr><td>ボルト</td><td>01123-50820</td><td colspan="3">－</td><td>24</td><td>爪取付用，M8</td></tr>
<tr><td>ナット</td><td>02114-50080</td><td colspan="3">－</td><td>24</td><td>爪取付用，M8</td></tr>
<tr><td>バッテリ，アッシ</td><td>KA823-55400</td><td>1</td><td colspan="3">－</td><td></td></tr>
</table>

※注：　各アッシの構成部品は，単品でもご購入いただけます。

トラブルと処置

■ エンジンが始動しないとき

原　因	処　置
● 始動の手順が間違っている。	正しい順序で始動する。（10 ページの「運転のしかた」を参照）
● タンクにガソリンを入れたまま 1 ヵ月以上保管しガソリンが劣化した。	タンク・キャブレター内の劣化したガソリンを排出し，新しいガソリンを入れる。
● フィルタポットに水やゴミが混入している。	ポットを外してフィルタエレメントを清掃する。 また新しい物と交換する。 キャブレター内のガソリンも排出する。
● チョークを引いた（閉じた）状態でリコイルを何回も引過ぎガソリンを吸いすぎた。	チョークを戻し（開き）リコイルを引くか，点火プラグを外して乾燥させる。
● エンジン停止後，燃料コックを閉じないで本機を前に倒したり，車両で運搬したためキャブレターがオーバーフローした。	クランクケース内にガソリンが混入していたら新しいエンジンオイルと交換する。
● エアクリーナエレメントが目詰まりしている。	エレメントを外して清掃する。 または新しい物と交換する。
● 点火プラグの火花が弱い，飛ばない。	点火プラグを外して付着したカーボンを清掃する。または，新しい物と交換する。

■ 始動スイッチを操作してもエンジンが始動しないとき［E 仕様］

原　因	処　置
● バッテリが放電している。	バッテリを充電する。
● ヒューズが切れている。	ヒューズを交換する。（交換するにあたっては，購入先にご相談ください）

■ エンジン回転が上がらない，不安定，出力が不足するとき

原　因	処　置
● エンジンが暖まってもチョークを引いた（閉じた）まま運転している。	チョークを戻す（開く）。
● フィルタポットに水やゴミが混入している。	ポットを外して清掃する。 キャブレター内のガソリンも排出する。
● エアクリーナエレメントが汚れている。	エレメントを外して清掃する。
● スロットルケーブルの引っ張りが不足している。	ケーブルのセット位置を調節する。 （調節にあたっては，購入先にご相談ください。）

■ エンジンが振れる，異音が発生する

原　因	処　置
● エンジン取付けボルトがゆるんでいる。	取付けボルトを締付ける。

■ ハンドルのガタが多い

原　因	処　置
● ハンドル回転部のガタが多い。	ハンドル締付ボルトを締め直す。

上記の処置をしてもトラブルが直らないときは，購入先にご相談ください。

修理・取扱い・手入れなどでご不明の点は まず，購入先へ ご相談ください

おぼえのため，該当する項目に記入されると便利です

購入先名 担当 電話番号（　　　）　　－		型式名
		区分
		車台番号（製造番号）
		エンジン型式 エンジン番号
ご購入日	キーナンバー	その他装着型式
		機械番号

※ご記入の際には、サービスと保証のページをご参照ください。
　なお、型式により該当しない記入項目もあります。

ご購入先でご不明の点がございましたら，下記にお問合わせください。

クボタアグリサービス株式会社

事務所	電話	〒	住所
北海道事務所	電(011)376-4434	〒061-1274	北海道北広島市大曲工業団地３－１
秋田事務所	電(018)845-1601	〒011-0901	秋田市寺内字大小路207-54
仙台事務所	電(022)384-5162	〒981-1221	宮城県名取市田高字原182-１
東京事務所	電(048)862-1124	〒338-0832	さいたま市桜区西堀５－２－36
新潟事務所	電(025)285-1261	〒950-0992	新潟市中央区上所上１－14-15
金沢事務所	電(076)275-1121	〒924-0038	石川県白山市下柏野町956-１
名古屋事務所	電(0586)24-5111	〒491-0031	愛知県一宮市観音町１－１
大阪事務所	電(06)6470-5850	〒661-8567	兵庫県尼崎市浜１－１－１
岡山事務所	電(086)279-4511	〒703-8216	岡山市東区宍甘275
米子事務所	電(0859)39-3181	〒689-3547	鳥取県米子市流通町430-12
福岡事務所	電(092)606-3161	〒811-0213	福岡市東区和白丘１－７－３
熊本事務所	電(096)357-6181	〒861-4147	熊本市南区富合町廻江846-１
株式会社四国クボタ本社	電(087)874-8500	〒769-0102	香川県高松市国分寺町国分字向647-３

株式会社クボタ

国内農機カスタマーセンター	電(072)241-1375	〒590-0823	大阪府堺市堺区石津北町64

TRS50/60/60-U/70/70-U
AS．F．2-2．200．AK

Kubota

安全はクボタの願い

このマークは「お客様」「ディーラ」「クボタ」の三者が一体となって安全宣言を行うための統一マークです。

このラベルは「(社)日本陸用内燃機関協会排出ガス自主規制適合エンジン」であることを示しています。

株式会社クボタ
〒556-8601
大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号

品番　KA821-6521-1